

平成 2 7 年度  
秋田県学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

平成 2 8 年 2 月  
秋田県教育委員会

# ま え が き

県教育委員会では、平成２７年１２月に、小学校第４学年から中学校第２学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。

この調査のねらいは、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②本県が進める少人数学習の成果や課題を捉えること、③各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫・改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立すること等、本県の児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第４学年が国語、算数、理科の３教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、小学校第５学年、第６学年が国語、社会、算数、理科の４教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、中学校第１学年、第２学年が国語、社会、数学、理科、英語の５教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。教科の調査における特色として、全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題趣旨を踏まえた問題を全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするために複数学年にわたる共通問題、本県で重視している「「問い」を発する子ども」の育成に関する問題、高校入試と関連した問題も出題いたしました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査を、全国学力・学習状況調査の質問事項と対応させて出題することにより、各学校が調査結果を比較・分析して自校の児童生徒の学習に対する意識等を明確に捉え、学習指導の一層の改善に役立てることができるよういたしました。

本報告書は、平成２７年度の学習状況調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善に向けた提言等をまとめたものです。調査の結果からは、各学校における授業改善の成果や、児童生徒の主体的な学習を促す探究型授業の推進状況などをうかがうことができます。

今後も各学校や教育委員会においては、本報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育施策の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校の皆様に心から御礼申し上げます。

平成２８年２月

秋田県教育委員会

# 目 次

|                                                                                                                                                                |                       |       |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------|-----|
| 1                                                                                                                                                              | 調査の概要                 | ----- | 1   |
| 2                                                                                                                                                              | 調査の特徴、用語等             | ----- | 2   |
| 3                                                                                                                                                              | 調査結果の概要               | ----- | 3   |
| (1)                                                                                                                                                            | ペーパーテストの結果            |       |     |
| ①                                                                                                                                                              | 設定通過率との比較             | ----- | 3   |
| ②                                                                                                                                                              | 各教科の観点別の設定通過率との比較     | ----- | 4   |
| ③                                                                                                                                                              | 類似問題との比較              | ----- | 5   |
| ④                                                                                                                                                              | 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較 | ----- | 6   |
| (2)                                                                                                                                                            | 学習の意欲等に関する質問紙調査結果     |       |     |
| ①                                                                                                                                                              | 学習全般についての結果概要         | ----- | 11  |
| ②                                                                                                                                                              | 教科等の好き嫌いについての結果概要     | ----- | 11  |
| ③                                                                                                                                                              | 学習全般について              | ----- | 12  |
| ④                                                                                                                                                              | 生活全般について              | ----- | 14  |
| ⑤                                                                                                                                                              | 家庭学習について              | ----- | 18  |
| ⑥                                                                                                                                                              | 授業について                | ----- | 19  |
| ⑦                                                                                                                                                              | 教科の好き嫌いについて           | ----- | 21  |
| ⑧                                                                                                                                                              | 読書について                | ----- | 30  |
| 4                                                                                                                                                              | 結果と考察                 | ----- | 31  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。</p> </div> |                       |       |     |
| (1)                                                                                                                                                            | 国語                    |       |     |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第4学年               | ----- | 31  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第5学年               | ----- | 35  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第6学年               | ----- | 39  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第1学年               | ----- | 43  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第2学年               | ----- | 47  |
| (2)                                                                                                                                                            | 社会                    |       |     |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第5学年               | ----- | 51  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第6学年               | ----- | 55  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第1学年               | ----- | 59  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第2学年               | ----- | 63  |
| (3)                                                                                                                                                            | 算数、数学                 |       |     |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第4学年               | ----- | 67  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第5学年               | ----- | 71  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第6学年               | ----- | 75  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第1学年               | ----- | 79  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第2学年               | ----- | 83  |
| (4)                                                                                                                                                            | 理科                    |       |     |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第4学年               | ----- | 87  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第5学年               | ----- | 91  |
| ・                                                                                                                                                              | 小学校第6学年               | ----- | 95  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第1学年               | ----- | 99  |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第2学年               | ----- | 103 |
| (5)                                                                                                                                                            | 英語                    |       |     |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第1学年               | ----- | 107 |
| ・                                                                                                                                                              | 中学校第2学年               | ----- | 111 |
| 5                                                                                                                                                              | 平均通過率の度数分布グラフ         | ----- | 115 |

## 1 調査の概要

### (1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

### (2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

| 校種・学年<br>実施教科等      | 小 学 校 (人) |         |         | 中 学 校 (人) |         |
|---------------------|-----------|---------|---------|-----------|---------|
|                     | 第 4 学年    | 第 5 学年  | 第 6 学年  | 第 1 学年    | 第 2 学年  |
| 国 語                 | 7 4 2 7   | 7 6 8 8 | 7 8 0 6 | 7 9 3 5   | 8 2 1 0 |
| 社 会                 |           | 7 6 9 0 | 7 8 1 1 | 7 9 4 2   | 8 2 0 8 |
| 算数・数学               | 7 4 2 8   | 7 6 8 9 | 7 8 1 0 | 7 9 3 9   | 8 2 1 2 |
| 理 科                 | 7 4 3 0   | 7 6 9 1 | 7 8 1 1 | 7 9 3 9   | 8 2 1 2 |
| 英 語                 |           |         |         | 7 9 4 3   | 8 2 0 7 |
| 学習の意欲等に関する<br>アンケート | 7 4 2 9   | 7 6 6 0 | 7 8 1 2 | 7 9 6 3   | 8 2 4 9 |
| 参 加 者               | 7 4 3 0   | 7 6 9 1 | 7 8 1 2 | 7 9 6 3   | 8 2 4 9 |
| 小・中ごとの参加者計          | 2 2 9 3 3 |         |         | 1 6 2 1 2 |         |
| 参加者合計               | 3 9 1 4 5 |         |         |           |         |

### (3) 出題内容

#### ① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

#### ② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

### (4) 調査実施日

小学校 平成27年12月2日（水）

中学校 平成27年12月3日（木）



## 2 調査の特徴、用語等

### (1) 特徴

- ① 評価規準の設定
  - ・観点別評価の実施
  - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
  - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
  - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
  - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
  - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
  - ・県の課題についての改善状況の把握
- ⑥ 思考力、判断力、表現力に関する問題
  - ・全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題
  - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
  - ・改善状況の把握
- ⑧ 調査結果の活用の工夫
  - ・各学校における結果分析に基づいた指導の改善
  - ・報告書の作成

### (2) 用語

- ① 通過率
  - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合  
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
  - ・全問題の通過率の平均  
(100点満点に換算したときの平均点とみることができる。)
- ③ 設定通過率
  - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値(本県が独自に取り入れているもので、分析する上で参考として示している。)
- ④ 正答数別度数分布
  - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
  - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

### (3) データ処理の方法

#### 採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各校の教科に関する調査結果及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

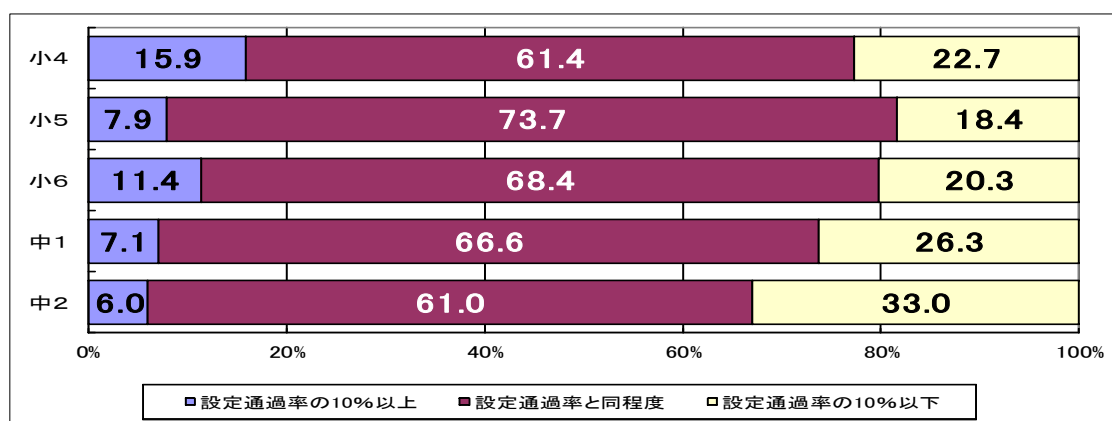
### 3 調査結果の概要

#### (1) 教科に関する調査の結果

##### ① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が77.3%、小学校第5学年が81.6%、小学校第6学年が79.8%、中学校第1学年が73.7%、中学校第2学年が67.0%であった。中学校第2学年の通過割合が他の学年よりも低くなっているが、昨年度より2.0ポイント高くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第5学年社会、第4～6学年理科、中学校では第1学年英語、第2学年理科であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、小学校では第5学年国語、中学校では第1、2学年国語、第2学年社会、第1、2学年数学であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

| 校 種    | 教 科    | 学 年    | 平均通過率  | 設定通過率の平均 | 差      | 通過割合    |
|--------|--------|--------|--------|----------|--------|---------|
| 小学校    | 国 語    | 第 4 学年 | 73.6   | 74.2     | -0.6   | 83.3 %  |
|        |        | 第 5 学年 | 56.4   | 70.0     | -13.6  | 50.0 %  |
|        |        | 第 6 学年 | 68.2   | 71.5     | -3.3   | 70.0 %  |
|        | 社 会    | 第 5 学年 | 70.6   | 70.0     | 0.6    | 95.0 %  |
|        |        | 第 6 学年 | 66.1   | 70.0     | -3.9   | 73.7 %  |
|        | 算 数    | 第 4 学年 | 64.0   | 73.0     | -9.0   | 65.0 %  |
|        |        | 第 5 学年 | 69.8   | 73.0     | -3.2   | 85.0 %  |
|        |        | 第 6 学年 | 62.8   | 70.0     | -7.2   | 75.0 %  |
|        | 理 科    | 第 4 学年 | 76.7   | 74.2     | 2.5    | 91.7 %  |
|        |        | 第 5 学年 | 74.4   | 74.0     | 0.4    | 90.0 %  |
|        |        | 第 6 学年 | 79.2   | 72.8     | 6.4    | 100.0 % |
|        | 中学校    | 国 語    | 第 1 学年 | 59.4     | 70.0   | -10.6   |
| 第 2 学年 |        |        | 56.4   | 70.0     | -13.6  | 55.0 %  |
| 社 会    |        | 第 1 学年 | 68.6   | 70.0     | -1.4   | 75.0 %  |
|        |        | 第 2 学年 | 58.3   | 70.0     | -11.7  | 45.0 %  |
| 数 学    |        | 第 1 学年 | 49.3   | 70.0     | -20.7  | 45.0 %  |
|        |        | 第 2 学年 | 59.7   | 70.0     | -10.3  | 65.0 %  |
| 理 科    |        | 第 1 学年 | 69.2   | 70.3     | -1.1   | 95.0 %  |
|        |        | 第 2 学年 | 71.1   | 70.5     | 0.6    | 85.0 %  |
| 英 語    |        | 第 1 学年 | 72.9   | 72.3     | 0.6    | 85.0 %  |
|        | 第 2 学年 | 67.3   | 70.0   | -2.7     | 85.0 % |         |

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

- ・設定通過率と同程度の問題数と、設定通過率を超えた問題数を合わせた場合の割合が75%以上であるのは、小学校では国語の「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「思考・判断・表現」と「技能」、算数の「技能」と「知識・理解」、理科の全観点であった。中学校では、国語の「書くこと」、理科の「思考・表現」と「技能」、英語の「表現の能力」と「理解の能力」であった。
- ・設定通過率と比較して－10%より低い問題数の割合が50%以上であるのは、小学校では国語の「話すこと・聞くこと」と「読むこと」、算数の「考え方」であった。中学校では社会の「技能」、数学の「考え方」と「知識・理解」であった。

<小学校>

| 教科名 | 観点または領域              | 問題数 | +10%より高い    | ±10%の範囲内      | －10%より低い    |
|-----|----------------------|-----|-------------|---------------|-------------|
| 国語  | 話すこと・聞くこと            | 3   | 0 ( 0.0% )  | 1 ( 33.3% )   | 2 ( 66.7% ) |
|     | 書くこと                 | 3   | 2 ( 66.7% ) | 1 ( 33.3% )   | 0 ( 0.0% )  |
|     | 読むこと                 | 15  | 3 ( 20.0% ) | 4 ( 26.7% )   | 8 ( 53.3% ) |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 27  | 0 ( 0.0% )  | 21 ( 77.8% )  | 6 ( 22.2% ) |
| 社会  | 思考・判断・表現             | 12  | 0 ( 0.0% )  | 12 ( 100.0% ) | 0 ( 0.0% )  |
|     | 技能                   | 10  | 0 ( 0.0% )  | 9 ( 90.0% )   | 1 ( 10.0% ) |
|     | 知識・理解                | 17  | 2 ( 11.8% ) | 10 ( 58.8% )  | 5 ( 29.4% ) |
| 算数  | 考え方                  | 18  | 1 ( 5.6% )  | 8 ( 44.4% )   | 9 ( 50.0% ) |
|     | 技能                   | 28  | 0 ( 0.0% )  | 25 ( 89.3% )  | 3 ( 10.7% ) |
|     | 知識・理解                | 14  | 0 ( 0.0% )  | 11 ( 78.6% )  | 3 ( 21.4% ) |
| 理科  | 思考・表現                | 22  | 7 ( 31.8% ) | 15 ( 68.2% )  | 0 ( 0.0% )  |
|     | 技能                   | 12  | 3 ( 25.0% ) | 7 ( 58.3% )   | 2 ( 16.7% ) |
|     | 知識・理解                | 18  | 4 ( 22.2% ) | 13 ( 72.2% )  | 1 ( 5.6% )  |

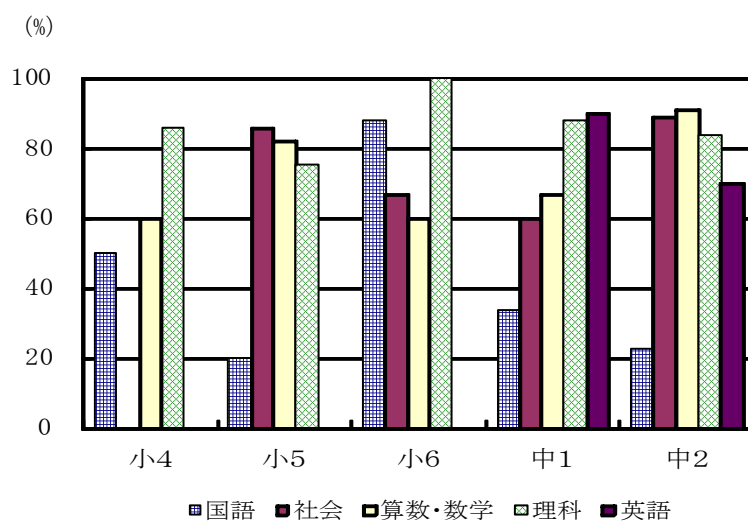
<中学校>

| 教科名 | 観点または領域              | 問題数 | +10%より高い    | ±10%の範囲内     | －10%より低い    |
|-----|----------------------|-----|-------------|--------------|-------------|
| 国語  | 話すこと・聞くこと            | 5   | 0 ( 0.0% )  | 3 ( 60.0% )  | 2 ( 40.0% ) |
|     | 書くこと                 | 2   | 0 ( 0.0% )  | 2 ( 100.0% ) | 0 ( 0.0% )  |
|     | 読むこと                 | 13  | 0 ( 0.0% )  | 7 ( 53.8% )  | 6 ( 46.2% ) |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 19  | 2 ( 10.5% ) | 10 ( 52.6% ) | 7 ( 36.8% ) |
| 社会  | 思考・判断・表現             | 14  | 0 ( 0.0% )  | 8 ( 57.1% )  | 6 ( 42.9% ) |
|     | 技能                   | 6   | 0 ( 0.0% )  | 2 ( 33.3% )  | 4 ( 66.7% ) |
|     | 知識・理解                | 20  | 2 ( 10.0% ) | 12 ( 60.0% ) | 6 ( 30.0% ) |
| 数学  | 考え方                  | 13  | 0 ( 0.0% )  | 6 ( 46.2% )  | 7 ( 53.8% ) |
|     | 技能                   | 15  | 1 ( 6.7% )  | 10 ( 66.7% ) | 4 ( 26.7% ) |
|     | 知識・理解                | 12  | 0 ( 0.0% )  | 5 ( 41.7% )  | 7 ( 58.3% ) |
| 理科  | 思考・表現                | 15  | 2 ( 13.3% ) | 13 ( 86.7% ) | 0 ( 0.0% )  |
|     | 技能                   | 10  | 2 ( 20.0% ) | 8 ( 80.0% )  | 0 ( 0.0% )  |
|     | 知識・理解                | 15  | 2 ( 13.3% ) | 9 ( 60.0% )  | 4 ( 26.7% ) |
| 英語  | 表現の能力                | 7   | 0 ( 0.0% )  | 6 ( 85.7% )  | 1 ( 14.3% ) |
|     | 理解の能力                | 27  | 0 ( 0.0% )  | 24 ( 88.9% ) | 3 ( 11.1% ) |
|     | 言語や文化についての知識・理解      | 6   | 2 ( 33.3% ) | 2 ( 33.3% )  | 2 ( 33.3% ) |

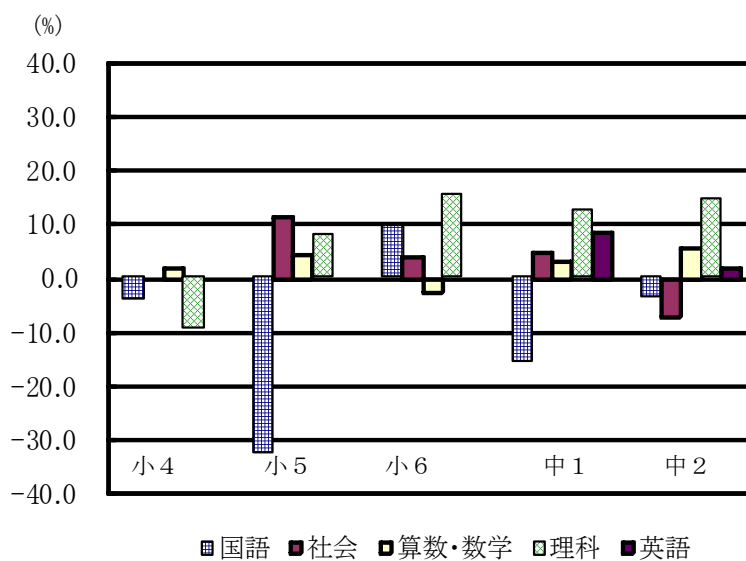
### ③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では88問中64問（72.7%）、中学校では91問中63問（69.2%）であり、全体では昨年度より9.2ポイント高くなっている。
- ・類似問題の通過率の平均で比較すると、ほとんどの学年・教科で過去の通過率の平均を上回っている。学年・教科別に見ると、類似問題の過去の通過率を上回った問題数が半数を超えたのは、小学校では第4学年の算数、理科、第5学年の社会、算数、理科、第6学年の全教科であった。中学校では第1学年、第2学年とも、社会、数学、理科、英語の教科であった。

類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題における過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小4 | 1)  | 85 | 87.3 |      |
| 小4 | 2)  | 90 | 93.8 |      |
| 小4 | 3)  | 70 | 69.4 |      |
| 小4 | 4)  | 80 | 78.8 |      |
| 小4 | 5)  | 80 | 77.8 | 67.7 |
| 小4 | 6)  | 90 | 97.9 |      |
| 小4 | 7)  | 60 | 43.2 |      |
| 小4 | 8)  | 75 | 86.5 | 92.4 |
| 小4 | 9)  | 70 | 81.3 |      |
| 小4 | 10) | 60 | 53.4 | 66.5 |
| 小4 | 11) | 60 | 26.5 |      |
| 小4 | 12) | 70 | 86.7 | 66.9 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小5 | 1)  | 90 | 97.3 |      |
| 小5 | 2)  | 90 | 95.2 |      |
| 小5 | 3)  | 80 | 73.8 | 85.1 |
| 小5 | 4)  | 90 | 82.9 |      |
| 小5 | 5)  | 60 | 37.4 |      |
| 小5 | 6)  | 60 | 47.9 | 82.1 |
| 小5 | 7)  | 70 | 26.5 | 79.5 |
| 小5 | 8)  | 85 | 84.3 |      |
| 小5 | 9)  | 60 | 22.1 |      |
| 小5 | 10) | 65 | 60.2 |      |
| 小5 | 11) | 60 | 45.0 |      |
| 小5 | 12) | 60 | 29.3 | 62.5 |
| 小5 | 13) | 60 | 48.0 |      |
| 小5 | 14) | 65 | 59.6 |      |
| 小5 | 15) | 60 | 33.9 |      |
| 小5 | 16) | 65 | 58.9 | 54.1 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小6 | 1)  | 90 | 97.6 |      |
| 小6 | 2)  | 80 | 89.4 |      |
| 小6 | 3)  | 80 | 80.3 |      |
| 小6 | 4)  | 70 | 59.2 |      |
| 小6 | 5)  | 60 | 51.9 |      |
| 小6 | 6)  | 60 | 47.0 |      |
| 小6 | 7)  | 80 | 81.2 | 75.7 |
| 小6 | 8)  | 70 | 79.0 |      |
| 小6 | 9)  | 65 | 67.6 | 55.5 |
| 小6 | 10) | 75 | 82.8 | 64.6 |
| 小6 | 11) | 90 | 97.3 | 94.4 |
| 小6 | 12) | 60 | 14.1 |      |
| 小6 | 13) | 75 | 84.8 |      |
| 小6 | 14) | 65 | 55.2 | 60.0 |
| 小6 | 15) | 70 | 58.1 |      |
| 小6 | 16) | 80 | 81.3 | 45.4 |
| 小6 | 17) | 60 | 45.8 | 45.0 |
| 小6 | 18) | 70 | 84.7 | 58.7 |
| 小6 | 19) | 60 | 25.5 |      |
| 小6 | 20) | 70 | 80.9 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 74.2 |      |      |
| 平均通過率 |      | 73.6 |      |
| 類似問題  |      | 76.1 | 73.4 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 56.4 |      |
| 類似問題  |      | 47.3 | 72.7 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 71.5 |      |      |
| 平均通過率 |      | 68.2 |      |
| 類似問題  |      | 74.5 | 62.4 |

○中学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中1 | 1)  | 75 | 68.0 | 71.2 |
| 中1 | 2)  | 85 | 91.8 |      |
| 中1 | 3)  | 75 | 71.6 | 65.1 |
| 中1 | 4)  | 70 | 60.3 |      |
| 中1 | 5)  | 60 | 33.2 | 64.0 |
| 中1 | 6)  | 70 | 64.6 | 33.7 |
| 中1 | 7)  | 65 | 41.9 |      |
| 中1 | 8)  | 65 | 57.6 | 50.1 |
| 中1 | 9)  | 65 | 54.0 |      |
| 中1 | 10) | 70 | 62.1 |      |
| 中1 | 12) | 80 | 79.6 |      |
| 中1 | 13) | 65 | 60.5 |      |
| 中1 | 14) | 60 | 26.0 | 90.5 |
| 中1 | 15) | 70 | 70.2 |      |
| 中1 | 16) | 75 | 66.8 | 70.0 |
| 中1 | 17) | 65 | 49.1 |      |
| 中1 | 18) | 80 | 85.5 | 90.5 |
| 中1 | 19) | 65 | 18.2 |      |
| 中1 | 20) | 70 | 67.6 | 77.6 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 59.4 |      |
| 類似問題  |      | 60.1 | 68.1 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中2 | 1)  | 70 | 69.2 | 80.5 |
| 中2 | 2)  | 70 | 54.8 | 86.7 |
| 中2 | 3)  | 60 | 36.1 |      |
| 中2 | 4)  | 60 | 21.8 |      |
| 中2 | 5)  | 75 | 72.4 |      |
| 中2 | 6)  | 70 | 54.1 |      |
| 中2 | 7)  | 80 | 90.4 |      |
| 中2 | 8)  | 60 | 11.0 |      |
| 中2 | 9)  | 75 | 83.8 | 93.6 |
| 中2 | 10) | 75 | 89.9 | 40.2 |
| 中2 | 11) | 70 | 60.8 | 63.4 |
| 中2 | 12) | 60 | 37.1 |      |
| 中2 | 13) | 90 | 84.4 | 80.7 |
| 中2 | 14) | 80 | 83.5 |      |
| 中2 | 15) | 60 | 7.4  | 35.7 |
| 中2 | 16) | 60 | 29.4 | 30.5 |
| 中2 | 17) | 65 | 60.7 |      |
| 中2 | 18) | 70 | 40.7 |      |
| 中2 | 19) | 70 | 63.9 |      |
| 中2 | 20) | 80 | 75.7 | 90.1 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 56.4 |      |
| 類似問題  |      | 61.7 | 66.8 |

# 【社会】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

## ○小学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小5 | 1)  | 70 | 65.5 |      |
| 小5 | 2)  | 75 | 83.9 |      |
| 小5 | 3)  | 80 | 83.3 | 78.3 |
| 小5 | 4)  | 80 | 78.9 | 46.6 |
| 小5 | 5)  | 75 | 68.1 | 67.5 |
| 小5 | 6)  | 70 | 82.6 |      |
| 小5 | 7)  | 80 | 80.9 | 83.3 |
| 小5 | 8)  | 70 | 86.4 |      |
| 小5 | 9)  | 60 | 42.9 |      |
| 小5 | 10) | 75 | 78.3 |      |
| 小5 | 11) | 65 | 59.5 |      |
| 小5 | 12) | 65 | 64.0 |      |
| 小5 | 13) | 60 | 58.4 |      |
| 小5 | 14) | 60 | 53.8 |      |
| 小5 | 15) | 80 | 86.6 |      |
| 小5 | 16) | 75 | 82.0 | 44.9 |
| 小5 | 17) | 65 | 64.2 | 42.4 |
| 小5 | 18) | 65 | 68.1 | 51.0 |
| 小5 | 19) | 65 | 63.1 |      |
| 小5 | 20) | 65 | 60.8 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 70.6 |      |
| 類似問題  |      | 75.1 | 59.1 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小6 | 1)  | 80 | 72.5 |      |
| 小6 | 2)  | 80 | 86.9 |      |
| 小6 | 3)  | 70 | 77.7 | 54.6 |
| 小6 | 4)  | 70 | 72.1 |      |
| 小6 | 5)  | 70 | 59.1 |      |
| 小6 | 6)  | 70 | 59.8 |      |
| 小6 | 7)  | 60 | 36.5 | 88.7 |
| 小6 | 8)  | 60 | 50.1 | 74.5 |
| 小6 | 9)  | 75 | 79.1 | 64.3 |
| 小6 | 10) | 80 | 89.6 | 77.8 |
| 小6 | 11) | 75 | 76.4 |      |
| 小6 | 13) | 60 | 46.1 |      |
| 小6 | 14) | 60 | 51.4 | 50.3 |
| 小6 | 15) | 65 | 34.4 |      |
| 小6 | 16) | 75 | 80.7 | 85.6 |
| 小6 | 17) | 75 | 77.0 | 72.5 |
| 小6 | 18) | 65 | 64.7 | 60.1 |
| 小6 | 19) | 80 | 88.0 |      |
| 小6 | 20) | 60 | 54.3 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 66.1 |      |
| 類似問題  |      | 67.4 | 69.8 |

## ○中学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中1 | 1)  | 80 | 94.5 |      |
| 中1 | 2)  | 60 | 60.2 | 14.0 |
| 中1 | 3)  | 65 | 66.5 |      |
| 中1 | 4)  | 75 | 76.5 | 85.2 |
| 中1 | 5)  | 65 | 68.0 | 39.3 |
| 中1 | 6)  | 85 | 91.8 |      |
| 中1 | 7)  | 60 | 46.5 |      |
| 中1 | 8)  | 60 | 55.8 |      |
| 中1 | 9)  | 60 | 46.8 |      |
| 中1 | 10) | 60 | 30.6 |      |
| 中1 | 11) | 60 | 43.7 |      |
| 中1 | 12) | 80 | 86.5 | 44.8 |
| 中1 | 13) | 70 | 73.5 | 76.3 |
| 中1 | 14) | 70 | 73.5 | 43.4 |
| 中1 | 15) | 75 | 76.2 | 53.9 |
| 中1 | 16) | 85 | 96.5 |      |
| 中1 | 17) | 80 | 84.0 |      |
| 中1 | 18) | 75 | 75.0 | 88.3 |
| 中1 | 19) | 65 | 54.5 | 74.7 |
| 中1 | 20) | 70 | 71.0 | 61.1 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 68.6 |      |
| 類似問題  |      | 71.5 | 58.1 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中2 | 1)  | 65 | 48.9 |      |
| 中2 | 2)  | 75 | 67.4 |      |
| 中2 | 3)  | 60 | 37.8 |      |
| 中2 | 4)  | 65 | 36.2 |      |
| 中2 | 5)  | 75 | 71.1 | 64.4 |
| 中2 | 6)  | 70 | 66.4 | 55.6 |
| 中2 | 7)  | 60 | 47.4 |      |
| 中2 | 8)  | 60 | 34.7 |      |
| 中2 | 9)  | 60 | 46.9 | 36.2 |
| 中2 | 10) | 75 | 61.0 |      |
| 中2 | 11) | 65 | 51.6 |      |
| 中2 | 12) | 65 | 55.5 |      |
| 中2 | 13) | 80 | 87.3 | 59.7 |
| 中2 | 14) | 75 | 64.4 | 72.3 |
| 中2 | 15) | 75 | 59.3 |      |
| 中2 | 16) | 65 | 55.8 | 42.7 |
| 中2 | 17) | 60 | 39.0 |      |
| 中2 | 18) | 85 | 81.0 | 78.8 |
| 中2 | 19) | 80 | 74.8 | 56.6 |
| 中2 | 20) | 85 | 79.4 | 79.0 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 58.3 |      |
| 類似問題  |      | 69.7 | 60.6 |

# 【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

## ○小学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小4 | 1)  | 80 | 84.9 | 87.0 |
| 小4 | 2)  | 90 | 94.6 |      |
| 小4 | 3)  | 90 | 87.8 |      |
| 小4 | 4)  | 80 | 38.7 |      |
| 小4 | 5)  | 70 | 83.4 | 68.0 |
| 小4 | 6)  | 80 | 71.7 |      |
| 小4 | 7)  | 90 | 86.1 |      |
| 小4 | 8)  | 70 | 75.8 |      |
| 小4 | 9)  | 70 | 79.0 | 66.4 |
| 小4 | 10) | 70 | 78.5 | 65.8 |
| 小4 | 11) | 80 | 34.2 |      |
| 小4 | 12) | 80 | 89.1 | 77.5 |
| 小4 | 13) | 60 | 41.5 |      |
| 小4 | 14) | 70 | 61.8 |      |
| 小4 | 15) | 60 | 23.9 | 49.5 |
| 小4 | 16) | 80 | 86.9 |      |
| 小4 | 17) | 60 | 52.9 | 61.5 |
| 小4 | 18) | 60 | 40.1 | 25.8 |
| 小4 | 19) | 60 | 30.0 | 34.4 |
| 小4 | 20) | 60 | 39.4 | 34.9 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 73.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 64.0 |      |
| 類似問題  |      | 60.1 | 57.1 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小5 | 1)  | 80 | 85.6 | 69.8 |
| 小5 | 2)  | 80 | 80.9 | 74.2 |
| 小5 | 3)  | 70 | 46.2 | 80.4 |
| 小5 | 4)  | 80 | 74.4 |      |
| 小5 | 5)  | 85 | 94.2 |      |
| 小5 | 6)  | 80 | 86.2 |      |
| 小5 | 7)  | 60 | 57.1 |      |
| 小5 | 8)  | 70 | 68.2 | 51.3 |
| 小5 | 9)  | 80 | 73.3 | 46.0 |
| 小5 | 10) | 70 | 68.3 |      |
| 小5 | 11) | 80 | 81.5 | 80.0 |
| 小5 | 12) | 60 | 61.8 |      |
| 小5 | 13) | 60 | 56.6 | 30.4 |
| 小5 | 14) | 65 | 61.7 | 42.7 |
| 小5 | 15) | 60 | 42.4 | 65.3 |
| 小5 | 16) | 80 | 71.8 |      |
| 小5 | 17) | 80 | 88.5 |      |
| 小5 | 18) | 80 | 79.8 | 75.9 |
| 小5 | 19) | 80 | 80.6 | 77.5 |
| 小5 | 20) | 60 | 37.5 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 73.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 69.8 |      |
| 類似問題  |      | 68.8 | 63.0 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小6 | 1)  | 90 | 88.4 |      |
| 小6 | 2)  | 70 | 70.4 | 51.3 |
| 小6 | 3)  | 60 | 49.3 |      |
| 小6 | 4)  | 75 | 69.6 | 76.6 |
| 小6 | 5)  | 60 | 54.1 |      |
| 小6 | 6)  | 75 | 66.9 | 53.3 |
| 小6 | 7)  | 60 | 50.8 |      |
| 小6 | 8)  | 60 | 48.5 |      |
| 小6 | 9)  | 90 | 81.9 | 91.1 |
| 小6 | 10) | 60 | 39.9 | 75.3 |
| 小6 | 11) | 70 | 63.2 | 58.3 |
| 小6 | 12) | 70 | 66.1 |      |
| 小6 | 13) | 70 | 68.7 |      |
| 小6 | 14) | 70 | 63.1 | 56.4 |
| 小6 | 15) | 90 | 92.4 |      |
| 小6 | 16) | 70 | 69.6 | 49.8 |
| 小6 | 17) | 80 | 78.9 |      |
| 小6 | 18) | 60 | 54.5 | 42.9 |
| 小6 | 19) | 60 | 36.2 | 49.6 |
| 小6 | 20) | 60 | 43.8 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 62.8 |      |
| 類似問題  |      | 61.5 | 60.5 |

## ○中学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中1 | 1)  | 75 | 68.5 |      |
| 中1 | 2)  | 90 | 86.1 | 84.3 |
| 中1 | 3)  | 85 | 76.1 |      |
| 中1 | 4)  | 70 | 66.8 |      |
| 中1 | 5)  | 80 | 95.2 | 20.6 |
| 中1 | 6)  | 80 | 22.6 |      |
| 中1 | 7)  | 60 | 13.7 | 42.8 |
| 中1 | 8)  | 60 | 22.4 | 22.4 |
| 中1 | 9)  | 80 | 33.9 |      |
| 中1 | 10) | 60 | 50.7 |      |
| 中1 | 11) | 75 | 72.3 | 66.9 |
| 中1 | 12) | 70 | 45.1 |      |
| 中1 | 13) | 70 | 21.9 |      |
| 中1 | 14) | 65 | 43.1 | 21.3 |
| 中1 | 15) | 65 | 58.1 | 57.5 |
| 中1 | 16) | 65 | 40.8 |      |
| 中1 | 17) | 65 | 41.0 |      |
| 中1 | 18) | 65 | 73.8 | 29.4 |
| 中1 | 19) | 60 | 27.4 |      |
| 中1 | 20) | 60 | 25.7 | 30.1 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 49.3 |      |
| 類似問題  |      | 54.5 | 41.7 |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中2 | 1)  | 90 | 90.8 | 84.3 |
| 中2 | 2)  | 65 | 59.1 | 20.2 |
| 中2 | 3)  | 75 | 68.3 |      |
| 中2 | 4)  | 85 | 82.0 | 75.6 |
| 中2 | 5)  | 65 | 42.8 | 28.8 |
| 中2 | 6)  | 75 | 71.9 |      |
| 中2 | 7)  | 75 | 71.2 |      |
| 中2 | 8)  | 65 | 58.9 |      |
| 中2 | 9)  | 60 | 43.2 | 36.1 |
| 中2 | 10) | 60 | 57.8 | 42.9 |
| 中2 | 11) | 65 | 59.3 | 51.6 |
| 中2 | 12) | 85 | 78.3 |      |
| 中2 | 13) | 60 | 55.1 | 46.4 |
| 中2 | 14) | 70 | 49.3 |      |
| 中2 | 15) | 80 | 73.6 |      |
| 中2 | 16) | 70 | 36.6 |      |
| 中2 | 17) | 60 | 47.6 | 25.6 |
| 中2 | 18) | 60 | 35.6 |      |
| 中2 | 19) | 75 | 71.9 | 58.6 |
| 中2 | 20) | 60 | 40.1 | 50.3 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 59.7 |      |
| 類似問題  |      | 59.1 | 47.3 |

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小4 | 1)  | 80 | 93.1 |      |
| 小4 | 2)  | 70 | 68.0 |      |
| 小4 | 3)  | 85 | 98.2 | 92.6 |
| 小4 | 4)  | 75 | 91.8 | 89.3 |
| 小4 | 5)  | 70 | 71.7 | 64.5 |
| 小4 | 6)  | 70 | 63.9 | 64.9 |
| 小4 | 7)  | 75 | 82.2 | 76.0 |
| 小4 | 8)  | 70 | 71.0 |      |
| 小4 | 9)  | 75 | 66.6 |      |
| 小4 | 10) | 60 | 57.6 | 55.2 |
| 小4 | 11) | 90 | 97.3 | 66.2 |
| 小4 | 12) | 70 | 58.6 |      |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小5 | 1)  | 70 | 79.4 |      |
| 小5 | 2)  | 60 | 63.8 | 49.9 |
| 小5 | 3)  | 90 | 84.3 | 88.2 |
| 小5 | 4)  | 90 | 92.2 | 91.2 |
| 小5 | 5)  | 70 | 65.7 | 62.1 |
| 小5 | 6)  | 70 | 40.7 |      |
| 小5 | 7)  | 60 | 74.9 |      |
| 小5 | 8)  | 75 | 77.5 |      |
| 小5 | 9)  | 75 | 75.5 | 67.2 |
| 小5 | 10) | 70 | 32.7 |      |
| 小5 | 11) | 80 | 90.5 |      |
| 小5 | 12) | 80 | 93.6 |      |
| 小5 | 13) | 90 | 92.0 | 93.0 |
| 小5 | 14) | 75 | 81.7 |      |
| 小5 | 15) | 80 | 85.5 | 77.6 |
| 小5 | 16) | 65 | 57.5 | 56.3 |
| 小5 | 17) | 75 | 88.5 |      |
| 小5 | 18) | 70 | 66.2 |      |
| 小5 | 19) | 75 | 84.0 |      |
| 小5 | 20) | 60 | 62.4 |      |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 小6 | 1)  | 85 | 94.2 |      |
| 小6 | 2)  | 70 | 81.8 |      |
| 小6 | 3)  | 75 | 78.9 | 71.1 |
| 小6 | 4)  | 65 | 61.4 |      |
| 小6 | 5)  | 85 | 97.9 |      |
| 小6 | 6)  | 85 | 98.2 | 86.4 |
| 小6 | 7)  | 75 | 75.9 | 41.6 |
| 小6 | 8)  | 60 | 70.9 |      |
| 小6 | 9)  | 80 | 85.0 | 73.5 |
| 小6 | 10) | 60 | 67.6 |      |
| 小6 | 11) | 60 | 71.7 |      |
| 小6 | 12) | 80 | 85.2 | 69.1 |
| 小6 | 13) | 75 | 82.2 | 64.0 |
| 小6 | 14) | 80 | 87.7 |      |
| 小6 | 15) | 70 | 84.4 | 70.7 |
| 小6 | 16) | 75 | 73.9 |      |
| 小6 | 17) | 70 | 60.1 | 56.3 |
| 小6 | 18) | 75 | 84.9 |      |
| 小6 | 19) | 70 | 84.5 | 54.3 |
| 小6 | 20) | 60 | 56.7 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 74.2 |      |      |
| 平均通過率 |      | 76.7 |      |
| 類似問題  |      | 80.4 | 72.7 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 74.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 74.4 |      |
| 類似問題  |      | 77.1 | 73.2 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 72.8 |      |      |
| 平均通過率 |      | 79.2 |      |
| 類似問題  |      | 81.6 | 65.2 |

○中学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中1 | 1)  | 75 | 86.4 |      |
| 中1 | 2)  | 70 | 71.0 | 53.4 |
| 中1 | 3)  | 85 | 92.5 | 63.7 |
| 中1 | 4)  | 65 | 59.3 | 50.9 |
| 中1 | 5)  | 60 | 59.3 | 38.2 |
| 中1 | 6)  | 60 | 54.1 |      |
| 中1 | 7)  | 60 | 61.3 |      |
| 中1 | 8)  | 75 | 67.8 |      |
| 中1 | 9)  | 85 | 86.1 |      |
| 中1 | 10) | 70 | 72.4 | 67.3 |
| 中1 | 11) | 70 | 68.7 |      |
| 中1 | 12) | 60 | 15.4 |      |
| 中1 | 13) | 70 | 79.9 | 57.0 |
| 中1 | 14) | 70 | 80.2 | 67.3 |
| 中1 | 15) | 70 | 66.8 | 70.9 |
| 中1 | 16) | 80 | 82.5 |      |
| 中1 | 17) | 75 | 68.4 |      |
| 中1 | 18) | 65 | 72.2 |      |
| 中1 | 19) | 80 | 86.0 |      |
| 中1 | 20) | 60 | 53.3 |      |

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中2 | 1)  | 80 | 85.2 |      |
| 中2 | 2)  | 70 | 85.4 |      |
| 中2 | 3)  | 80 | 77.7 |      |
| 中2 | 4)  | 75 | 83.2 | 55.3 |
| 中2 | 5)  | 70 | 76.7 |      |
| 中2 | 6)  | 60 | 36.9 | 41.0 |
| 中2 | 7)  | 60 | 32.2 |      |
| 中2 | 8)  | 70 | 65.2 |      |
| 中2 | 9)  | 60 | 60.3 | 53.6 |
| 中2 | 10) | 60 | 48.0 |      |
| 中2 | 11) | 75 | 87.9 | 31.1 |
| 中2 | 12) | 80 | 79.5 |      |
| 中2 | 13) | 85 | 86.4 |      |
| 中2 | 14) | 65 | 73.1 | 54.5 |
| 中2 | 15) | 60 | 57.8 | 36.7 |
| 中2 | 16) | 85 | 81.9 |      |
| 中2 | 17) | 70 | 82.5 |      |
| 中2 | 18) | 60 | 58.7 |      |
| 中2 | 19) | 80 | 96.0 |      |
| 中2 | 20) | 65 | 66.8 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.3 |      |      |
| 平均通過率 |      | 69.2 |      |
| 類似問題  |      | 72.7 | 58.6 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.5 |      |      |
| 平均通過率 |      | 71.1 |      |
| 類似問題  |      | 66.5 | 45.4 |



【英語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中1 | 1)  | 90 | 99.3 | 93.1 |
| 中1 | 2)  | 85 | 91.1 | 87.2 |
| 中1 | 3)  | 75 | 80.0 | 68.7 |
| 中1 | 4)  | 65 | 71.6 | 58.0 |
| 中1 | 5)  | 80 | 85.3 |      |
| 中1 | 6)  | 75 | 81.8 |      |
| 中1 | 7)  | 65 | 66.2 |      |
| 中1 | 8)  | 60 | 20.8 |      |
| 中1 | 9)  | 80 | 88.5 | 82.5 |
| 中1 | 10) | 70 | 67.6 |      |
| 中1 | 11) | 80 | 87.1 |      |
| 中1 | 12) | 75 | 83.5 | 71.6 |
| 中1 | 13) | 80 | 85.4 | 81.6 |
| 中1 | 14) | 60 | 60.8 | 62.7 |
| 中1 | 15) | 60 | 27.6 |      |
| 中1 | 16) | 60 | 56.5 | 44.7 |
| 中1 | 17) | 70 | 77.8 | 62.5 |
| 中1 | 18) | 80 | 91.0 |      |
| 中1 | 19) | 75 | 87.4 |      |
| 中1 | 20) | 60 | 48.4 |      |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 72.3 |      |      |
| 平均通過率 |      | 72.9 |      |
| 類似問題  |      | 79.5 | 71.3 |

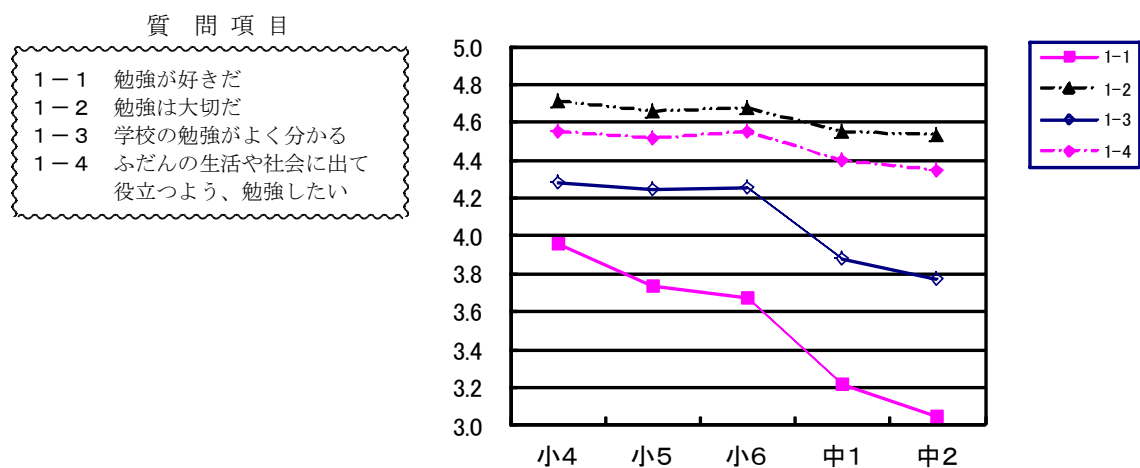
|    | 番号  | 設定 | 通過率  | 類似   |
|----|-----|----|------|------|
| 中2 | 1)  | 95 | 99.8 | 97.2 |
| 中2 | 2)  | 95 | 99.0 |      |
| 中2 | 3)  | 90 | 95.7 |      |
| 中2 | 4)  | 85 | 88.1 |      |
| 中2 | 5)  | 70 | 71.0 | 57.1 |
| 中2 | 6)  | 60 | 57.4 |      |
| 中2 | 7)  | 60 | 35.0 |      |
| 中2 | 8)  | 85 | 90.7 |      |
| 中2 | 9)  | 65 | 69.9 |      |
| 中2 | 10) | 65 | 67.6 | 78.2 |
| 中2 | 11) | 60 | 57.8 | 43.6 |
| 中2 | 12) | 60 | 54.6 |      |
| 中2 | 13) | 60 | 49.7 |      |
| 中2 | 14) | 70 | 67.5 | 64.7 |
| 中2 | 15) | 60 | 63.8 | 37.9 |
| 中2 | 16) | 60 | 53.4 |      |
| 中2 | 17) | 60 | 51.0 | 55.5 |
| 中2 | 18) | 80 | 82.6 | 84.1 |
| 中2 | 19) | 60 | 53.1 | 43.4 |
| 中2 | 20) | 60 | 38.3 | 31.0 |

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 設定通過率 | 70.0 |      |      |
| 平均通過率 |      | 67.3 |      |
| 類似問題  |      | 65.3 | 59.3 |

## (2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

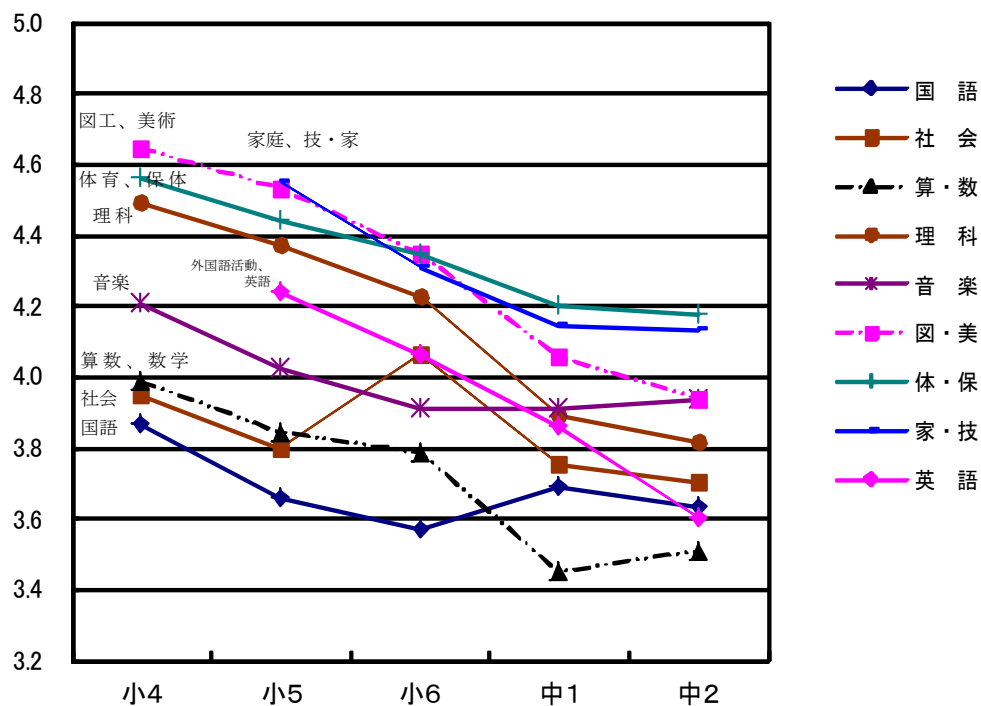
### ① 学習全般についての結果概要（5点換算による県平均）

つよく思う…5点　　そう思う…4点　　そう思わない…2点  
まったくそう思わない…1点　　分からない・どちらでもない…3点



### ② 教科等の好き嫌いについての結果概要（5点換算による県平均）

大好き…5点　　好き…4点　　嫌い…2点  
大嫌い…1点　　分からない・どちらでもない…3点



### ③ 学習全般について

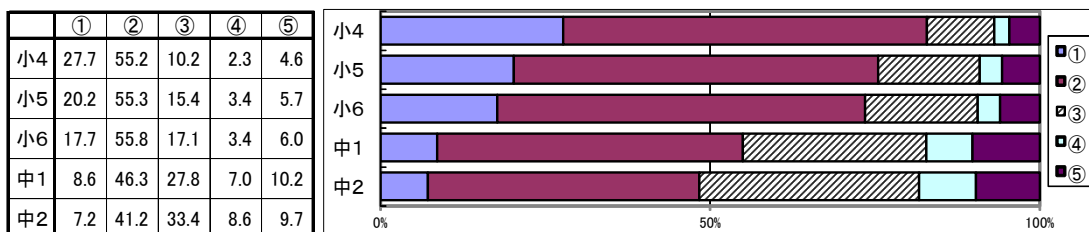
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

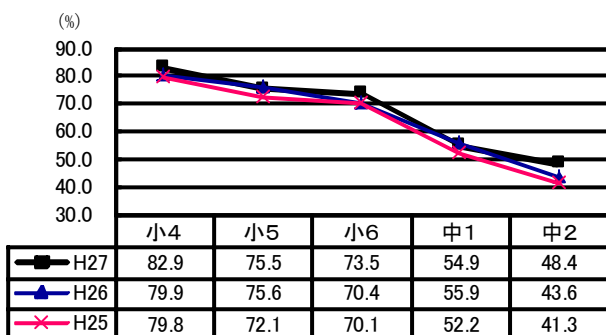
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

#### [1-1] 勉強が好きだ

①つよく思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



#### 「つよく思う」「そう思う」の割合

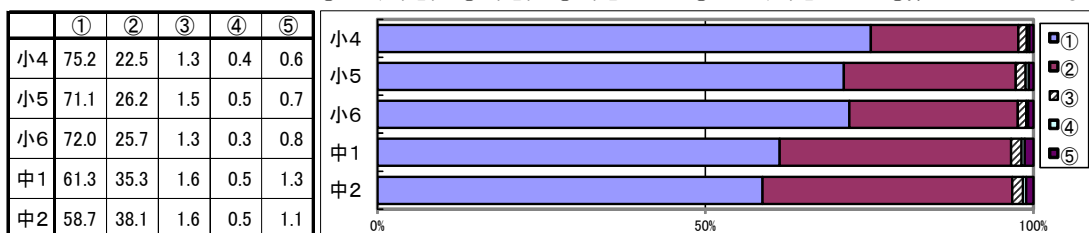


「つよく思う」「そう思う」と肯定的に回答した割合が、学年が上がるに伴って減少していく状況は依然として見られるが、小学校第4学年、6学年、中学校第2学年においては、肯定的な回答の割合がこの3年間の中で最も高い数値を示している。

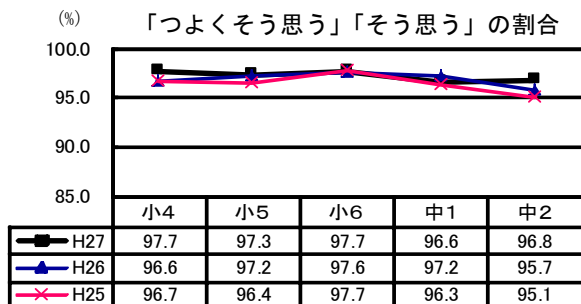
また、中学校の肯定的な回答の割合は、小学校に比べて低いものの、中学校第2学年については、昨年度より4.8ポイント上回り、小学校、中学校の全ての学年の中で最も大きな伸びを示している。

#### [1-2] 勉強は大切だ

①つよく思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



#### 「つよく思う」「そう思う」の割合

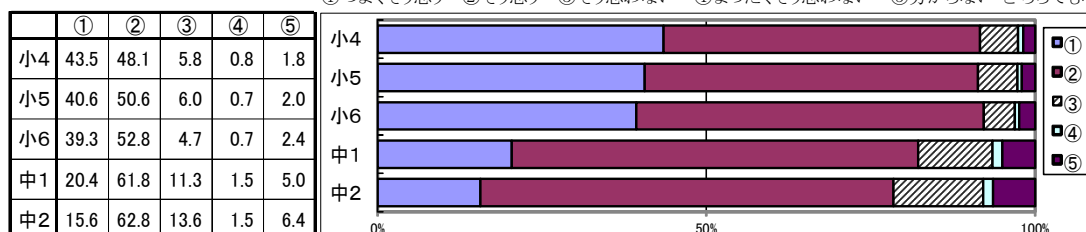


肯定的な回答の割合については、全体的に向上している。

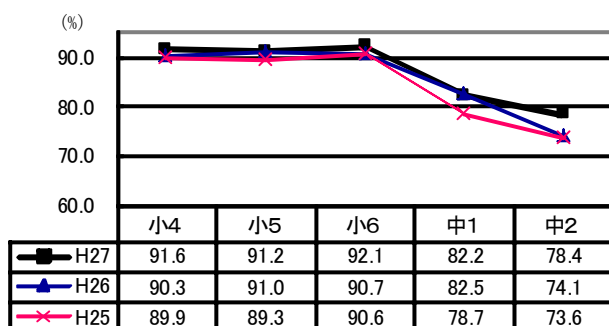
また、小学校の全ての学年で「つよく思う」と回答した割合は71%以上であり、肯定的な回答の割合は、この3年間の中で最も高い数値を示している。

### [ 1 - 3 ] 学校の勉強がよくわかる

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



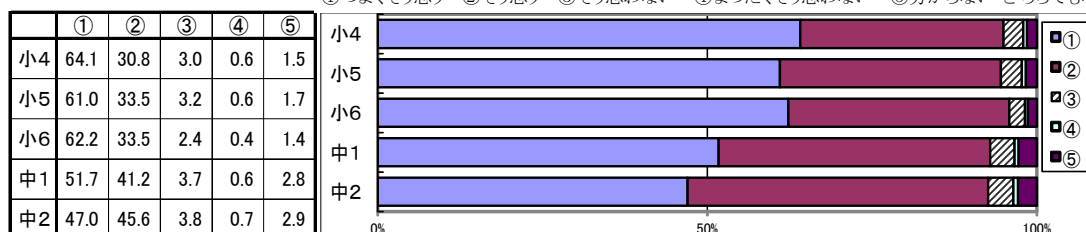
「つよくそう思う」「そう思う」の割合



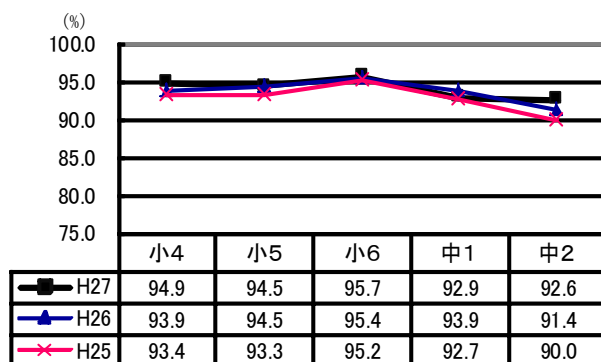
小学校の全ての学年で、91%以上が肯定的な回答をしている。中学校では全ての学年で、78%以上が肯定的な回答をしている。小学校の全ての学年、中学校の第2学年の肯定的な回答の割合の数値は、年々少しずつ高くなっている。

### [ 1 - 4 ] ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



「つよくそう思う」「そう思う」の割合



小学校の全ての学年で、94%以上が肯定的な回答をしている。中学校では全ての学年で、92%以上が肯定的な回答をしている。

学習したことを生活や社会で役立つようとする意識が高い。

割合が上昇したのは、小学校第4学年と第6学年、中学校第2学年であった。

④ 生活全般について

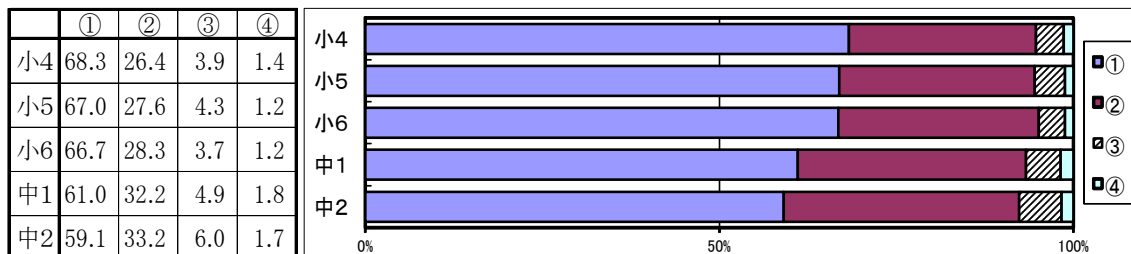
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

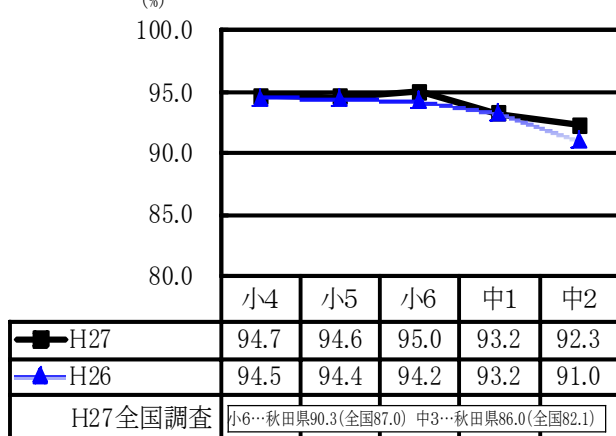
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

〔2-1〕 学校が楽しい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



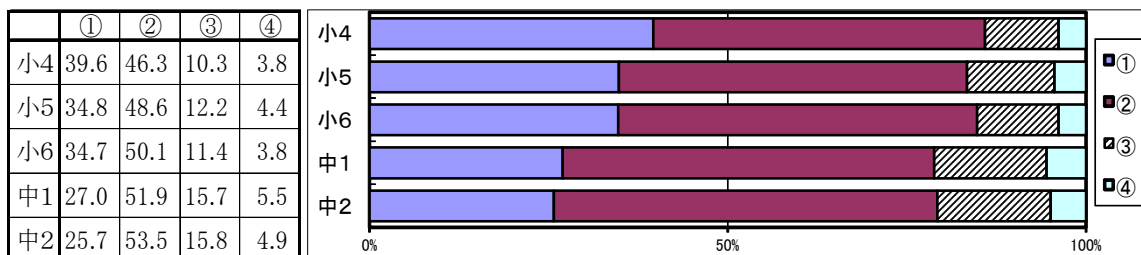
(%) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



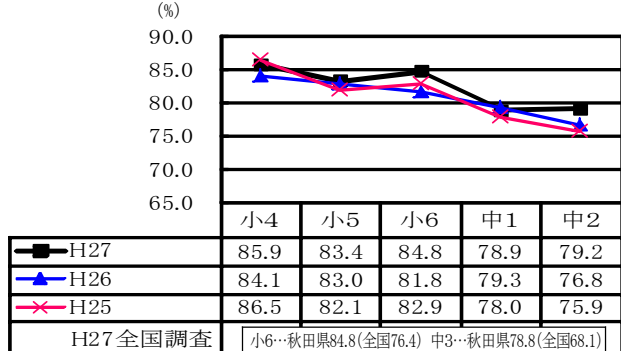
全ての学年で、92%以上が肯定的な回答をしており、そのうち「①当てはまる」と回答した割合が、小学校では66%を上回り、中学校では59%を上回っている。小学校第6学年では、全国学力・学習状況調査の結果より4.7ポイント数値が伸びている。

〔2-2〕 自分にはよいところがあると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



(%) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

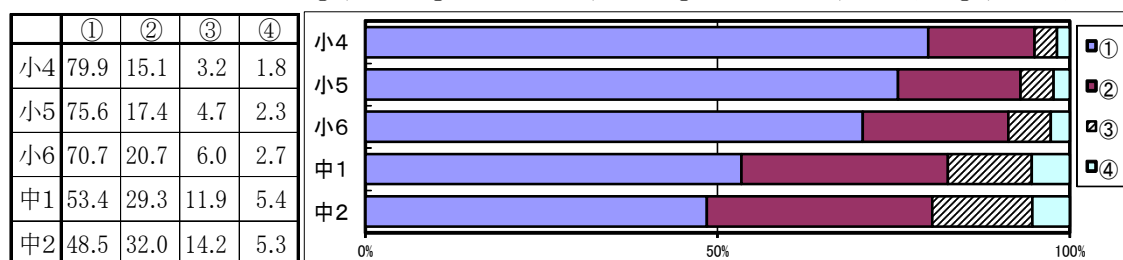


小学校では全ての学年で83%以上、中学校では全ての学年で78%以上が、肯定的な回答をしている。

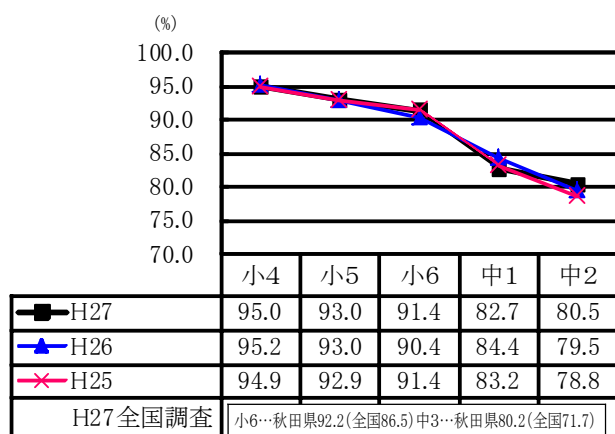
学校生活等の様々な場面で、教師が肯定的な見取りをしたり、自己有用感の醸成が図られたりしていることがうかがえる。

## 〔2－3〕 将来の夢や目標をもっている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



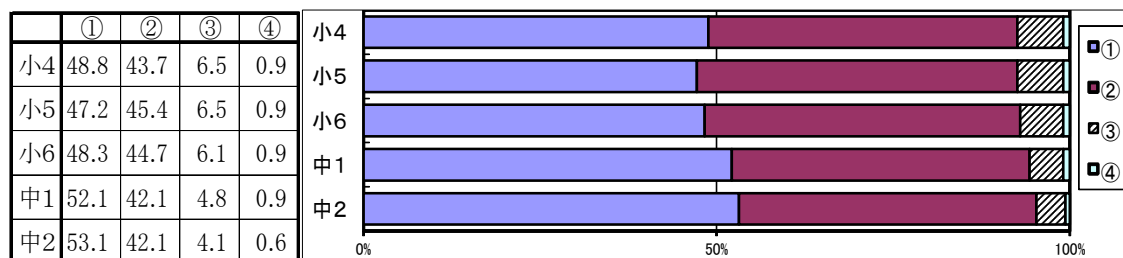
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



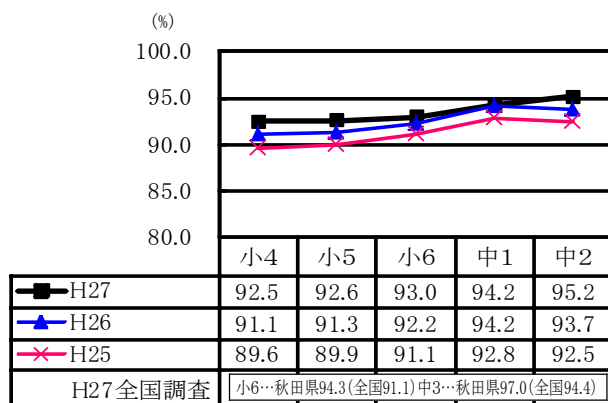
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに伴って低くなっているものの、小学校では、91%以上が肯定的な回答をしており、中学校でも80%以上が肯定的な回答をしている。

## 〔2－4〕 学校のきまりを守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

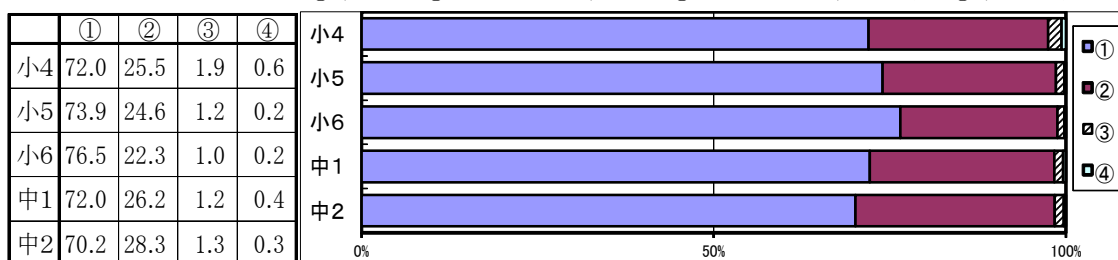


全ての学年で、肯定的な回答の割合が92%を上回り、全体的にこの3年間で最も高い数値を示している。

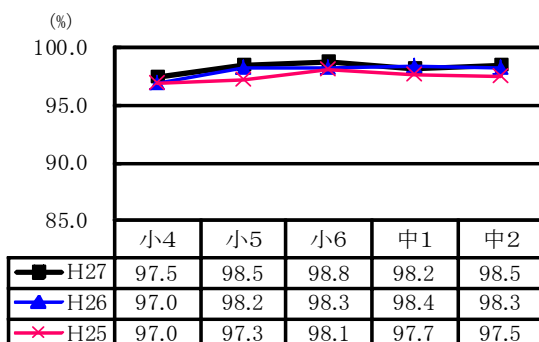
また、小学校に比べて中学校の数値が高いことから、規範意識が醸成されるような取組がなされていることがうかがえる。

## 〔2－5〕 友達との約束を守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

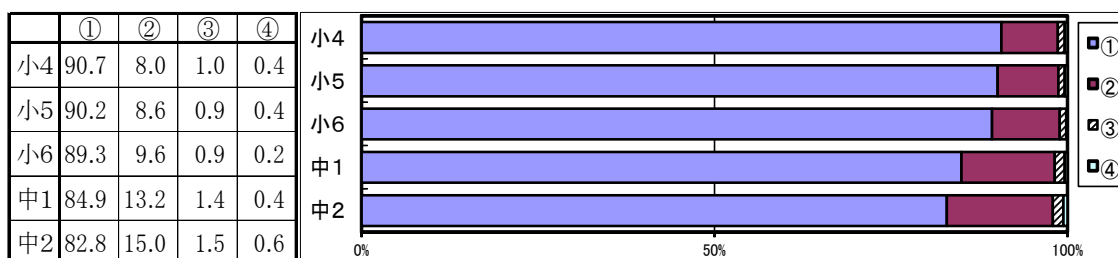


肯定的な回答の割合が、全ての学年で、100%に近く、高い数値を示している。

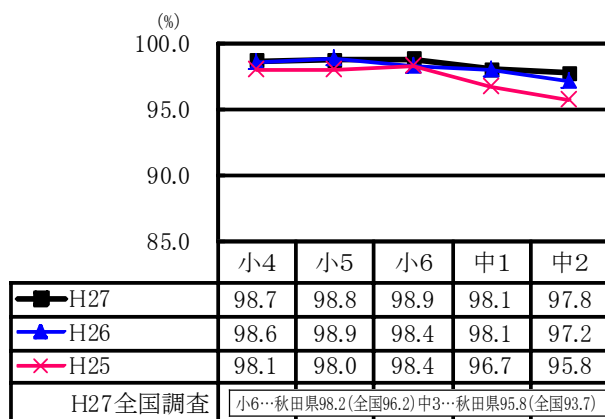
児童生徒は、友達との良好な人間関係を築く上で、約束を守って生活することを大切にしていることがうかがえる。

## 〔2－6〕 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

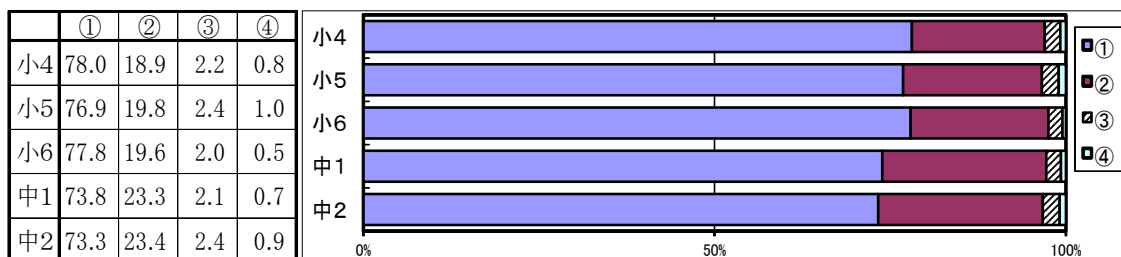


全ての学年で、肯定的な回答の割合が極めて高く、「①当てはまる」と回答している割合は、小学校では89%以上、中学校では82%以上となっている。

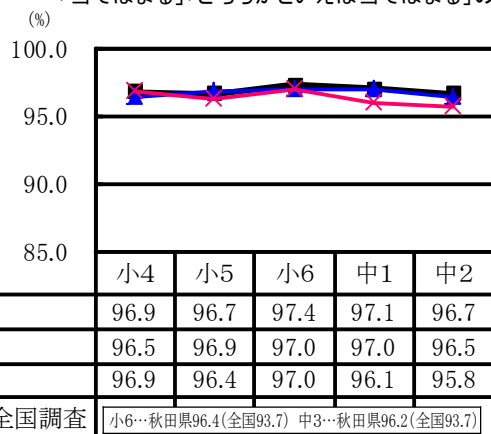
他の質問項目に比べ、全ての学年で高い数値を示している。

## 〔２－７〕 人の役に立つ人間になりたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で96%以上である。

肯定的な回答は、小学校第5学年を除く全ての学年で、この3年間で最も高い数値を示しており、キャリア教育における取組が充実していることがうかがえる。

H27全国調査

小6…秋田県96.4(全国93.7) 中3…秋田県96.2(全国93.7)

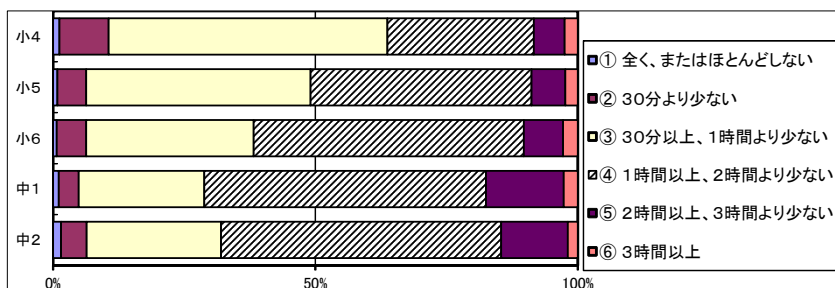


## ⑤ 家庭学習について

[グラフ等の見方]

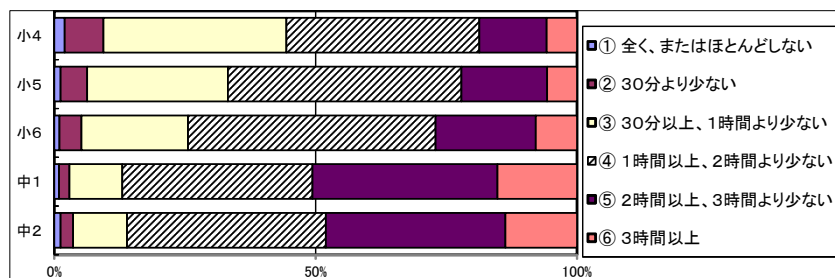
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

### 学校がある日の勉強時間



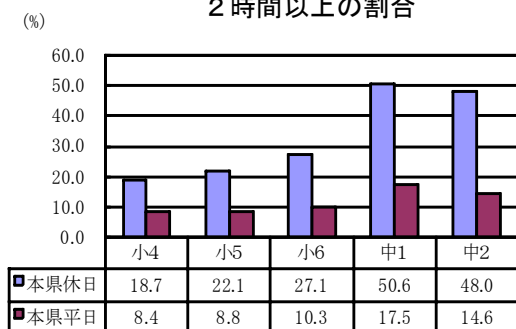
|    | ①   | ②   | ③    | ④    | ⑤    | ⑥   |
|----|-----|-----|------|------|------|-----|
| 小4 | 1.2 | 9.4 | 53.1 | 27.9 | 5.9  | 2.5 |
| 小5 | 0.8 | 5.5 | 42.7 | 42.1 | 6.4  | 2.4 |
| 小6 | 0.7 | 5.6 | 31.9 | 51.4 | 7.5  | 2.8 |
| 中1 | 1.1 | 3.8 | 23.9 | 53.7 | 14.8 | 2.7 |
| 中2 | 1.5 | 4.9 | 25.6 | 53.4 | 12.7 | 1.9 |

### 土曜日や日曜日の勉強時間

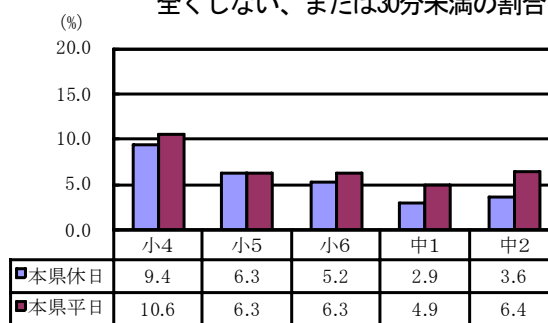


|    | ①   | ②   | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    |
|----|-----|-----|------|------|------|------|
| 小4 | 2.0 | 7.4 | 35.0 | 36.9 | 12.9 | 5.8  |
| 小5 | 1.2 | 5.1 | 26.9 | 44.7 | 16.4 | 5.7  |
| 小6 | 1.0 | 4.2 | 20.4 | 47.4 | 19.2 | 7.9  |
| 中1 | 0.9 | 2.0 | 10.1 | 36.4 | 35.4 | 15.2 |
| 中2 | 1.2 | 2.4 | 10.3 | 38.0 | 34.3 | 13.7 |

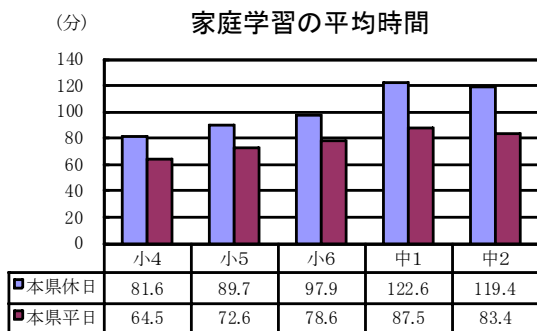
### 2時間以上の割合



### 全くしない、または30分未満の割合



### 家庭学習の平均時間



平日の家庭学習の平均時間は、1時間から1時間20分程度である。

また、休日の家庭学習の時間は、1時間20分から2時間程度で平日より長い。

2時間以上学習している割合は中学生になると高くなり、休日の場合は約5割の生徒が取り組んでいる。

休日の平均時間は、平日の平均時間に比べて、小学校では1.2倍、中学校では1.4倍であり、休日に家庭学習を多くしている傾向が見られる。

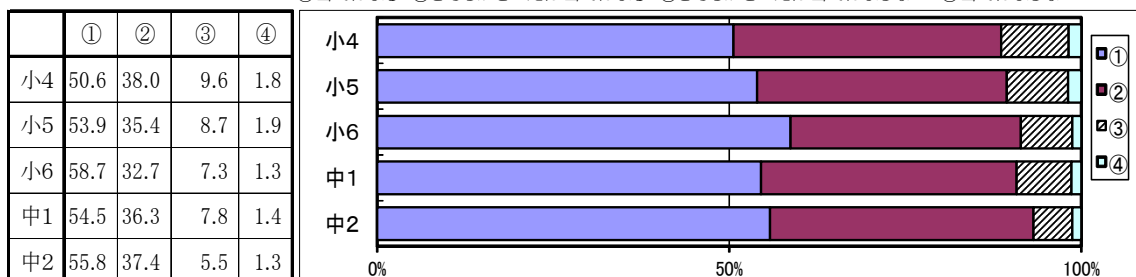
## ⑥ 授業について

[グラフ等の見方]

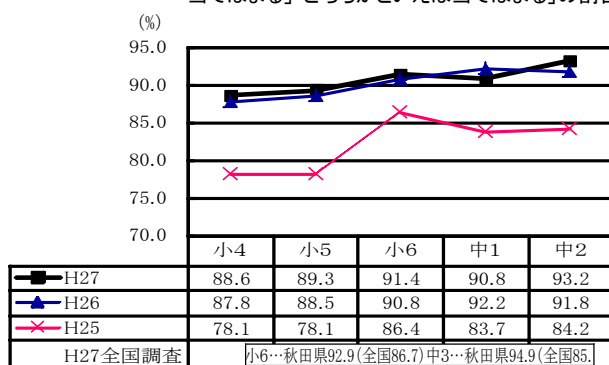
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合  
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

### [4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

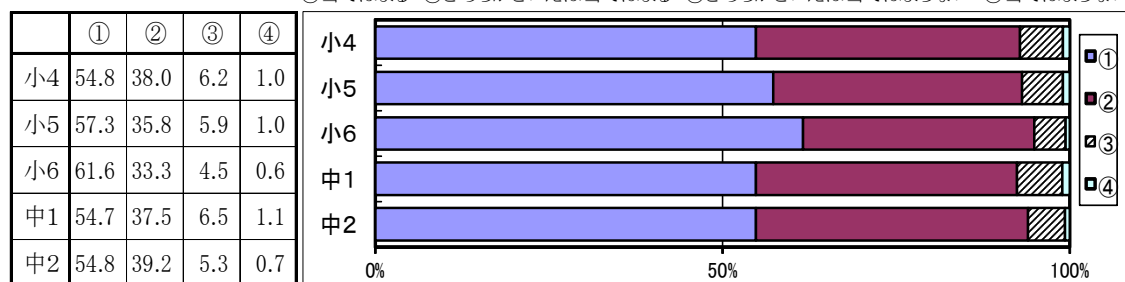


全ての学年において、88%以上が肯定的な回答をしており、ほぼ全ての学年で昨年度より高い数値である。学年が上がるに伴って、割合が高くなる傾向が見える。

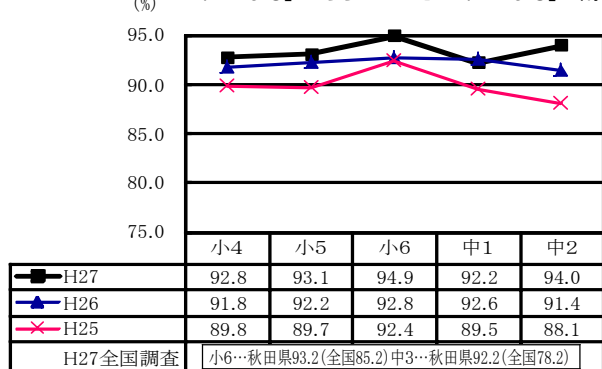
普段の授業において、児童生徒が自分の考えを発表する場が設定されていることがうかがえる。

### [4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

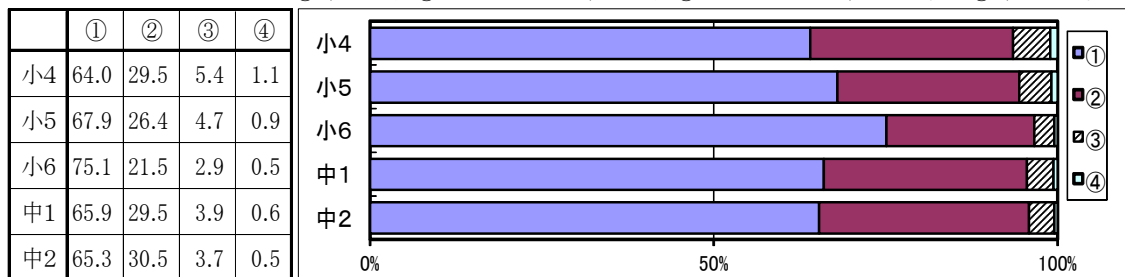


肯定的な回答の割合が、全ての学年で92%以上と高い数値を示している。

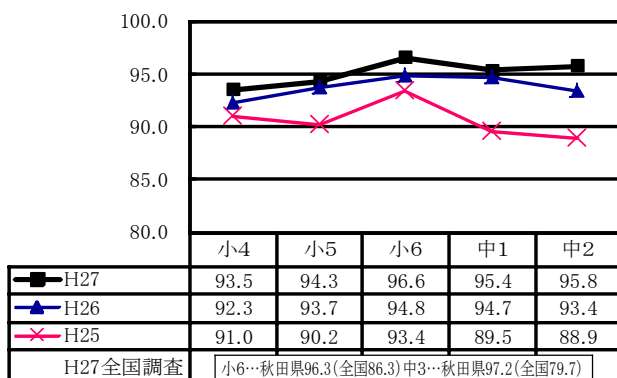
普段の授業において、児童生徒が話し合いを行う場を意図的に設定しており、言語活動の充実に努めていることがうかがえる。

〔４－３〕 ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



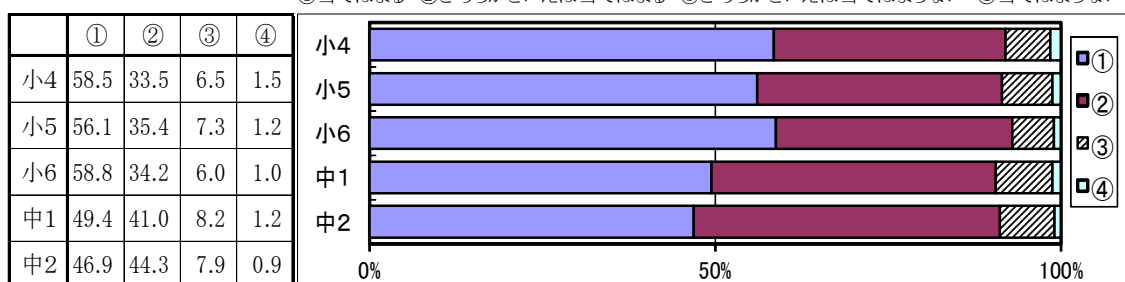
(%) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



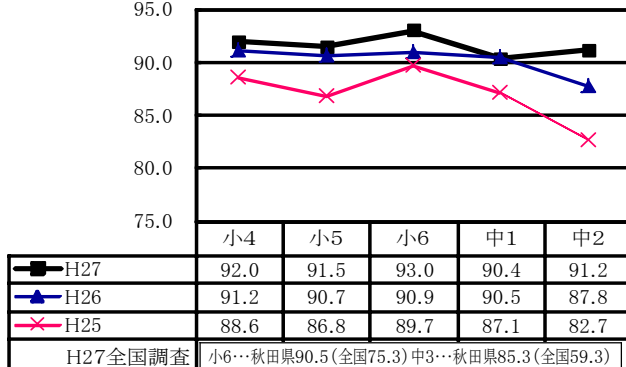
全ての学年で肯定的な回答の割合が93%以上であり、昨年度より高くなっている。児童生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、導入場面で学習の見通しをもたせる指導の充実に努めていることがうかがえる。

〔４－４〕 ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



(%) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



小学校では91%以上、中学校では90%以上が、肯定的な回答をしている。小学校の全ての学年、中学校の第2学年においては、この3年間で最も高い数値を示している。

各学校において、授業の最後に振り返る活動を確実に設定していることがうかがえる。

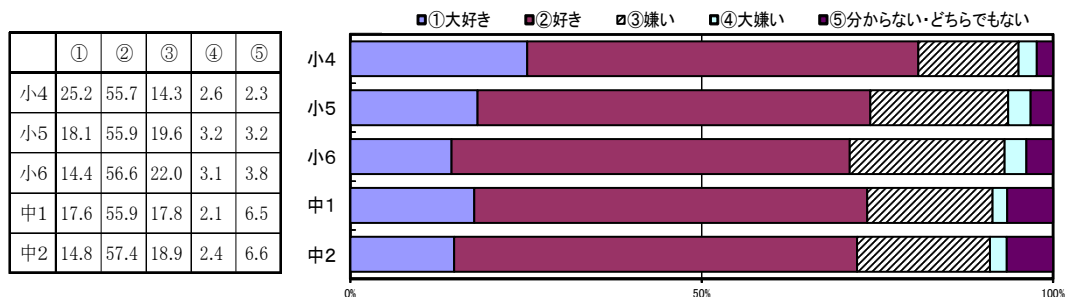
⑦ 教科の好き嫌い

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】

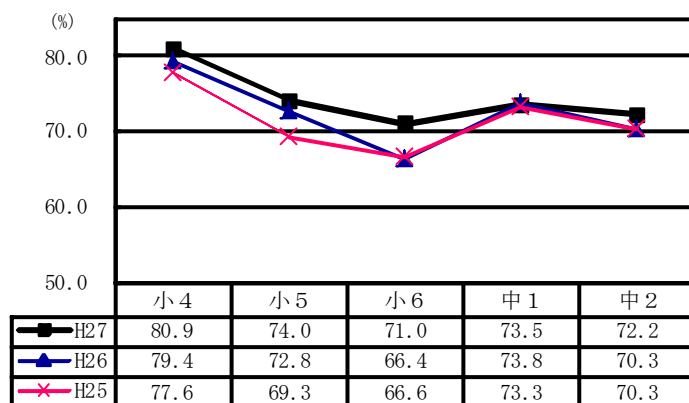


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

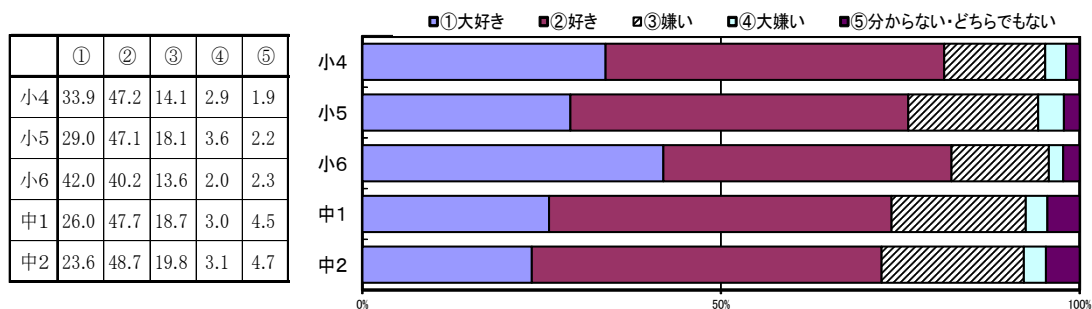
| 国語       |                    | 小4    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|----------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由    | ① 内容に興味があっておもしろい   | 21.2% | 18.1% | 15.5% | 22.5% | 20.0% |
|          | ② 分かりやすい           | 18.6% | 14.1% | 12.0% | 14.5% | 14.3% |
|          | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 12.0% | 13.1% | 17.6% | 14.0% | 15.8% |
|          | ④ 生活の中で役立つ         | 8.4%  | 9.1%  | 10.3% | 8.0%  | 8.1%  |
|          | ⑤ 考えるのが楽しい         | 13.2% | 11.7% | 9.1%  | 10.0% | 7.8%  |
|          | ⑥ 得意               | 6.0%  | 5.9%  | 5.1%  | 5.6%  | 6.7%  |
| 嫌いな理由    | ⑦ 内容に興味がない         | 2.9%  | 4.2%  | 4.9%  | 4.6%  | 5.5%  |
|          | ⑧ 分かりにくい           | 4.6%  | 4.8%  | 4.8%  | 3.7%  | 4.4%  |
|          | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.1%  | 0.1%  | 0.1%  | 0.2%  | 0.3%  |
|          | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.1%  | 0.1%  | 0.2%  | 0.2%  | 0.2%  |
|          | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 1.5%  | 2.1%  | 2.4%  | 1.8%  | 2.0%  |
|          | ⑫ 不得意              | 7.0%  | 11.2% | 12.8% | 10.0% | 9.4%  |
| ⑬ その他・不明 |                    | 4.3%  | 5.6%  | 5.3%  | 4.9%  | 5.5%  |

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校、中学校どちらの校種も、学年が上がるに伴って減少しているが、小学校第4学年から中学校第2学年までの全体の減少幅は9.9ポイントとなっており、他の調査教科に比べて小さい。好きな理由として、小学校、中学校の全ての学年で高い割合を占めているものは、「①内容に興味があっておもしろい」である。また、「②分かりやすい」「③将来、社会に出たときに役立つ」についても、小学校、中学校とも肯定的な回答の割合が高くなっている。

## 【社会】

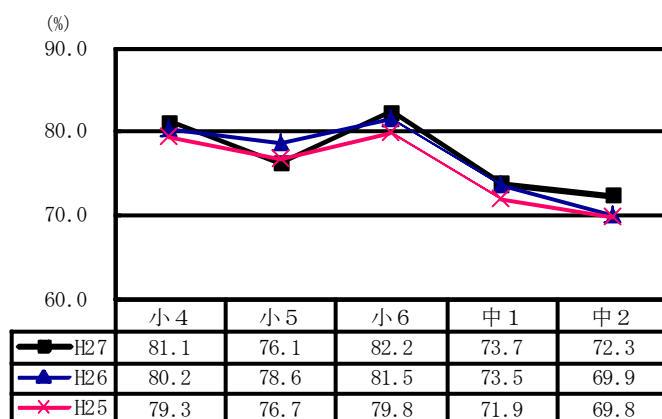


### 〔好きな理由・嫌いな理由〕

%は全児童生徒に対する割合

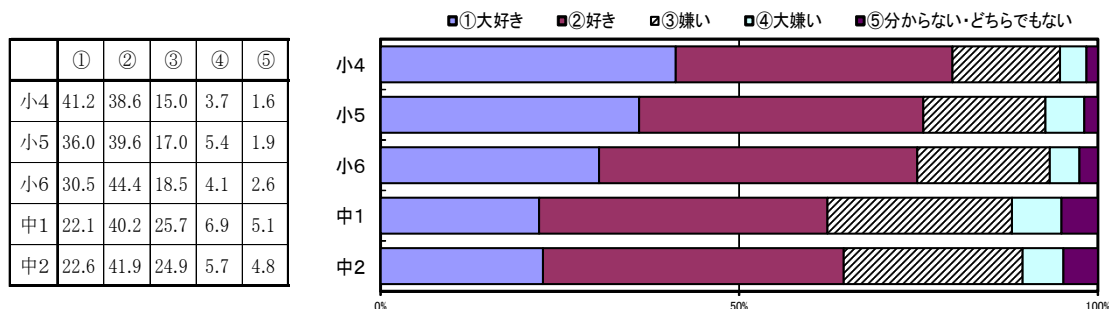
|       | 社会                 | 小 4   | 小 5   | 小 6   | 中 1   | 中 2   |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由 | ① 内容に興味があっておもしろい   | 15.8% | 17.7% | 42.8% | 34.9% | 35.6% |
|       | ② 分かりやすい           | 10.0% | 9.8%  | 8.4%  | 11.4% | 10.8% |
|       | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 34.0% | 30.5% | 14.0% | 12.6% | 10.3% |
|       | ④ 生活の中で役立つ         | 10.4% | 6.8%  | 2.4%  | 2.7%  | 3.1%  |
|       | ⑤ 考えるのが楽しい         | 6.8%  | 6.7%  | 8.0%  | 7.9%  | 7.0%  |
|       | ⑥ 得意               | 3.8%  | 4.2%  | 6.0%  | 4.7%  | 5.3%  |
| 嫌いな理由 | ⑦ 内容に興味がない         | 3.4%  | 4.6%  | 2.3%  | 3.9%  | 4.8%  |
|       | ⑧ 分かりにくい           | 5.3%  | 5.8%  | 4.1%  | 5.4%  | 5.7%  |
|       | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.3%  | 0.3%  | 0.5%  | 0.8%  | 1.2%  |
|       | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.2%  | 0.2%  | 0.3%  | 0.4%  | 0.6%  |
|       | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 1.2%  | 1.7%  | 0.8%  | 0.8%  | 0.9%  |
|       | ⑫ 不得意              | 6.0%  | 8.6%  | 7.3%  | 10.9% | 10.3% |
|       | ⑬ その他・不明           | 2.9%  | 3.2%  | 3.1%  | 3.7%  | 4.5%  |

### 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では76%以上、中学校では72%以上が肯定的な回答をしており、小学校第5学年を除く全ての学年では、肯定的な回答の割合がこの3年間で最も高い数値を示している。昨年度と同様に、小学校第4・5学年では、「③将来、社会に出たときに役立つ」という回答の割合が比較的高く、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、「①内容に興味があっておもしろい」という回答の割合が比較的高くなっている。

# 【算数、数学】

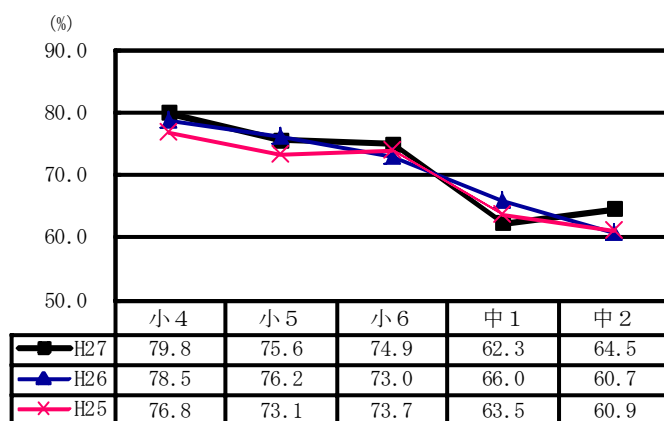


## 〔好きな理由・嫌いな理由〕

%は全児童生徒に対する割合

|       | 算数、数学              | 小 4   | 小 5   | 小 6   | 中 1   | 中 2   |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由 | ① 内容に興味があっておもしろい   | 9.8%  | 10.8% | 8.3%  | 8.4%  | 9.8%  |
|       | ② 分かりやすい           | 12.9% | 11.7% | 10.6% | 10.0% | 11.0% |
|       | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 13.4% | 12.0% | 17.1% | 12.0% | 11.1% |
|       | ④ 生活の中で役立つ         | 14.2% | 10.4% | 12.8% | 8.7%  | 7.0%  |
|       | ⑤ 考えるのが楽しい         | 17.8% | 20.2% | 17.5% | 16.8% | 19.2% |
|       | ⑥ 得意               | 11.5% | 10.0% | 8.8%  | 7.7%  | 7.4%  |
| 嫌いな理由 | ⑦ 内容に興味が無い         | 1.3%  | 1.8%  | 2.0%  | 2.8%  | 2.9%  |
|       | ⑧ 分かりにくい           | 6.9%  | 5.9%  | 5.1%  | 8.9%  | 7.0%  |
|       | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.1%  | 0.1%  | 0.1%  | 0.5%  | 0.8%  |
|       | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.1%  | 0.1%  | 0.1%  | 0.3%  | 0.5%  |
|       | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 2.2%  | 3.6%  | 3.4%  | 4.2%  | 3.9%  |
|       | ⑫ 不得意              | 7.5%  | 10.5% | 11.7% | 16.7% | 16.2% |
|       | ⑬ その他・不明           | 2.3%  | 3.0%  | 2.5%  | 2.9%  | 3.2%  |

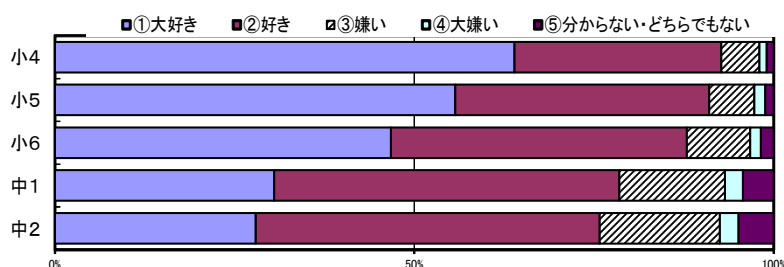
## 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校から中学校へと学年が上がるに伴って減少しているが、中学校第2学年が、例年より向上している。全ての学年において、好きな理由として、「⑤考えるのが楽しい」という回答の割合が最も高く、「③将来、社会に出たときに役立つ」「②分かりやすい」という回答の割合も高い。一方、嫌いな理由として、「⑥不得意」という回答の割合が高く、学年が上がるに伴って苦手意識をもつ傾向にある。

# 【理科】

|    | ①    | ②    | ③    | ④   | ⑤   |
|----|------|------|------|-----|-----|
| 小4 | 64.0 | 28.8 | 5.3  | 1.0 | 1.0 |
| 小5 | 55.7 | 35.3 | 6.3  | 1.5 | 1.2 |
| 小6 | 46.8 | 41.2 | 8.8  | 1.5 | 1.8 |
| 中1 | 30.5 | 48.0 | 14.7 | 2.5 | 4.3 |
| 中2 | 27.9 | 47.8 | 16.7 | 2.6 | 4.9 |

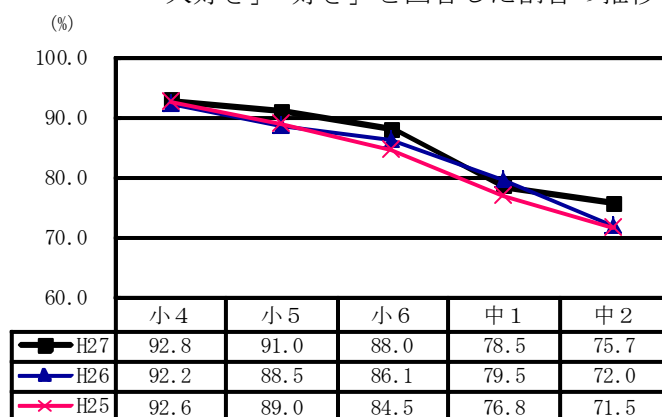


## [好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

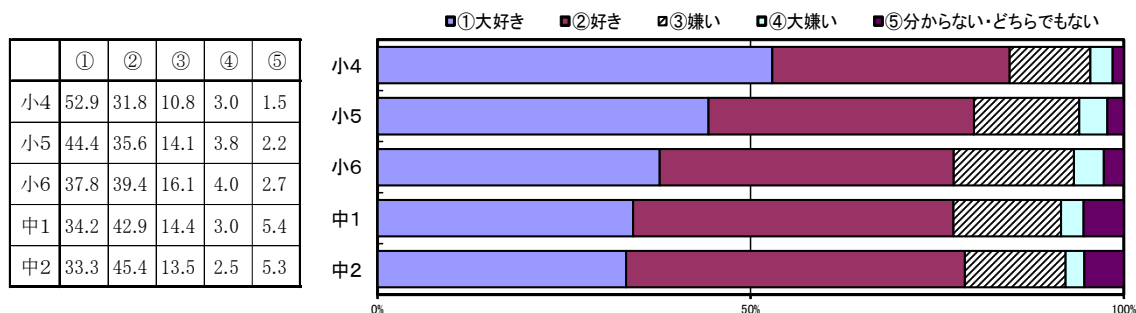
|       | 理科                 | 小4    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由 | ① 内容に興味があっておもしろい   | 34.2% | 38.8% | 35.8% | 35.8% | 35.0% |
|       | ② 分かりやすい           | 10.7% | 10.4% | 10.9% | 10.0% | 10.1% |
|       | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 4.9%  | 3.9%  | 4.9%  | 3.4%  | 4.2%  |
|       | ④ 生活の中で役立つ         | 8.4%  | 6.1%  | 7.2%  | 6.8%  | 5.7%  |
|       | ⑤ 考えるのが楽しい         | 22.2% | 20.2% | 18.4% | 16.4% | 13.9% |
|       | ⑥ 得意               | 10.6% | 10.0% | 9.0%  | 6.5%  | 6.9%  |
| 嫌いな理由 | ⑦ 内容に興味がない         | 1.3%  | 1.5%  | 2.4%  | 2.7%  | 2.9%  |
|       | ⑧ 分かりにくい           | 1.8%  | 1.7%  | 2.2%  | 4.2%  | 5.5%  |
|       | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.2%  | 0.3%  | 0.5%  | 1.3%  | 1.2%  |
|       | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.1%  | 0.2%  | 0.2%  | 0.6%  | 0.7%  |
|       | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.5%  | 0.5%  | 0.9%  | 1.0%  | 1.2%  |
|       | ⑫ 不得意              | 2.1%  | 2.9%  | 3.7%  | 7.5%  | 8.2%  |
|       | ⑬ その他・不明           | 3.1%  | 3.5%  | 3.8%  | 3.9%  | 4.5%  |

## 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



学年が上がるに伴って肯定的な回答の割合が低くなる傾向が見られるが、昨年と同様に、小学校の調査を行った教科の中で、肯定的な回答の割合が最も高い数値を示している。好きな理由として、「①内容に興味があっておもしろい」「⑤考えるのが楽しい」と回答した割合が高い。

## 【音楽】

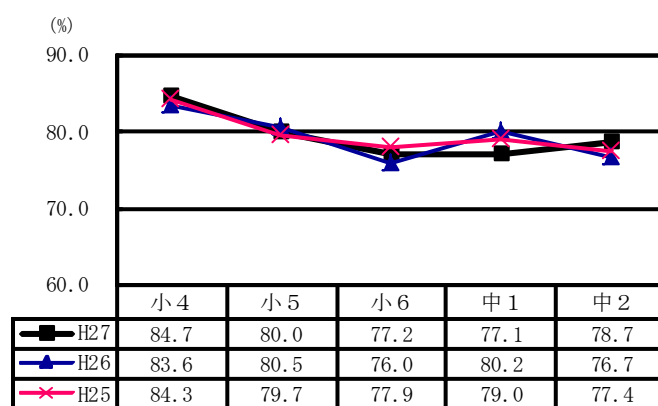


### [好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

|       | 音楽                 | 小4    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由 | ① 内容に興味があっておもしろい   | 23.7% | 26.6% | 27.1% | 36.4% | 39.8% |
|       | ② 分かりやすい           | 13.5% | 10.8% | 9.9%  | 9.0%  | 6.9%  |
|       | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 2.5%  | 2.2%  | 2.0%  | 1.4%  | 1.6%  |
|       | ④ 生活の中で役立つ         | 3.1%  | 2.8%  | 2.1%  | 2.2%  | 2.0%  |
|       | ⑤ 考えるのが楽しい         | 7.3%  | 6.4%  | 5.1%  | 6.1%  | 6.0%  |
|       | ⑥ 得意               | 26.3% | 22.2% | 21.0% | 15.0% | 14.3% |
| 嫌いな理由 | ⑦ 内容に興味がない         | 2.2%  | 3.5%  | 3.5%  | 4.6%  | 4.3%  |
|       | ⑧ 分かりにくい           | 2.6%  | 2.7%  | 2.3%  | 1.1%  | 1.1%  |
|       | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.6%  | 1.6%  | 1.8%  | 2.6%  | 2.5%  |
|       | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.6%  | 0.9%  | 1.2%  | 1.4%  | 1.3%  |
|       | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.5%  | 0.3%  | 0.3%  | 0.3%  | 0.4%  |
|       | ⑫ 不得意              | 6.6%  | 8.4%  | 10.4% | 7.3%  | 6.6%  |
|       | ⑬ その他・不明           | 10.4% | 11.5% | 13.2% | 12.4% | 13.2% |

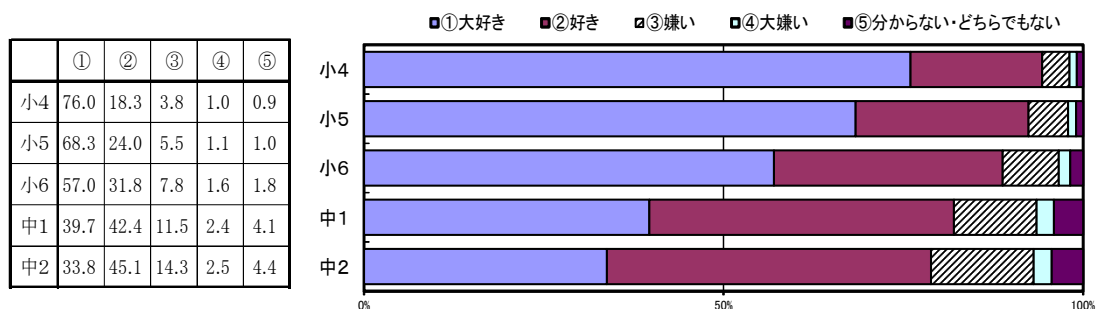
### 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



学年による肯定的な回答の割合が8割程度と、全ての教科の中で、学年による割合の数値の差が最も小さい。好きな理由としては、「①内容に興味があっておもしろい」という回答の割合が比較的高く、学年が上がるに伴って高くなっている。次いで「⑥得意」という理由が高くなっている。

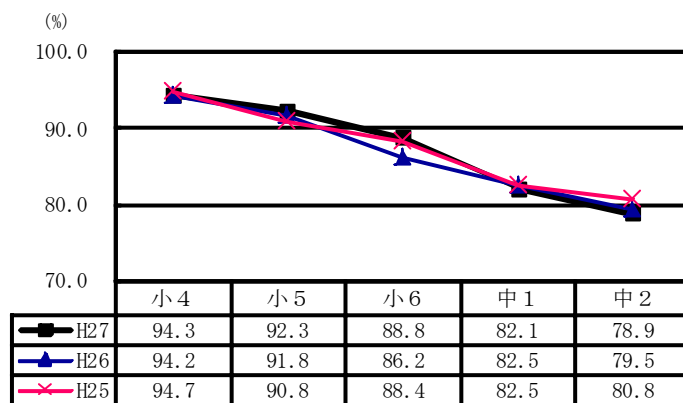


## 【図画工作、美術】



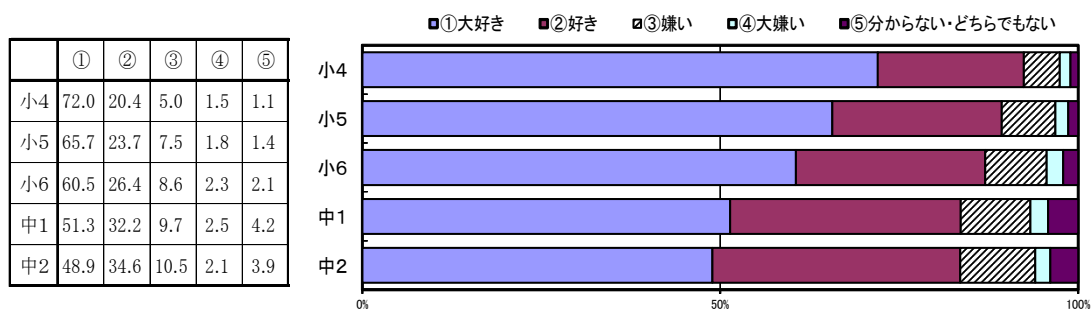
| [好きな理由・嫌いな理由] |                    | %は全児童生徒に対する割合 |       |       |       |       |
|---------------|--------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| 図画工作、美術       |                    | 小4            | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
| 好きな理由         | ① 内容に興味があっておもしろい   | 29.1%         | 33.1% | 32.7% | 37.7% | 36.7% |
|               | ② 分かりやすい           | 4.8%          | 4.3%  | 4.1%  | 5.3%  | 4.6%  |
|               | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 2.7%          | 2.1%  | 1.9%  | 1.4%  | 1.4%  |
|               | ④ 生活の中で役立つ         | 4.5%          | 3.7%  | 4.0%  | 2.9%  | 2.6%  |
|               | ⑤ 考えるのが楽しい         | 22.9%         | 23.1% | 22.0% | 17.4% | 16.0% |
|               | ⑥ 得意               | 26.0%         | 21.5% | 19.2% | 12.9% | 12.2% |
| 嫌いな理由         | ⑦ 内容に興味が無い         | 0.7%          | 1.1%  | 1.3%  | 3.3%  | 3.5%  |
|               | ⑧ 分かりにくい           | 0.4%          | 0.3%  | 0.3%  | 0.6%  | 0.7%  |
|               | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.3%          | 0.6%  | 0.7%  | 1.8%  | 2.0%  |
|               | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.2%          | 0.2%  | 0.3%  | 1.1%  | 1.4%  |
|               | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.4%          | 0.4%  | 0.5%  | 0.6%  | 0.7%  |
|               | ⑫ 不得意              | 2.6%          | 3.6%  | 5.8%  | 6.6%  | 8.5%  |
|               | ⑬ その他・不明           | 5.5%          | 6.0%  | 7.0%  | 8.6%  | 9.7%  |

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



全ての教科の中で、肯定的な回答の割合が最も高い教科である。肯定的な回答の割合は、小学校では9割程度、中学校では8割程度である。また、好きな理由としては、昨年度と同様に「①内容に興味があっておもしろい」「⑤考えるのが楽しい」「⑥得意」という回答の割合が高くなっており、「⑤考えるのが楽しい」については、全ての学年で昨年度より高くなっている。

## 【体育、保健体育】

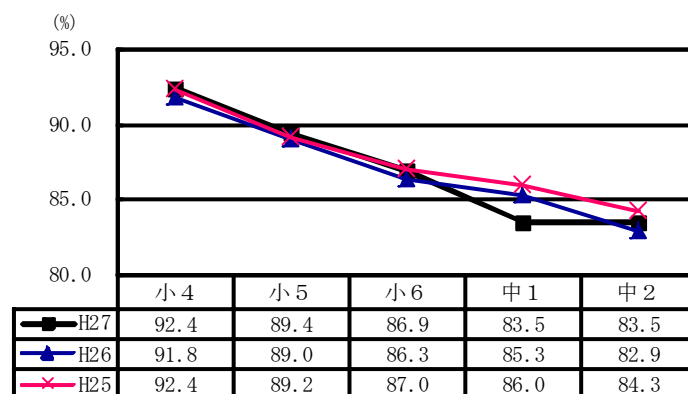


## [好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

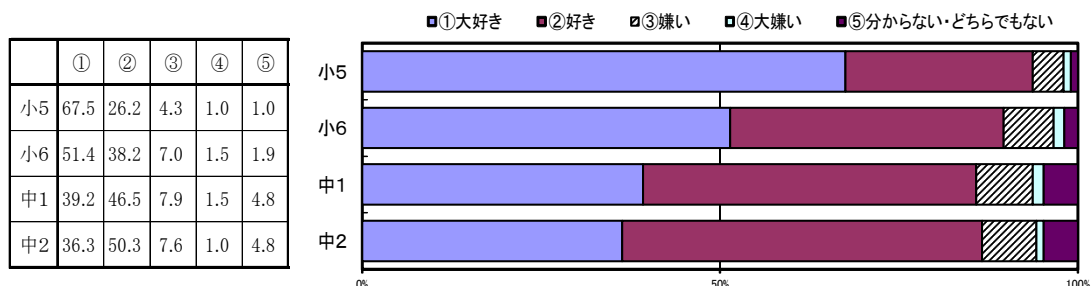
| 体育、保健体育 |                    | 小4    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|---------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由   | ① 内容に興味があっておもしろい   | 23.4% | 27.2% | 27.9% | 32.2% | 33.2% |
|         | ② 分かりやすい           | 4.7%  | 4.6%  | 4.1%  | 4.5%  | 3.9%  |
|         | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 5.3%  | 4.2%  | 3.3%  | 3.9%  | 3.0%  |
|         | ④ 生活の中で役立つ         | 7.3%  | 5.3%  | 4.3%  | 5.4%  | 5.4%  |
|         | ⑤ 考えるのが楽しい         | 2.0%  | 1.8%  | 1.6%  | 2.6%  | 2.7%  |
|         | ⑥ 得意               | 40.5% | 36.1% | 35.5% | 29.0% | 28.0% |
| 嫌いな理由   | ⑦ 内容に興味がない         | 0.7%  | 0.9%  | 0.8%  | 1.8%  | 1.4%  |
|         | ⑧ 分かりにくい           | 0.1%  | 0.2%  | 0.2%  | 0.3%  | 0.4%  |
|         | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.3%  | 0.4%  | 0.5%  | 0.6%  | 0.6%  |
|         | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.2%  | 0.2%  | 0.2%  | 0.3%  | 0.2%  |
|         | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.1%  | 0.1%  | 0.1%  | 0.1%  | 0.2%  |
|         | ⑫ 不得意              | 4.8%  | 7.0%  | 8.7%  | 8.7%  | 9.5%  |
|         | ⑬ その他・不明           | 10.5% | 12.1% | 12.9% | 10.7% | 11.5% |

## 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合が他の教科と比べて高く、全ての学年で83%以上である。また、昨年度と同様に、「大好き」の割合が「好き」の割合を上回っており、学年進行に伴う肯定的な回答の減少の程度は小さい。好きな理由である「①内容に興味があっておもしろい」の割合は、学年が上がるに伴って高くなっている。

# 【家庭、技術・家庭】

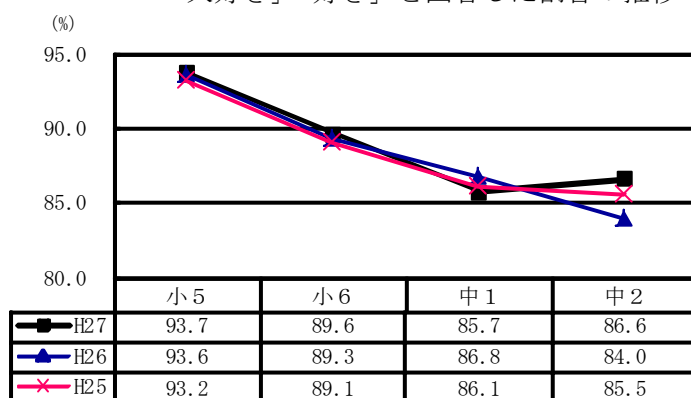


## [好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

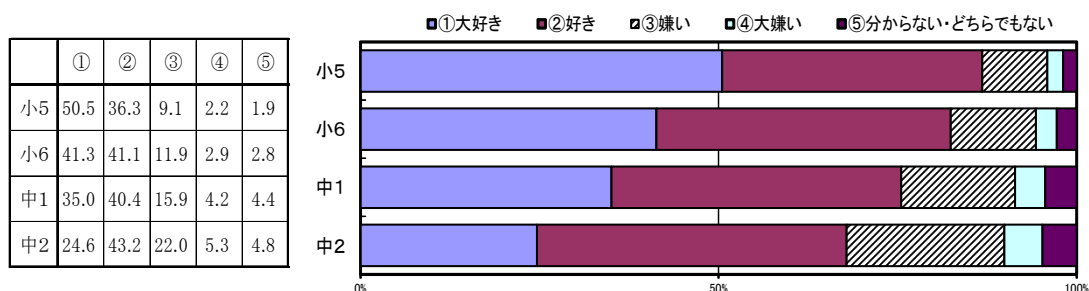
| 家庭、技術・家庭 |                    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|----------|--------------------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由    | ① 内容に興味があっておもしろい   | 20.6% | 15.5% | 26.5% | 28.6% |
|          | ② 分かりやすい           | 4.5%  | 4.4%  | 4.7%  | 4.5%  |
|          | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 14.4% | 16.3% | 14.1% | 14.1% |
|          | ④ 生活の中で役立つ         | 33.1% | 37.3% | 23.9% | 23.3% |
|          | ⑤ 考えるのが楽しい         | 3.4%  | 2.8%  | 7.5%  | 6.5%  |
|          | ⑥ 得意               | 15.3% | 12.1% | 9.4%  | 9.5%  |
| 嫌いな理由    | ⑦ 内容に興味がない         | 1.1%  | 1.6%  | 2.5%  | 2.9%  |
|          | ⑧ 分かりにくい           | 0.7%  | 1.0%  | 1.2%  | 0.9%  |
|          | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.1%  | 0.2%  | 0.4%  | 0.3%  |
|          | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.1%  | 0.0%  | 0.2%  | 0.1%  |
|          | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.2%  | 0.4%  | 0.8%  | 0.6%  |
|          | ⑫ 不得意              | 2.9%  | 5.1%  | 4.2%  | 3.8%  |
| ⑬ その他・不明 |                    | 3.6%  | 3.3%  | 4.6%  | 4.9%  |

## 「大好き」「好き」と回答した割合の推移



中学校の全ての教科の中で、肯定的な回答の割合が最も高い教科であり、全ての学年で85%以上である。小学校では、肯定的な回答の割合が9割程度で、この3年間で最も高い。また、好きな理由として「生活の中で役立つ」と回答した割合は、小学校では33%以上、中学校では23%以上となっている。

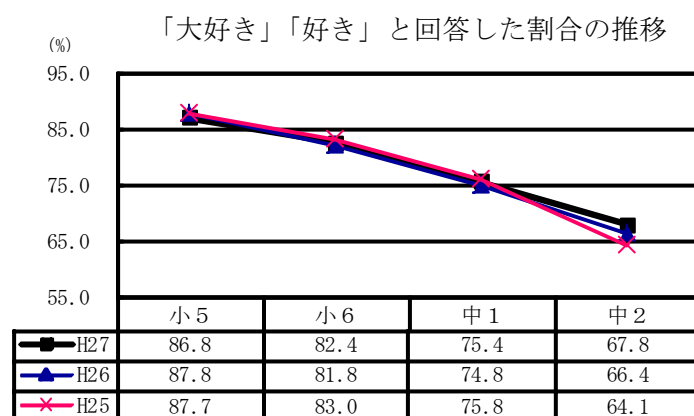
【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】



[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

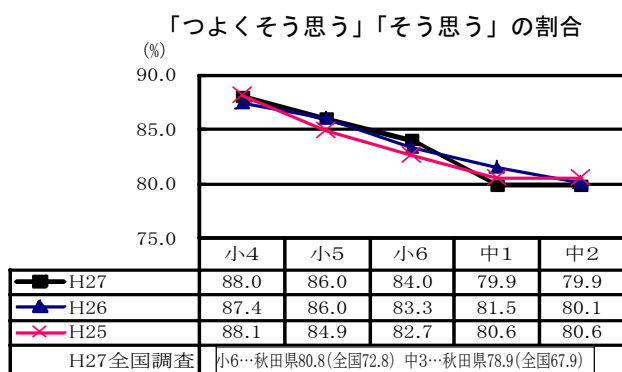
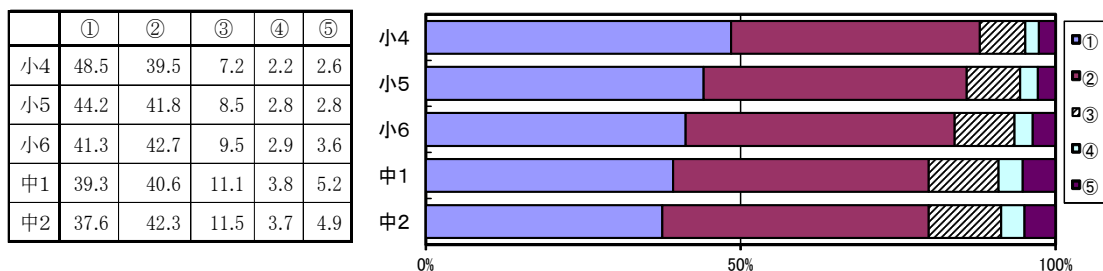
| 外国語活動、外国語（英語） |                    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    |
|---------------|--------------------|-------|-------|-------|-------|
| 好きな理由         | ① 内容に興味があっておもしろい   | 19.9% | 18.6% | 15.3% | 13.1% |
|               | ② 分かりやすい           | 9.2%  | 8.0%  | 8.8%  | 8.0%  |
|               | ③ 将来、社会に出たときに役立つ   | 28.9% | 33.4% | 29.2% | 29.4% |
|               | ④ 生活の中で役立つ         | 6.0%  | 5.5%  | 5.3%  | 4.9%  |
|               | ⑤ 考えるのが楽しい         | 11.8% | 8.1%  | 5.7%  | 5.6%  |
|               | ⑥ 得意               | 8.1%  | 7.4%  | 11.4% | 7.1%  |
| 嫌いな理由         | ⑦ 内容に興味がない         | 1.9%  | 2.0%  | 2.0%  | 2.9%  |
|               | ⑧ 分かりにくい           | 3.9%  | 5.3%  | 5.8%  | 7.1%  |
|               | ⑨ 将来、社会に出たときに役立たない | 0.2%  | 0.2%  | 0.5%  | 0.7%  |
|               | ⑩ 生活の中で役立たない       | 0.2%  | 0.3%  | 0.6%  | 0.7%  |
|               | ⑪ 考えるのがめんどろ        | 0.6%  | 0.6%  | 1.1%  | 1.5%  |
|               | ⑫ 不得意              | 4.2%  | 6.1%  | 10.2% | 14.7% |
| ⑬ その他・不明      |                    | 5.2%  | 4.5%  | 4.1%  | 4.1%  |



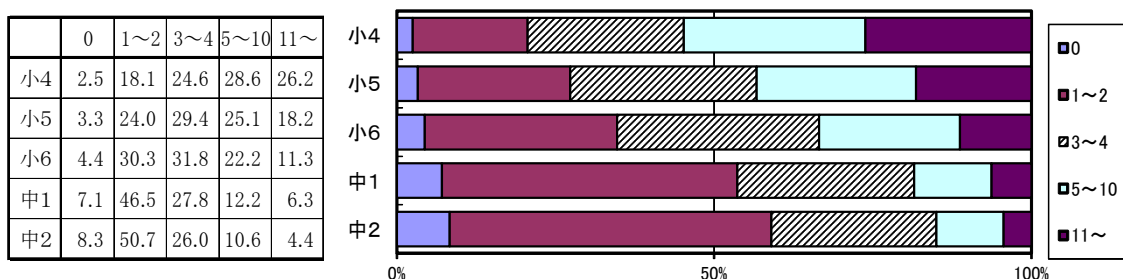
小学校外国語活動については、肯定的な回答が82%以上と高く、中学校英語については、肯定的な回答の割合は67%以上である。好きな理由である「①内容に興味があっておもしろい」「⑤考えるのが楽しい」という回答の割合が、学年が上がるに伴って減少する傾向にある。「③将来、社会に出たときに役立つ」という回答の割合については、全ての学年で28%以上と高い。

⑧ 読書について  
[読書は好きだ]

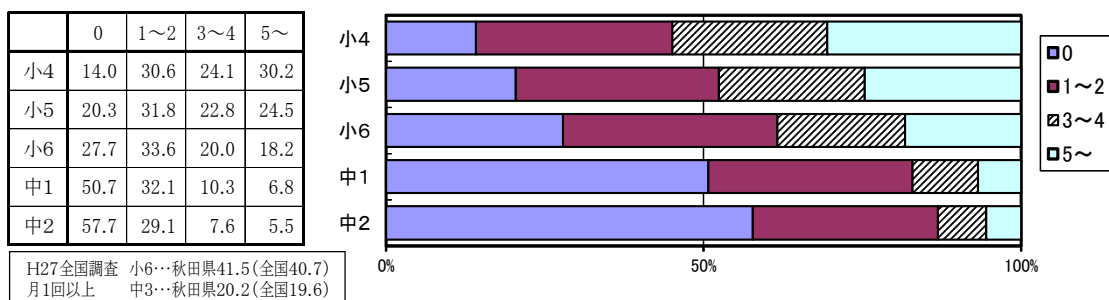
①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く)]



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]



小学校では84%以上、中学校では79%以上が、読書が好きだという意識をもっている。また、全ての学年の児童生徒の91%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が33%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館の利用回数については、月に1回以上利用している児童はおよそ7割で、生徒はおよそ5割である。

#### 4 結果と考察 (1)国語

平成27年度小学校学習状況調査 第4学年 国語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                                                                                           | 内<br>容            | 評<br>価<br>規<br>準                         | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点              |                  |                                           |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------------------------|
|                  |                                                                                                  |                   |                                          |                  | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解<br>・<br>技<br>の<br>能 |
| 第<br>4<br>学<br>年 | 書<br>く<br>こ<br>と                                                                                 | ア(3・4年)           | ・身近なところから，自分のお気に入りの場所を見付けて書いている。         | 12)              | ○                |                  |                                           |
|                  |                                                                                                  | ウ(3・4年)           | ・お気に入りの理由が分かるようにし，他校の小学生に紹介する文章を書いている。   |                  | ○                |                  |                                           |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と                                                                                 | ウ(3・4年)           | ・叙述を基に，登場人物の状況を把握し，気持ちを想像しながら読んでいる。      | 7)               |                  | ○                |                                           |
|                  |                                                                                                  |                   |                                          | 8)               |                  | ○                |                                           |
|                  |                                                                                                  |                   |                                          | 10)              |                  | ○                |                                           |
|                  |                                                                                                  |                   |                                          | 11)              |                  | ○                |                                           |
|                  |                                                                                                  | イ(3・4年)           | ・場面や情景の移り変わりに注意しながら，段落相互の関係を考えて文章を読んでいる。 | 9)               |                  | ○                |                                           |
|                  | 伝<br>統<br>的<br>な<br>言<br>語<br>文<br>化<br>と<br>国<br>語<br>の<br>特<br>質<br>に<br>関<br>す<br>る<br>事<br>項 | (1)ウ(イ)<br>(3・4年) | ・第4学年までに配当されている漢字について，文や文章の中で正しく読んでいる。   | 1)               |                  |                  | ○                                         |
|                  |                                                                                                  |                   |                                          | 2)               |                  |                  | ○                                         |
|                  |                                                                                                  |                   | ・第3学年までに配当されている漢字について，文や文章の中で正しく書いている。   | 3)               |                  |                  | ○                                         |
|                  |                                                                                                  |                   |                                          | 4)               |                  |                  | ○                                         |
|                  |                                                                                                  | (1)イ(キ)<br>(3・4年) | ・修飾と被修飾との関係について正しく理解している。                | 5)               |                  |                  | ○                                         |
|                  |                                                                                                  | (1)イ(ク)<br>(3・4年) | ・接続語が文と文との意味をつなげる役割を果たすことを理解している。        | 6)               |                  |                  | ○                                         |

小学校 4 年 国語 小問別通過率と設定通過率

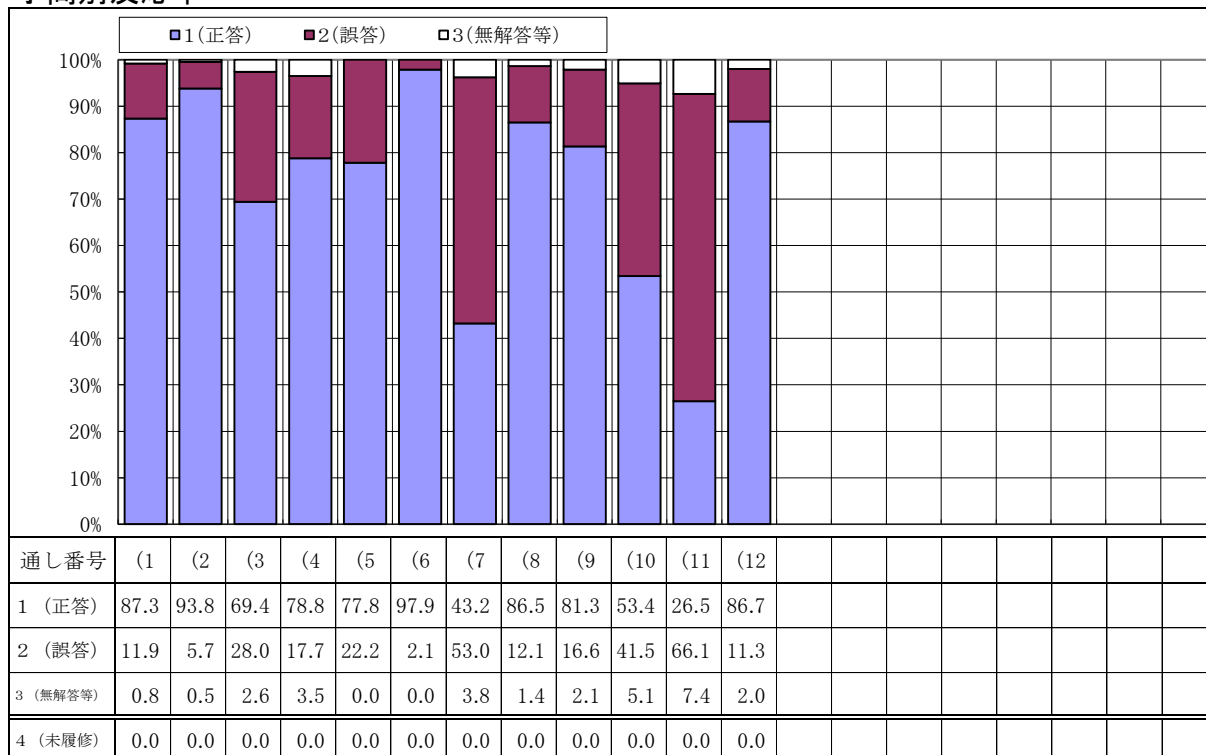
平均通過率 73.6%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容         | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|-----------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | 漢字の読み (お)       | 87.3%      | 85.0%             |         |
| ( 2 )    | 漢字の読み (そうこ)     | 93.8%      | 90.0%             |         |
| ( 3 )    | 漢字の書き (旅館)      | 69.4%      | 70.0%             |         |
| ( 4 )    | 漢字の書き (起こす)     | 78.8%      | 80.0%             |         |
| ( 5 )    | 修飾・被修飾 (選択肢)    | 77.8%      | 80.0%             |         |
| ( 6 )    | 文と文をつなぐ言葉 (選択肢) | 97.9%      | 90.0%             |         |
| ( 7 )    | 内容理解 (記述)       | 43.2%      | 60.0%             |         |
| ( 8 )    | 内容理解 (記述)       | 86.5%      | 75.0%             |         |
| ( 9 )    | 内容理解 (記述)       | 81.3%      | 70.0%             |         |
| ( 1 0 )  | 内容理解 (抜き出し)     | 53.4%      | 60.0%             |         |
| ( 1 1 )  | 内容理解 (記述)       | 26.5%      | 60.0%             |         |
| ( 1 2 )  | 紹介する文章を書く       | 86.7%      | 70.0%             |         |

※——は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 4年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----------|
| 100%    | 53  | 63  | 8   | 17  | 26  | 123 | 7   | 38  | 27  | 8    | 1    | 50   |           |
| 90～100% | 67  | 106 | 13  | 27  | 29  | 85  | 3   | 48  | 31  | 2    | 1    | 68   | 7         |
| 80～90%  | 47  | 36  | 34  | 59  | 60  | 3   | 11  | 97  | 80  | 10   | 3    | 50   | 43        |
| 70～80%  | 24  | 6   | 55  | 65  | 44  | 1   | 10  | 25  | 47  | 15   | 5    | 18   | 103       |
| 60～70%  | 15  | 1   | 46  | 30  | 30  |     | 22  | 3   | 18  | 46   | 8    | 17   | 54        |
| 50～60%  | 1   |     | 33  | 9   | 17  |     | 36  |     | 6   | 62   | 11   | 6    | 4         |
| 40～50%  | 2   |     | 9   | 3   | 4   |     | 30  |     | 1   | 42   | 26   | 1    |           |
| 30～40%  | 1   |     | 11  | 1   | 1   |     | 33  |     | 1   | 18   | 25   | 2    | 1         |
| 20～30%  |     |     | 2   |     |     |     | 33  |     |     | 6    | 43   |      |           |
| 10～20%  | 1   |     |     |     |     |     | 18  |     |     | 1    | 43   |      |           |
| 0～10%   | 1   |     | 1   | 1   | 1   |     | 9   | 1   | 1   | 2    | 46   |      |           |



# 小学校4年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 領 域 別 |      |                          | 計  |
|--------------|-------|------|--------------------------|----|
|              | 書くこと  | 読むこと | 伝統的な言語文化と<br>国語の特質に関する事項 |    |
| +10% より高い    | 1     | 2    | 0                        | 3  |
| ±10% の範囲内    | 0     | 1    | 6                        | 7  |
| -10% より低い    | 0     | 2    | 0                        | 2  |
| 計            | 1     | 5    | 6                        | 12 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」では、設定通過率の「-10%より低い」問題が2問あり、場面の移り変わりに注意しながら登場人物や情景などについて想像して読む力を付ける指導について、改善を図る必要がある。

### (2) 成果

- ①「書くこと」では、ガイドブックのひな型を参考にして、自らのお気に入りの場所とその理由を書くことに指導の成果が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み、修飾・被修飾の関係、接続語の働きについて指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ・「読むこと」では、場面の移り変わりに注意しながら、叙述を基に想像して読む力が必要である。特に、決められた条件や文の前後のつながりを考えながら、物語の描写について想像力を働かせながら読み取る力が十分でない。

## 3 今後の指導

「読むこと」では、物語の感想を述べ合ったり、友達の感想と比べたりする言語活動を設定し、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の気持ちを捉える指導の充実を図る。

- ・指導事項ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像しながら読むこと」の指導を「場面の移り変わり」「登場人物の性格」「気持ちの変化」「情景」のどれを中心に行うのかを明確にする必要がある。
- ・感想交流では、明確にした指導内容の中心（ここでは「場面の移り変わり」）に焦点を絞っていくことによって、話合いに広がりや深まりが生まれるようにする。
- ・場面の移り変わりに注意しながら読むことによって、場面の変容に伴った登場人物の気持ちの変化に気付かせるよう指導する。
- ・読み取ったことを、決められた条件や文のつながりを考えて書いたり、書いたものを発表したりするなど、指導の工夫を図る必要がある。
- ・一つの段落や一文に着目することで、暗示的に表現されている人物の心情を豊かに想像しながら読む機会を意図的に設けて指導する。

11) 次は、そうですね……。きつとアナグラムに……聞こえたにちがいないですね。の段落について話し合っている授業の一場面です。たくやさんになったつもりで、にふさわしい内容を書きなさい。

この段落は、  
言っているような感じがします。

最後の段落がないと、少しさみしい感じがします。

最後の段落があるのと、ないのでは、感じ方にどんなちがいが出てくるか考えてみましょう。



平成27年度小学校学習状況調査 第5学年 国語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                                                                                       | 内<br>容            | 評<br>価<br>規<br>準                              | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点              |                  |                  |                  |                    |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|
|                  |                                                                                              |                   |                                               |                  | 聞<br>く<br>能<br>力 | 話<br>す<br>能<br>力 | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 言語について<br>知識・理解・技能 |
| 第<br>5<br>学<br>年 | 聞話<br>くす<br>こと                                                                               | エ(5・6年)           | ・話し手が伝えたいことを捉え、適切な質問を考えている。                   | 14)              | ○                |                  |                  |                  |                    |
|                  |                                                                                              | エ(5・6年)           | ・話し手の意図を捉えながら聞き、取り上げられた内容について、適切に感想を述べている。    | 15)              | ○                |                  |                  |                  |                    |
|                  | こ書<br>とく                                                                                     | ウ(5・6年)           | ・目的や必要に応じてグラフから情報を読み取り、事実と意見を区別して自分の考えを書いている。 | 16)              |                  |                  | ○                |                  |                    |
|                  | 読<br>む<br>こと                                                                                 | イ(3・4年)           | ・目的に応じて、段落の内容を押さえ、段落相互の関係を考えて読んでいる。           | 10)              |                  |                  |                  | ○                |                    |
|                  |                                                                                              | イ(3・4年)           | ・目的に応じて、中心となる語や文を捉えて事実と意見の関係を考え、文章を読んでいる。     | 11)              |                  |                  |                  | ○                |                    |
|                  |                                                                                              | イ(5・6年)           | ・文章の構成や表現の工夫についての筆者の意図を読み取っている。               | 12)              |                  |                  |                  | ○                |                    |
|                  |                                                                                              | エ(3・4年)           | ・文章の要点や細かいところに注意しながら読み、文章を引用したり要約したりしている。     | 13)              |                  |                  |                  | ○                |                    |
|                  | 伝<br>統<br>的<br>な<br>言<br>語<br>文<br>化<br>と<br>国<br>語<br>の<br>特<br>質<br>に<br>関<br>する<br>事<br>項 | (1)ウ(ア)<br>(5・6年) | ・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。           | 1)<br>2)         |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              |                   | ・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。           | 3)<br>4)         |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              | (1)イ(カ)<br>(3・4年) | ・漢字の意味と熟語の構成について理解している。                       | 5)               |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              | (1)イ(キ)<br>(3・4年) | ・文の中での修飾と被修飾との関係について理解している。                   | 6)               |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              | (1)ア(イ)<br>(3・4年) | ・日常生活でよく使われる慣用句の意味を理解している。                    | 7)               |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              | (1)ア(ア)<br>(5・6年) | ・文語調の表現や昔のかなづかいに関心を持ち、正しく読んでいる。               | 8)               |                  |                  |                  |                  | ○                  |
|                  |                                                                                              | (1)イ(カ)<br>(3・4年) | ・語句の性質や役割の違いについて理解している。                       | 9)               |                  |                  |                  |                  | ○                  |

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

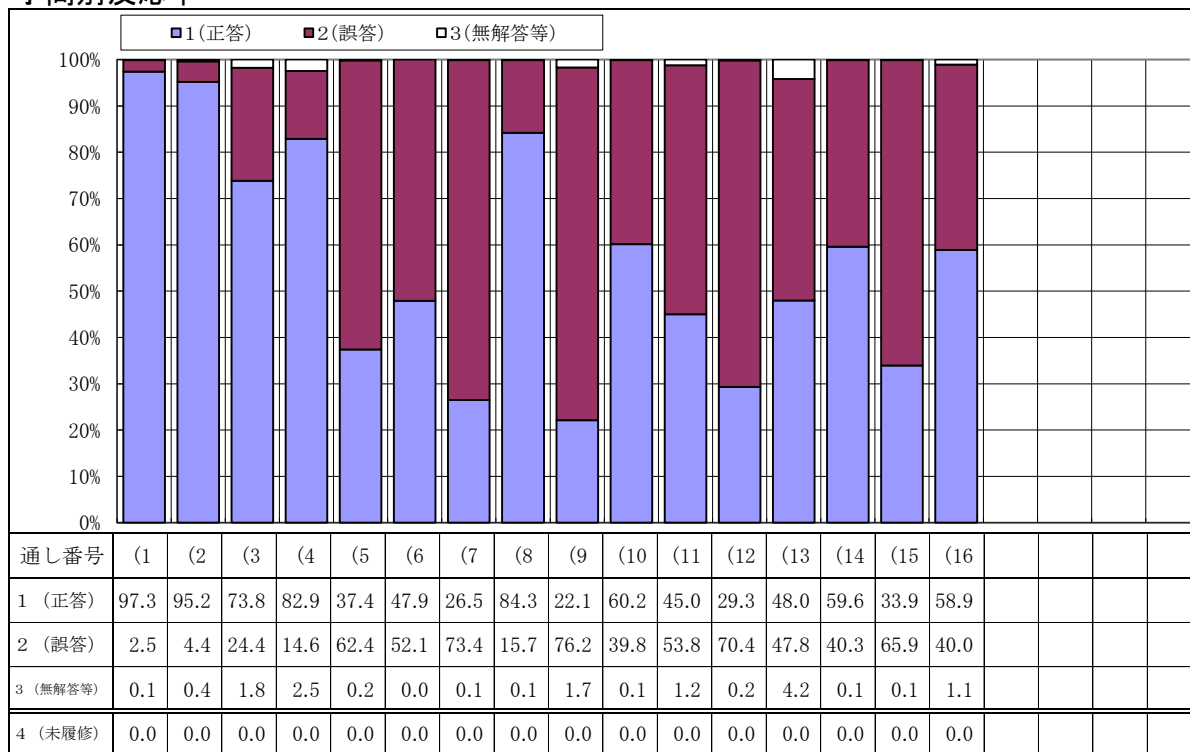
平均通過率 56.4%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容              | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|----------------------|------------|-------------------|---------|
| (1)      | 漢字の読み (あまぐ)          | 97.3%      | 90.0%             |         |
| (2)      | 漢字の読み (ただ) ち         | 95.2%      | 90.0%             |         |
| (3)      | 漢字の書き (開始)           | 73.8%      | 80.0%             |         |
| (4)      | 漢字の書き (保) つ          | 82.9%      | 90.0%             |         |
| (5)      | 漢字の組み合わせ             | 37.4%      | 60.0%             |         |
| (6)      | 修飾・被修飾 (選択肢)         | 47.9%      | 60.0%             |         |
| (7)      | 慣用句                  | 26.5%      | 70.0%             |         |
| (8)      | 古文の音読                | 84.3%      | 85.0%             |         |
| (9)      | 適切な表現                | 22.1%      | 60.0%             |         |
| (10)     | 内容理解 (選択肢)           | 60.2%      | 65.0%             |         |
| (11)     | 内容理解 (選択肢)           | 45.0%      | 60.0%             |         |
| (12)     | 内容理解 (記述)            | 29.3%      | 60.0%             |         |
| (13)     | 内容理解 (選択肢)           | 48.0%      | 60.0%             |         |
| (14)     | 話し手の意図に応じて質問する (選択肢) | 59.6%      | 65.0%             |         |
| (15)     | 適切な感想を述べる (選択肢)      | 33.9%      | 60.0%             |         |
| (16)     | 情報を取り出し、関連付けて書く (作文) | 58.9%      | 65.0%             |         |

※ ―― は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 5年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 111 | 80  | 21  | 26  | 2   | 3   | 2   | 39  | 1   | 3    | 2    |      | 3    | 2    |      | 14   |           |
| 90～100% | 85  | 97  | 11  | 47  | 1   | 3   | 2   | 41  | 2   | 2    | 1    |      | 4    | 4    |      | 17   |           |
| 80～90%  | 14  | 30  | 41  | 71  | 7   | 9   | 4   | 84  |     | 13   | 4    |      | 11   | 13   | 2    | 27   | 1         |
| 70～80%  | 2   | 4   | 64  | 39  | 4   | 14  | 5   | 33  | 1   | 28   | 10   | 2    | 23   | 30   | 4    | 31   | 12        |
| 60～70%  |     | 1   | 46  | 18  | 7   | 33  | 5   | 13  | 4   | 55   | 33   | 3    | 26   | 62   | 6    | 29   | 47        |
| 50～60%  |     |     | 25  | 5   | 18  | 37  | 9   | 2   | 13  | 71   | 39   | 10   | 42   | 58   | 15   | 41   | 124       |
| 40～50%  |     |     | 3   | 3   | 39  | 32  | 13  |     | 12  | 29   | 42   | 24   | 28   | 32   | 32   | 23   | 28        |
| 30～40%  |     |     | 1   | 2   | 65  | 38  | 28  |     | 19  | 8    | 38   | 52   | 26   | 7    | 73   | 11   |           |
| 20～30%  |     |     |     | 1   | 43  | 29  | 72  |     | 51  | 2    | 32   | 84   | 22   | 3    | 60   | 12   |           |
| 10～20%  |     |     |     |     | 20  | 8   | 60  |     | 54  |      | 9    | 22   | 16   |      | 13   | 6    |           |
| 0～10%   |     |     |     |     | 6   | 6   | 12  |     | 55  | 1    | 2    | 15   | 11   | 1    | 7    | 1    |           |

# 小学校5年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 領 域 別     |      |      |                      | 計  |
|--------------|-----------|------|------|----------------------|----|
|              | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |    |
| +10%より高い     | 0         | 0    | 0    | 0                    | 0  |
| ±10%の範囲内     | 1         | 1    | 1    | 5                    | 8  |
| -10%より低い     | 1         | 0    | 3    | 4                    | 8  |
| 計            | 2         | 1    | 4    | 9                    | 16 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「書くこと」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」では、昨年度、課題が見られた問題で改善が進んでいないものがある。
- ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、漢字の読み書きが設定通過率を上回っているものの、熟語の組み立て、慣用句等に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図に応じて適切な質問を考えることについて、指導の成果が見られる。
- ②「書くこと」では、目的や意図に応じて複数の情報を収集し、それらを関連付けて解釈した上で自分の考えをまとめて書くことについて、指導の成果が見られる。
- ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書きや古文の音読について、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えて適切に感想を述べる力が十分に身に付いていない。
- ②「読むこと」では、文章の構成や表現の工夫についての理解が十分でない。
- ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、慣用句についての理解や、語句の性質や役割の違いについての理解が十分でない。

## 3 今後の指導

「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉え、適切に感想を述べる能力の育成を図る。

- ・話し手の目的や意図、自分に伝えたいことなどの視点を明らかにし、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理するなどして自分の考えと比べる学習活動を、日々の授業に積極的に取り入れるようにする。

「読むこと」では、文章の構成や表現の工夫から筆者の主張を捉える指導の充実を図る。

- ・説明的な文章において、段落構成や比喩的な表現、意見や感想が表れた表現などから、筆者の伝えたいことやものの見方、考え方を推論し、自分の考えをまとめる言語活動を設定する。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、多様な場面設定に応じて、適切に表現したり、慣用句を用いて効果的に伝えたりする能力の育成を図る。

- ・伝聞・予想・断定などの表現方法があることを理解し、場面や状況に応じて適切に表現する機会を設定したり、慣用句や故事成語を効果的に用いるよう意識付けたりする。

2  
大川さんは、このスピーチに対して、次のような感想を伝えました。大川さんが感じていたことを、最もふさわしいものを選び、その記号を書きなさい。

エ (答え)  
話し手の意図を捉えて感想を述べている。

3  
本文の構成や表現の工夫について、正しく説明している文を、次のア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

イ (答え)  
末の表現を言葉や文句で、筆者や人物のおどろきが、読み手に伝わるようにしている。

7  
次は、保健委員会で作成した「けんこう新聞」の一部です。保健室の赤坂先生へのインタビュー記事の1部を、適切な表現に書き直しなさい。

(答え)  
大切です  
(例) 大切なのだそうです

平成27年度小学校学習状況調査 第6学年 国語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                                                       | 内<br>容           | 評<br>価<br>規<br>準                                   | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点                                  |                  |                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------|------------------|--------------------------------------|------------------|------------------|--------------------------------------|
|                  |                                                              |                  |                                                    |                  | 話<br>す<br>能<br>力<br>聞<br>く<br>能<br>力 | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解<br>の<br>技<br>能 |
| 第<br>6<br>学<br>年 | 聞話<br>くす<br>こと<br>と                                          | エ(5・6年)          | ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えと比べて意見をもとめている。                | 12)              | ○                                    |                  |                  |                                      |
|                  |                                                              | オ(5・6年)          | ・意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。                         |                  |                                      |                  |                  |                                      |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と                                             | ア(5・6年)          | ・考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して書いている。 | 20)              |                                      | ○                |                  |                                      |
|                  |                                                              |                  |                                                    |                  |                                      |                  |                  |                                      |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と                                             | エ(5・6年)          | ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えている。                     | 14)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  |                                                              |                  |                                                    | 15)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  |                                                              |                  |                                                    | 16)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  |                                                              |                  |                                                    | 17)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  |                                                              | オ(5・6年)          | ・文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを深めている。                    | 18)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  |                                                              | エ(5・6年)          | ・優れた叙述について自分の考えをまとめている。                            | 19)              |                                      |                  | ○                |                                      |
|                  | 国伝<br>語統<br>の的<br>特な<br>質言<br>に語<br>関文<br>す化<br>ると<br>事<br>項 | (1)ウ(7<br>(5・6年) | ・第6学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。                 | 1)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              |                  |                                                    | 2)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)ウ(7<br>(5・6年) | ・第5学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。                 | 3)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              |                  |                                                    | 4)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)ウ(7<br>(5・6年) | ・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。                             | 5)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)イ(キ<br>(5・6年) | ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。                     | 6)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)ア(イ<br>(3・4年) | ・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、実際の言語生活で使っている。     | 7)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)イ(キ<br>(5・6年) | ・伝聞を表す文を正しく理解している。                                 | 8)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)イ(ク<br>(5・6年) | ・日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。                           | 9)               |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)ア(イ<br>(5・6年) | ・昔の人のものの見方や感じ方に関心をもち、古典への興味・関心を深めている。              | 10)              |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)イ(エ<br>(5・6年) | ・語句の構成を理解し、正しい構成で熟語を書いている。                         | 11)              |                                      |                  |                  | ○                                    |
|                  |                                                              | (1)イ(ク<br>(3・4年) | ・接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使っている。                 | 13)              |                                      |                  |                  | ○                                    |

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

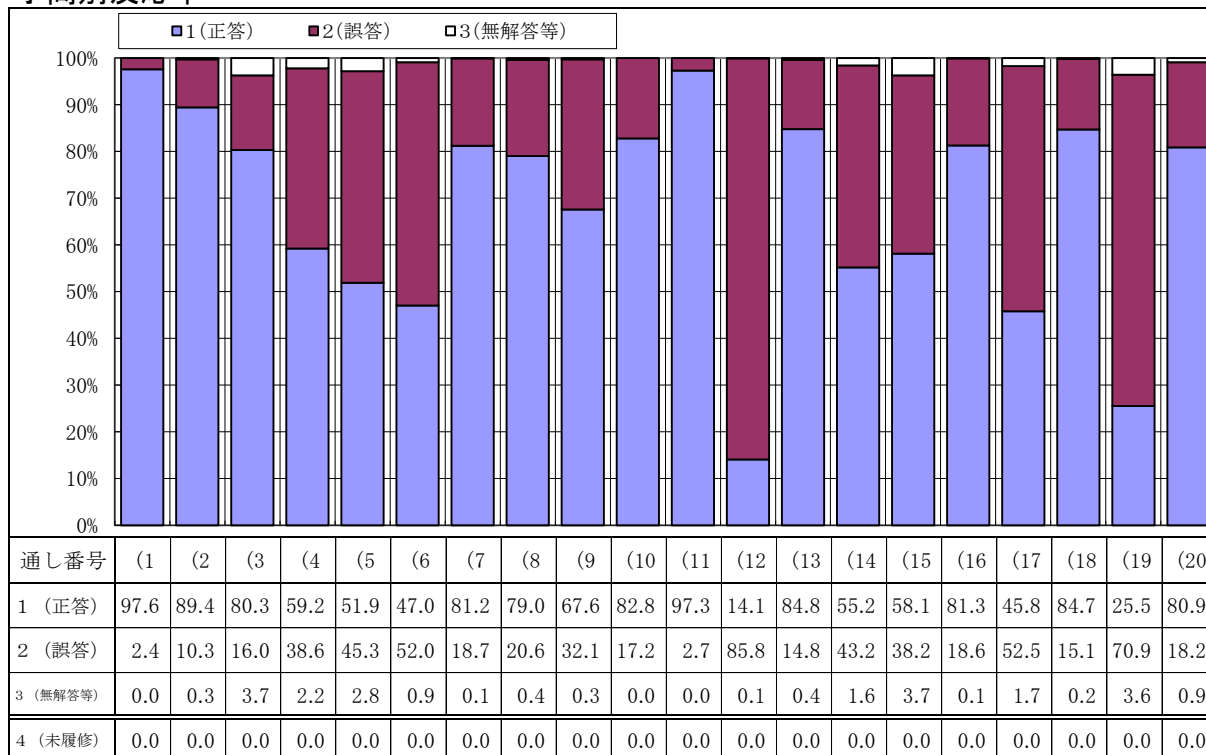
平均通過率 68.2%

| 通<br>し<br>番<br>号 | 出 題 内 容                 | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|------------------|-------------------------|------------|-------------------|---------|
| (1)              | 漢字の読み（したがう）             | 97.6%      | 90.0%             |         |
| (2)              | 漢字の読み（しんぜん）             | 89.4%      | 80.0%             |         |
| (3)              | 漢字の書き（任せる）              | 80.3%      | 80.0%             |         |
| (4)              | 漢字の書き（快適）               | 59.2%      | 70.0%             |         |
| (5)              | 漢字の書き・正しい送り仮名<br>（逆らって） | 51.9%      | 60.0%             |         |
| (6)              | 文の構成（記述）                | 47.0%      | 60.0%             |         |
| (7)              | ことわざ（選択肢）               | 81.2%      | 80.0%             |         |
| (8)              | 伝聞を表す文への書き換え（記述）        | 79.0%      | 70.0%             |         |
| (9)              | 適切な敬語の使用（記述）            | 67.6%      | 65.0%             |         |
| (10)             | 季語の意味の理解（選択肢）           | 82.8%      | 75.0%             |         |
| (11)             | 語句の構成（選択肢）              | 97.3%      | 90.0%             |         |
| (12)             | 計画的な話し合い（選択肢）           | 14.1%      | 60.0%             |         |
| (13)             | 接続語（記述）                 | 84.8%      | 75.0%             |         |
| (14)             | 内容の理解（抜き出し）             | 55.2%      | 65.0%             |         |
| (15)             | 内容の理解（短答）               | 58.1%      | 70.0%             |         |
| (16)             | 内容の理解（選択肢）              | 81.3%      | 80.0%             |         |
| (17)             | 内容の理解（記述）               | 45.8%      | 60.0%             |         |
| (18)             | 表現の工夫の理解（選択肢）           | 84.7%      | 70.0%             |         |
| (19)             | 表現の工夫の理解（記述）            | 25.5%      | 60.0%             |         |
| (20)             | 作文（紹介）                  | 80.9%      | 70.0%             |         |

※|——| は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 6年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 116 | 41  | 26  | 5   | 7   | 6   | 26  | 19  | 7   | 28   | 112  |      | 23   | 4    | 6    | 15   | 8    | 22   | 1    | 39   |           |
| 90～100% | 89  | 76  | 41  | 2   | 4   |     | 28  | 28  | 9   | 35   | 93   |      | 55   | 2    | 1    | 26   | 6    | 39   | 1    | 44   | 1         |
| 80～90%  | 6   | 64  | 57  | 22  | 14  | 9   | 76  | 78  | 37  | 77   | 7    | 1    | 80   | 12   | 4    | 90   | 20   | 99   | 2    | 54   | 7         |
| 70～80%  | 1   | 21  | 49  | 40  | 19  | 18  | 52  | 43  | 46  | 52   |      | 1    | 39   | 25   | 30   | 56   | 26   | 37   | 3    | 32   | 82        |
| 60～70%  |     | 6   | 27  | 39  | 28  | 34  | 22  | 22  | 60  | 14   |      | 1    | 12   | 47   | 63   | 16   | 31   | 13   | 5    | 35   | 108       |
| 50～60%  |     | 2   | 9   | 48  | 46  | 30  | 7   | 17  | 33  | 4    |      | 6    | 2    | 59   | 54   | 7    | 19   | 2    | 19   | 5    | 13        |
| 40～50%  |     | 2   | 2   | 33  | 45  | 41  | 1   | 4   | 13  | 1    |      | 6    | 1    | 35   | 39   | 1    | 11   |      | 15   | 3    | 1         |
| 30～40%  |     |     | 1   | 17  | 32  | 36  |     | 1   | 4   |      |      | 7    |      | 17   | 9    | 1    | 15   |      | 28   |      |           |
| 20～30%  |     |     |     | 5   | 13  | 22  |     |     | 3   |      |      | 24   |      | 6    | 5    |      | 15   |      | 42   |      |           |
| 10～20%  |     |     |     | 1   | 2   | 9   |     |     |     |      |      | 84   |      | 4    | 1    |      | 24   |      | 53   |      |           |
| 0～10%   |     |     |     |     | 2   | 7   |     |     |     | 1    |      | 82   |      | 1    |      |      | 37   |      | 43   |      |           |



# 小学校6年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 領 域 別     |      |      |                      | 計   |
|--------------|-----------|------|------|----------------------|-----|
|              | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |     |
| +10%より高い     | 0         | 1    | 1    | 0                    | 2   |
| ±10%の範囲内     | 0         | 0    | 2    | 1 0                  | 1 2 |
| -10%より低い     | 1         | 0    | 3    | 2                    | 6   |
| 計            | 1         | 1    | 6    | 1 2                  | 2 0 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」では、優れた叙述について自分の考えをまとめる問題の通過率が低く、指導の改善を図る必要がある。

### (2) 成果

- ①「書くこと」では、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し整理することや事実と感想を区別して書くことについて、指導の成果が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同じ意味のことわざを選ぶ問題や、適切な敬語への書き換えの問題について、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「話すこと・聞くこと」では、意見を出し合い一つにまとめていく協議において、計画的な話し合いの進め方の理解が十分でない。
- ②「読むこと」では、登場人物の心情や場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめて簡潔に説明する力に、昨年度に引き続き課題が見られる。
- ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、送り仮名に注意して漢字を書くこと、文と文の意味のつながりを考えて二文を一文にまとめて書くことに課題が見られる。

## 3 今後の指導

「読むこと」では、優れた叙述について、内容の解釈と表現の仕方を関連付けて捉えるとともに、簡潔に説明する力を伸ばす指導の充実を図る。

- ・登場人物の行動や会話、情景の描写に着目して心情を想像したり、表現の工夫がもたらす効果を考えたりする活動を通して、内容と表現の関連を意識付けた指導を工夫する。
- ・文章中の好きな場面を紹介する言語活動を取り入れ、場面のよさを説明できるようにする。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、文と文との意味のつながりを考えて分かりやすく文を書く指導の工夫を図る。

- ・二つ以上の内容を必要に応じて一つの文に書き換えたり、二つ以上の内容が含まれた一文を内容ごとに複数の文に分けて書いたり箇条書きにしたりするなどの活動を取り入れ、実際に書くことによって、いろいろな文の構成の理解を図る。
- ・文の中での語句の係り方や照応の仕方を理解し慣れることができるよう、日常の様々な場面で意図的に取り上げ、指導の充実を図る。

6)

① 次は妹に道順を教えた。

② 妹は本屋に行った。

19)

次の文章はこの物語で見られる表現の工夫について話している場面です。これを読んで、①に当てはまるものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。また、②に当てはまる文を書きなさい。

田中 なるほどね。「目標を失ったキツネが、くやしそうに空を見上げていた」ではなく「見上げていた」と表したのはなぜかな。  
山本 「見上げていた」と表すことによって ② 効果があると思うよ。

平成27年度中学校学習状況調査 第1学年 国語 評価基準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                                                                       | 内<br>容         | 評<br>価<br>規<br>準                                           | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点                             |                  |                  |                                                          |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------|------------------|------------------|----------------------------------------------------------|
|                  |                                                                              |                |                                                            |                  | 聞<br>話<br>く<br>す<br>こ<br>と<br>と | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 知<br>言<br>語<br>・<br>に<br>理<br>解<br>い<br>て<br>技<br>の<br>能 |
| 第<br>1<br>学<br>年 | 聞<br>話<br>く<br>す<br>こ<br>と<br>と                                              | オ（中1）          | ・話合いの話題や方向を捉えて的確に話すことを理解している。                              | 12)              | ○                               |                  |                  |                                                          |
|                  |                                                                              | オ（中1）          | ・話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして自分の考えをまとめている。        | 13)              | ○                               |                  |                  |                                                          |
|                  | こ<br>書<br>と<br>く                                                             | ウ（中1）          | ・伝えたい事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書いている。                           | 20)              |                                 | ○                |                  |                                                          |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と                                                             | カ（中1）          | ・必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取っている。                  | 14)              |                                 |                  | ○                |                                                          |
|                  |                                                                              | イ（中1）          | ・文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、目的や必要に応じて要旨をとらえている。                 | 15)<br>17)       |                                 |                  | ○<br>○           |                                                          |
|                  |                                                                              | イ（中1）          | ・段落ごとに内容を読み分け、相互の関係を正しく押さえて要約している。                         | 16)<br>18)       |                                 |                  | ○<br>○           |                                                          |
|                  |                                                                              | エ（中1）          | ・文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもっている。                           | 19)              |                                 |                  | ○                |                                                          |
|                  | 国<br>語<br>統<br>的<br>特<br>な<br>質<br>言<br>に<br>語<br>関<br>文<br>化<br>と<br>事<br>項 | (1) ウ(ア)(中1)   | ・学年別配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度の漢字を正しく読んでいる。 | 1)<br>2)         |                                 |                  |                  | ○<br>○                                                   |
|                  |                                                                              | (1) ウ(ア)(小5・6) | ・学年別配当表に示されている漢字を正しく書いている。                                 | 3)<br>4)         |                                 |                  |                  | ○<br>○                                                   |
|                  |                                                                              | (1) ウ(イ)(中1)   | ・文脈に即して漢字を適切に使っている。                                        | 5)               |                                 |                  |                  | ○                                                        |
|                  |                                                                              | (1) イ(エ)(中1)   | ・文節の区切り方について理解している。                                        | 6)               |                                 |                  |                  | ○                                                        |
|                  |                                                                              | (1) イ(オ)(小5・6) | ・文章の中での語句と語句との関係を正しく理解している。                                | 7)               |                                 |                  |                  | ○                                                        |
|                  |                                                                              | (1) イ(ウ)(中1)   | ・四字熟語の意味を理解している。                                           | 8)               |                                 |                  |                  | ○                                                        |
|                  |                                                                              | (1) ア(ア)(中1)   | ・歴史的仮名遣いを理解している。                                           | 9)               |                                 |                  |                  | ○                                                        |
|                  |                                                                              | (2) ア(中1)      | ・楷書で書くことについて文字の大きさ、配列について理解している。                           | 10)              |                                 |                  |                  | ○                                                        |

◇（11は未履修等のため削除

中学校 1 年 国語 小問別通過率と設定通過率

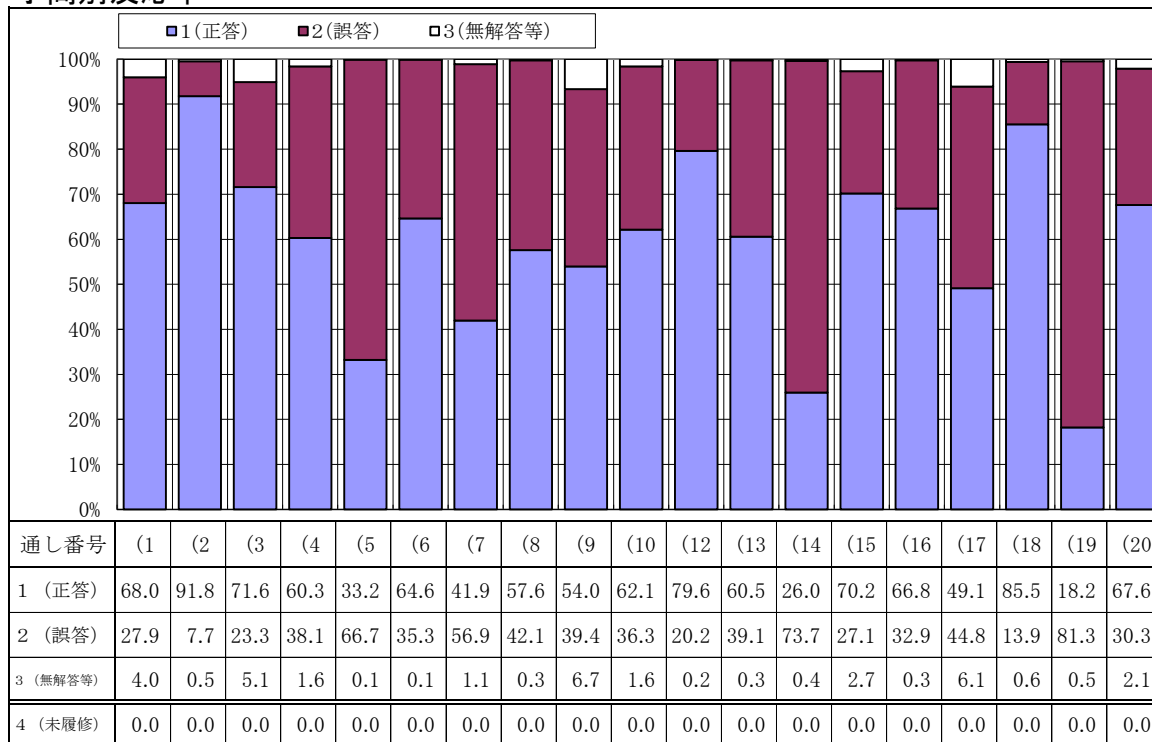
平均通過率 59.4%

| 通し<br>番号 | 出題内容                | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|---------------------|------------|------------------|---------|
| (1)      | 漢字の読み (ふるって)        | 68.0%      | 75.0%            |         |
| (2)      | 漢字の読み (のうぜい)        | 91.8%      | 85.0%            |         |
| (3)      | 漢字の書き (構える)         | 71.6%      | 75.0%            |         |
| (4)      | 漢字の書き (週刊誌)         | 60.3%      | 70.0%            |         |
| (5)      | 同音の熟語・対照            | 33.2%      | 60.0%            |         |
| (6)      | 文節の区切り方             | 64.6%      | 70.0%            |         |
| (7)      | 文節の係り受け・修飾被修飾       | 41.9%      | 65.0%            |         |
| (8)      | 四字熟語の意味・一朝一夕        | 57.6%      | 65.0%            |         |
| (9)      | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す   | 54.0%      | 65.0%            |         |
| (10)     | 楷書における文字の大きさ        | 62.1%      | 70.0%            |         |
| (12)     | 話合いの方向を捉えて的確に話すこと   | 79.6%      | 80.0%            |         |
| (13)     | 相手の発言に注意し自分の考えをまとめる | 60.5%      | 65.0%            |         |
| (14)     | 必要な情報を集める           | 26.0%      | 60.0%            |         |
| (15)     | 文章の表現の特徴の理解         | 70.2%      | 70.0%            |         |
| (16)     | 段落の相互の関係            | 66.8%      | 75.0%            |         |
| (17)     | 文脈をとらえた内容の理解        | 49.1%      | 65.0%            |         |
| (18)     | 段落の相互の関係            | 85.5%      | 80.0%            |         |
| (19)     | ものの見方や考え方を捉える       | 18.2%      | 65.0%            |         |
| (20)     | 根拠を明確にして考えを書く (作文)  | 67.6%      | 70.0%            |         |

※ は設定通過率の±10%を示している。  
※ (11は未履修等のため削除

# 中学校 1 年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 1   | 12  | 4   |     |     |     |     | 3   | 1   | 2    | 1    |      |      | 3    |      |      | 6    |      | 14   |           |
| 90～100% | 8   | 74  | 8   | 2   |     | 7   | 3   | 1   | 3   | 8    | 14   |      |      | 4    |      |      | 23   |      | 23   |           |
| 80～90%  | 17  | 28  | 21  | 6   |     | 14  | 7   | 4   | 15  | 17   | 46   | 3    |      | 14   | 7    | 2    | 70   |      | 19   |           |
| 70～80%  | 33  | 3   | 38  | 17  | 1   | 33  | 11  | 13  | 19  | 12   | 45   | 8    |      | 48   | 28   | 4    | 16   |      | 19   | 9         |
| 60～70%  | 38  |     | 29  | 33  | 3   | 27  | 14  | 25  | 20  | 27   | 10   | 51   |      | 34   | 66   | 12   | 3    |      | 9    | 53        |
| 50～60%  | 13  | 1   | 17  | 44  | 12  | 24  | 16  | 46  | 20  | 24   | 2    | 38   | 3    | 8    | 13   | 44   |      | 1    | 9    | 52        |
| 40～50%  | 6   |     | 1   | 11  | 17  | 9   | 14  | 19  | 9   | 13   |      | 16   | 5    | 3    | 2    | 42   |      | 3    | 10   | 4         |
| 30～40%  | 2   |     |     | 5   | 40  | 3   | 18  | 5   | 18  | 9    |      | 1    | 23   |      | 1    | 12   |      | 7    | 2    |           |
| 20～30%  |     |     |     |     | 31  |     | 29  | 2   | 9   | 5    |      |      | 65   |      | 1    | 1    |      | 28   | 8    |           |
| 10～20%  |     |     |     |     | 14  | 1   | 5   |     | 3   | 1    |      |      | 18   | 2    |      | 1    |      | 60   | 4    |           |
| 0～10%   |     |     |     |     |     |     | 1   |     | 1   |      |      | 1    | 4    | 2    |      |      |      | 19   | 1    |           |

# 中学校 1 年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 領 域 別     |      |      |                      | 計  |
|--------------|-----------|------|------|----------------------|----|
|              | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |    |
| +10%より高い     | 0         | 0    | 0    | 0                    | 0  |
| ±10%の範囲内     | 2         | 1    | 3    | 7                    | 13 |
| -10%より低い     | 0         | 0    | 3    | 3                    | 6  |
| 計            | 2         | 1    | 6    | 10                   | 19 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「話すこと・聞くこと」と「書くこと」についての学習内容の定着状況は、おおむね良好である。
- ②「読むこと」では、問題によって通過率は異なるが、昨年度の課題が改善していない問題も見られる。

### (2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、話合いの方向をとらえて的確に話したり、相手の発言に注意し自分の考えをまとめたりすることについて、指導の成果が見られる。
- ②「書くこと」では、資料から必要な情報を取り出し、根拠を明確にして自分の考えをまとめて書くことについて、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、資料中の必要な部分に着目したり読み取った情報を目的や必要に応じて活用したりすること、文章の表現の特徴を分析的に捉えその工夫や効果について自分の考えをもつことが十分とは言えない。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、正確な知識の獲得が課題である。特に、文章の中での語句と語句との関係を正しく理解するなど、文章の正しい読み取りに関することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

説明的文章の「読むこと」の指導では、文章の構成に気を付けて読んだり、読み取った内容を自分との関わりの視点で捉え直したりする指導を充実させる。

- 必要な情報を読み取るために、課題を明らかにするとともに、どんな目的でどのように読むのかといった視点を明確にし、文章の構成や筆者の論理の進め方に着目させる学習活動を取り入れる。
- 読み取った内容について自分の言葉で話したり、書いたりするなどの活動を取り入れる。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、教科書の中の言葉だけでなく、日常生活の中で出会った言葉についても調べたり、考えたりすることを習慣化させる指導の充実を図る。

- 辞書を使用した学習が習慣となるようにし、日常生活の中で使われている言葉や、辞書に掲載された用例も学習の対象とするなど、語彙を広げることができるよう指導を工夫する。
- 書く活動や話す活動の中で、語句の順によって読む側の理解の度合いが変わることを意識させるなど、語句と語句との関係を考えることへの日常的な興味関心を高める。

14) 次の疑問点のうち、この文章を使って、答えが得られるものはどれか。ア～オのうち、適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 人間が海水から飲料水を作って生活していくためには、どのような工夫が必要か。

イ クジラは生命を保つためには、体重の何パーセントの食物が必要か。

ウ 秋田県が県民の食生活について、「減塩」を応援しているのはなぜか。

エ 汗をかくことの多い運動中には、こまめな水分補給が必要だと言われるのはどのような理由からか。

オ クジラの体内の水分が失われる主な原因は何か。

平成 27 年度中学校学習状況調査 第 2 学年 国語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                                                                            | 内<br>容        | 評 価 規 準                                                             | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点              |                  |                  |                                                     |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------------------------------------|
|                  |                                                                                   |               |                                                                     |                  | 聞<br>く<br>能<br>力 | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 知<br>言<br>識<br>語<br>・<br>理<br>解<br>・<br>技<br>の<br>能 |
| 第<br>2<br>学<br>年 | 聞<br>話<br>く<br>す<br>こ<br>と                                                        | イ（中 2）        | ・ 話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分け、話し手の意図を捉えている。                              | 1)               | ○                |                  |                  |                                                     |
|                  |                                                                                   | オ（中 2）        | ・ 相手の立場や考えを尊重し目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。                     | 2)               | ○                |                  |                  |                                                     |
|                  |                                                                                   | エ（中 2）        | ・ 話の論理的な展開などに注意して聞き取り、話全体の要点を捉えている。                                 | 3)               | ○                |                  |                  |                                                     |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と                                                                  | ウ（中 2）        | ・ 複数の資料をもとに、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。                                   | 20)              |                  | ○                |                  |                                                     |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と                                                                  | ア（中 2）        | ・ 文脈における語句の意味を正確に捉え、内容を理解している。                                      | 14)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  |                                                                                   | ウ（中 2）        | ・ 表現の意図や効果を考え、自分の考えをまとめている。                                         | 16)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  |                                                                                   | イ（中 2）        | ・ 描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。                               | 15)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 17)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 18)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 19)              |                  |                  | ○                |                                                     |
|                  | 国<br>伝<br>語<br>統<br>的<br>特<br>な<br>質<br>言<br>に<br>語<br>関<br>文<br>化<br>と<br>事<br>項 | (1) ア(ア) (中1) | ・ 歴史的仮名遣いを理解している。                                                   | 13)              |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   | (1) ウ(ア) (中2) | ・ 第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を正しく読んでいる。 | 4)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 5)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   | (1) ウ(イ) (中1) | ・ 学年別配当表に示されている漢字のうち 900 字程度について、正しく書いている。                          | 9)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 6)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 7)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   | (1) イ(ア) (中2) | ・ 日常よく使われている敬語の使い方を理解している。                                          | 10)              |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   | (1) イ(イ) (中2) | ・ 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語彙を豊かにしている。        | 8)               |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   |               |                                                                     | 11)              |                  |                  |                  | ○                                                   |
|                  |                                                                                   | (1) イ(エ) (中2) | ・ 単語の類別及び活用について理解し、それぞれの単語の働きに注意している。                               | 12)              |                  |                  |                  | ○                                                   |

中学校 2 年 国語 小問別通過率と設定通過率

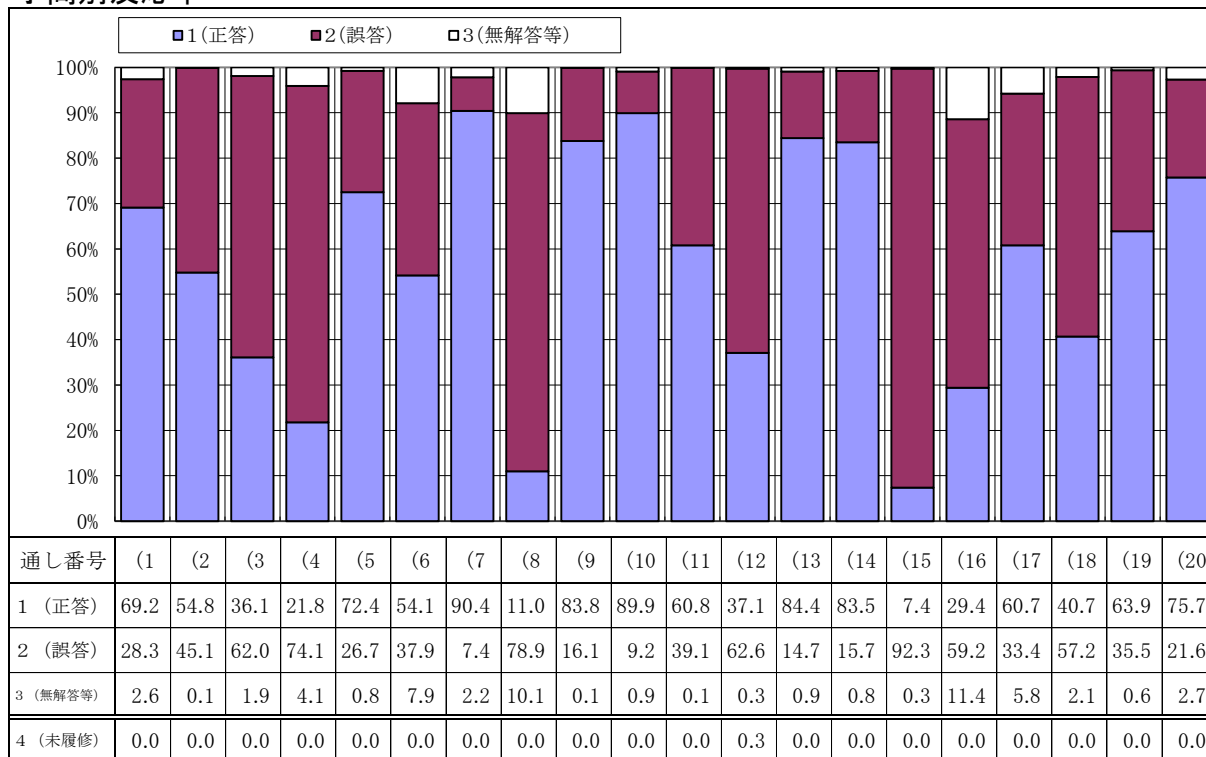
平均通過率 56.4%

| 通し<br>番号 | 出題内容                 | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0%100% |
|----------|----------------------|------------|------------------|--------|
| (1)      | 聞き取り・話の中心（記述）        | 69.2%      | 70.0%            |        |
| (2)      | 聞き取り・目的に沿った話し合い（選択肢） | 54.8%      | 70.0%            |        |
| (3)      | 聞き取り・考えのまとめ（記述）      | 36.1%      | 60.0%            |        |
| (4)      | 漢字の読み（かんらく）          | 21.8%      | 60.0%            |        |
| (5)      | 漢字の読み（たずさわる）         | 72.4%      | 75.0%            |        |
| (6)      | 漢字の書き（安否）            | 54.1%      | 70.0%            |        |
| (7)      | 漢字の書き（陰しい）           | 90.4%      | 80.0%            |        |
| (8)      | 四字熟語（千変万化）           | 11.0%      | 60.0%            |        |
| (9)      | 同音の漢字・喚起（選択肢）        | 83.8%      | 75.0%            |        |
| (10)     | 敬語を正しく使う（記述）         | 89.9%      | 75.0%            |        |
| (11)     | 対義語の意味（選択肢）          | 60.8%      | 70.0%            |        |
| (12)     | 単語の類別・活用（選択肢）        | 37.1%      | 60.0%            |        |
| (13)     | 歴史的仮名遣い（短答）          | 84.4%      | 90.0%            |        |
| (14)     | 会話の発言者（記述）           | 83.5%      | 80.0%            |        |
| (15)     | 古文の内容の理解（選択肢）        | 7.4%       | 60.0%            |        |
| (16)     | 表現の意図や効果の理解（記述）      | 29.4%      | 60.0%            |        |
| (17)     | 人物の心情の理解（記述）         | 60.7%      | 65.0%            |        |
| (18)     | 人物の言動の理解（短答）         | 40.7%      | 70.0%            |        |
| (19)     | 描写の効果・役割の理解（選択肢）     | 63.9%      | 70.0%            |        |
| (20)     | 自分の考えを根拠を明確にして書く（作文） | 75.7%      | 80.0%            |        |

※ ——— は設定通過率の±10%を示している。

## 中学校 2年 国語

### 小問別反応率



### 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 1   | 2   | 1   |     | 1   | 1   | 17  | 1   | 4   | 13   | 1    |      | 10   | 4    |      |      |      |      | 2    | 6    |       |
| 90～100% | 4   |     | 8   | 1   | 8   | 1   | 58  |     | 16  | 58   | 2    | 1    | 30   | 32   |      |      |      |      |      | 28   |       |
| 80～90%  | 21  |     | 7   |     | 24  | 3   | 40  | 1   | 65  | 35   | 8    |      | 49   | 61   |      | 1    | 4    | 1    | 2    | 26   |       |
| 70～80%  | 37  | 8   | 4   | 1   | 36  | 12  | 2   | 2   | 29  | 9    | 15   | 1    | 18   | 14   |      | 4    | 25   |      | 18   | 20   | 4     |
| 60～70%  | 31  | 26  | 7   |     | 33  | 18  |     | 2   | 2   | 3    | 25   | 2    | 8    | 2    |      | 13   | 41   | 1    | 59   | 14   | 33    |
| 50～60%  | 14  | 53  | 10  | 4   | 14  | 36  |     | 2   | 1   |      | 42   | 9    | 2    |      | 2    | 8    | 37   | 15   | 28   | 13   | 66    |
| 40～50%  | 5   | 25  | 6   | 3   | 2   | 34  |     | 3   | 1   |      | 18   | 19   | 1    | 3    | 1    | 9    | 10   | 33   | 7    | 7    | 14    |
| 30～40%  | 4   | 4   | 9   | 12  |     | 7   | 1   | 3   |     |      | 7    | 43   |      | 1    |      | 17   |      | 49   | 2    | 3    | 1     |
| 20～30%  | 1   |     | 28  | 40  |     | 5   |     | 6   |     |      |      | 36   |      |      | 4    | 21   |      | 17   |      |      |       |
| 10～20%  |     |     | 31  | 50  |     |     |     | 21  |     |      |      | 6    |      |      | 17   | 17   |      | 1    |      |      |       |
| 0～10%   |     |     | 7   | 7   |     | 1   |     | 77  |     |      |      |      |      | 1    | 94   | 28   | 1    | 1    |      | 1    |       |





## 4 結果と考察 (2) 社会

平成27年度小学校学習状況調査 第5学年 社会 評価規準と評価の観点

| 学年     | 内 容       | 評 価 規 準                                       | 通し<br>番号 | 観 点            |    |          |
|--------|-----------|-----------------------------------------------|----------|----------------|----|----------|
|        |           |                                               |          | 思考<br>判断<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第3・4学年 | 目標<br>(3) | ・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。                | (1)      |                | ○  |          |
|        | 目標<br>(3) | ・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。                     | (2)      |                | ○  |          |
|        | (1)<br>ア  | ・地図を読み取り、道順を正しく表現している。                        | (3)      | ○              |    |          |
|        | (1)<br>ア  | ・方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。             | (4)      |                | ○  |          |
|        | 目標<br>(3) | ・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。 | (5)      |                | ○  |          |
|        | (6)<br>イ  | ・秋田県の主な山地について、名称を理解している。                      | (6)      |                |    | ○        |
|        | (6)<br>イ  | ・秋田県の主な盆地について、名称を理解している。                      | (7)      |                |    | ○        |
|        | (5)<br>イ  | ・地域の文化財や年中行事について取材した内容を理解している。                | (8)      |                |    | ○        |
|        | (5)<br>イ  | ・地域の先人について取材した内容を理解している。                      | (9)      |                |    | ○        |
|        | (4)<br>アイ | ・安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を考え、適切に表現している。    | (10)     | ○              |    |          |
| 第5学年   | (4)<br>ア  | ・地域の人々が事故防止や防犯に協力していることについて考え、適切に表現している。      | (11)     | ○              |    |          |
|        | (2)<br>ウ  | ・米づくりの機械化について、資料を適切に読み取って長所と短所を考え、適切に表現している。  | (12)     | ○              |    |          |
|        | (2)<br>ア  | ・食料の輸入量の変化や自給率について考え、適切に表現している。               | (13)     | ○              |    |          |
|        | (2)<br>ウ  | ・水産物の生産の過程や輸送などに様々な費用がかかることを理解している。           | (14)     |                |    | ○        |
|        | (2)<br>ウ  | ・水産物の生産や輸送に関連して価格が決まることを理解している。               | (15)     |                |    | ○        |
|        | (2)<br>イ  | ・日本の魚介類の生産量、消費量及び輸入量を、関連付けて読み取っている。           | (16)     |                | ○  |          |
|        | (1)<br>イ  | ・気候の特色を生かした花づくりについて、資料を適切に読み取っている。            | (17)     |                | ○  |          |
|        | (1)<br>イ  | ・気候の特色を生かした花づくりについて考え、適切に表現している。              | (18)     | ○              |    |          |
|        | (1)<br>ア  | ・世界の主な海洋と大陸について、名称と位置を理解している。                 | (19)     |                |    | ○        |
|        | (1)<br>ア  | ・我が国の国土を構成する主な島について、名称と位置を理解している。             | (20)     |                |    | ○        |

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

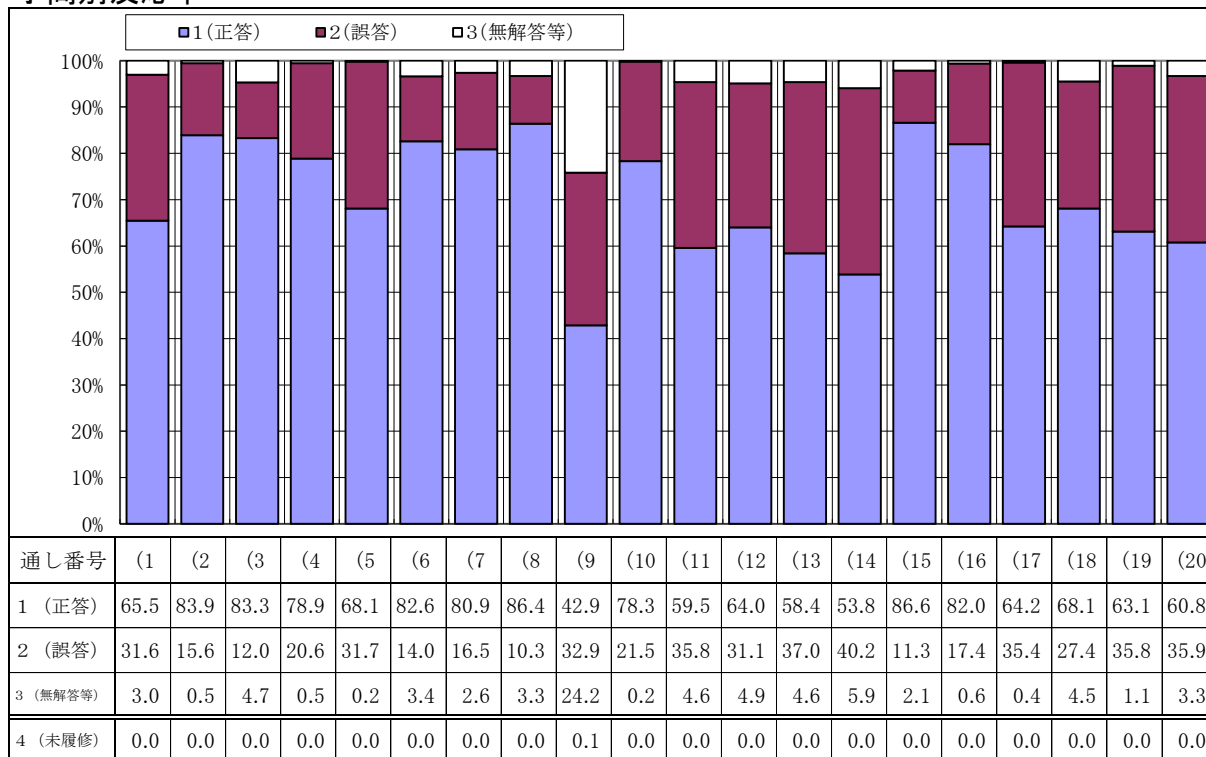
平均通過率 70.6%

| 通し<br>番号 | 出題内容                 | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0%100% |
|----------|----------------------|------------|------------------|--------|
| (1)      | 地図帳の統計資料の活用          | 65.5%      | 70.0%            |        |
| (2)      | 地図帳の総合的な活用           | 83.9%      | 75.0%            |        |
| (3)      | 地図の読み取りと地図記号         | 83.3%      | 80.0%            |        |
| (4)      | 地図上での方位              | 78.9%      | 80.0%            |        |
| (5)      | 地図記号や地図上の距離          | 68.1%      | 75.0%            |        |
| (6)      | 秋田県の主な地形（山脈）の名称      | 82.6%      | 70.0%            |        |
| (7)      | 秋田県の主な地形（川）の名称       | 80.9%      | 80.0%            |        |
| (8)      | 地域の文化財や年中行事          | 86.4%      | 70.0%            |        |
| (9)      | 地域の発展に尽くした先人         | 42.9%      | 60.0%            |        |
| (10)     | 安全を守る関係機関と地域の人々の取組   | 78.3%      | 75.0%            |        |
| (11)     | 安全を守る地域の人々の工夫や努力     | 59.5%      | 65.0%            |        |
| (12)     | 米づくりにおける機械化の長所と短所    | 64.0%      | 65.0%            |        |
| (13)     | 食料の輸入のよさと問題点         | 58.4%      | 60.0%            |        |
| (14)     | 水産物の生産や輸送にかかる費用      | 53.8%      | 60.0%            |        |
| (15)     | 水産物の価格               | 86.6%      | 80.0%            |        |
| (16)     | 漁業の複数のグラフを関連させた読み取り  | 82.0%      | 75.0%            |        |
| (17)     | 花づくりについてのグラフの読み取り    | 64.2%      | 65.0%            |        |
| (18)     | 気候の特色を生かした花づくり       | 68.1%      | 65.0%            |        |
| (19)     | 世界の主な海洋と大陸の名称と位置     | 63.1%      | 65.0%            |        |
| (20)     | 我が国の国土を構成する主な島の名称と位置 | 60.8%      | 65.0%            |        |

※ は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 5年 社会

## 小問別反応率



※解答類型 1～3に対する数値は、4を除いた解答類型 1～3の合計に対する割合。4は全体に対する割合。

## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 9   | 23  | 26  | 18  | 10  | 31  | 25  | 47  | 6   | 9    | 5    | 7    | 5    | 4    | 19   | 20   | 6    | 9    | 3    | 6    |           |
| 90～100% | 8   | 38  | 37  | 22  | 3   | 42  | 38  | 64  | 6   | 10   |      | 5    | 2    | 6    | 53   | 31   | 5    | 12   | 8    | 8    | 3         |
| 80～90%  | 28  | 82  | 84  | 60  | 31  | 70  | 66  | 52  | 14  | 91   | 20   | 31   | 18   | 18   | 95   | 79   | 27   | 36   | 31   | 27   | 26        |
| 70～80%  | 41  | 49  | 45  | 78  | 48  | 32  | 42  | 29  | 23  | 66   | 36   | 34   | 41   | 25   | 35   | 55   | 45   | 54   | 46   | 30   | 94        |
| 60～70%  | 70  | 18  | 14  | 22  | 75  | 20  | 21  | 12  | 23  | 26   | 55   | 58   | 50   | 35   | 8    | 21   | 60   | 52   | 39   | 38   | 73        |
| 50～60%  | 37  | 2   | 4   | 11  | 32  | 9   | 10  | 6   | 25  | 7    | 53   | 46   | 39   | 50   | 1    | 5    | 41   | 28   | 40   | 46   | 16        |
| 40～50%  | 12  |     | 1   | 1   | 10  | 2   | 7   |     | 24  | 1    | 26   | 24   | 24   | 38   | 1    |      | 17   | 10   | 23   | 23   |           |
| 30～40%  | 5   |     | 1   |     | 2   | 4   | 2   | 2   | 23  | 2    | 12   | 5    | 17   | 24   |      |      | 8    | 9    | 14   | 17   |           |
| 20～30%  | 2   |     |     |     | 1   |     |     |     | 28  |      | 5    | 2    | 12   | 8    |      |      | 3    | 2    | 6    | 13   |           |
| 10～20%  |     |     |     |     |     | 1   | 1   |     | 22  |      |      |      | 3    | 4    |      |      |      |      | 2    | 3    |           |
| 0～10%   |     |     |     |     |     | 1   |     |     | 18  |      |      |      | 1    |      |      | 1    |      |      |      |      |           |

## 小学校 5 年 社会 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別    |    |       | 内 容 別 |       |      | 計  |
|--------------|----------|----|-------|-------|-------|------|----|
|              | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | 共通問題  | 地理的内容 | 3・4年 |    |
| +10% より高い    | 0        | 0  | 2     | 0     | 0     | 2    | 2  |
| ±10% の範囲内    | 6        | 6  | 5     | 4     | 7     | 6    | 17 |
| -10% より低い    | 0        | 0  | 1     | 0     | 0     | 1    | 1  |
| 計            | 6        | 6  | 8     | 4     | 7     | 9    | 20 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

全体の95%の問題が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。一方で、調べた内容の理解を問う問題が、「-10%より低い」結果であった。

#### (2) 成果

①複数の資料を比較・関連付けて読み取り、読み取った事実から考え適切に表現するなど、経年比較している問題の通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

②秋田県の地形や地域の文化財、年中行事についての新聞の通過率が高く、基本的な知識がおおむね身に付いている。

#### (3) 課題

①地域の発展に尽くした先人について調べた内容を、先人の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活の向上などの観点から整理して理解を深める必要がある。

②我が国の農業や水産業の学習では、生産を高める工夫や生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどと関連付けて、具体的な価格や費用、交通網を取り上げる必要がある。

### 3 今後の指導

具体的事例について調べたことを基に、社会的事象の意味について考え、適切に表現する学習活動の充実を図る。

#### ○ポイント〔9 を例として〕

学習問題に照らし合わせて視点を設け、地域の発展に尽くした先人について調べた内容を整理させ、それを基に社会的事象の意味について考えさせる授業を構成する。

#### ○具体例

##### ①学習問題を設定する。

例) 石川理紀之助の努力によって、地域はどのように変わったのだろうか

##### ②調べて分かったことについて視点を設けて整理させる。

〔先人の願い〕

- ・農業のやり方を改善し、農家の暮らしをよくしたい

〔行ったこと、工夫や努力、苦心したこと〕

- ・村に住んで、村民を指導した
- ・村の土地や生活などに合った作物を調べる「適産調べ」をした
- ・種苗交換会を始めた
- ・秋田県内や遠く九州地方にも指導に出かけた

〔地域の人々の生活の向上〕

- ・村民は借金を返すことができた
- ・農業のやり方を工夫し、村が豊かになった

##### ③社会的事象の意味について考えさせる。

- ・石川理紀之助の強い信念と情熱をもった指導によって農村の暮らしが向上し、人々の生活が以前より豊かになった

平成27年度小学校学習状況調査 第6学年 社会 評価規準と評価の観点

| 学年                                                                                     | 内容        | 評価規準                                             | 通し<br>番号 | 観 点            |    |          |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------|----------|----------------|----|----------|
|                                                                                        |           |                                                  |          | 思考<br>判断<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第<br>5<br>学<br>年<br>（<br>第<br>3<br>・<br>4<br>学<br>年<br>の<br>内<br>容<br>を<br>含<br>む<br>） | 目標<br>(3) | ・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。                   | (1)      |                | ○  |          |
|                                                                                        | 目標<br>(3) | ・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。                        | (2)      |                | ○  |          |
|                                                                                        | (3)<br>イ  | ・大工場の特色について、資料を読み取り、複数の数値を関連付けて考えたことを、適切に表現している。 | (3)      | ○              |    |          |
|                                                                                        | (3)<br>ウ  | ・自動車の生産の過程や輸送などに様々な費用がかかることを理解している。              | (4)      |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>ア  | ・世界の主な海洋と大陸について、名称と位置を理解している。                    | (5)      |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>ア  | ・我が国の国土を構成する主な島について、名称と位置を理解している。                | (6)      |                |    | ○        |
|                                                                                        | 目標<br>(3) | ・等高線に関する基礎的な知識を活用して地図を適切に読み取っている。                | (7)      |                | ○  |          |
|                                                                                        | 目標<br>(3) | ・方位や地図記号、地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。 | (8)      |                | ○  |          |
|                                                                                        | (1)<br>エ  | ・自然環境と自然災害の関連について、理解している。                        | (9)      |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>エ  | ・自然災害に対する自助について自分たちの行動と関連付けて考えたことを、適切に表現している。    | (10)     | ○              |    |          |
| 第<br>6<br>学<br>年                                                                       | (1)<br>ア  | ・縄文時代や弥生時代のむらの様子、大和朝廷による国土の統一が進められたことを分かっている。    | (11)     |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>ウ  | ・人物の働きについて、歴史上の主な事象と結び付けて分かっている。                 | (13)     |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>イ  | ・幕府が全国的に力をもってきたことについて考え、適切に表現している。               | (14)     | ○              |    |          |
|                                                                                        | ※<br>(6)ア | ・都道府県の名称や位置を理解している。                              | (15)     |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>オ  | ・豊臣秀吉の業績について分かっている。                              | (16)     |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>オ  | ・信長や秀吉、家康、家光についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。     | (17)     | ○              |    |          |
|                                                                                        | (1)<br>オ  | ・参勤交代についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。            | (18)     | ○              |    |          |
|                                                                                        | (1)<br>カ  | ・伊能忠敬の業績について分かっている。                              | (19)     |                |    | ○        |
|                                                                                        | (1)<br>カ  | ・複数の資料を関連付けて、適切に学習問題をつくり、予想を立てることができる。           | (20)     | ○              |    |          |

※は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

◇（12は未履修等のため削除

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 66.1%

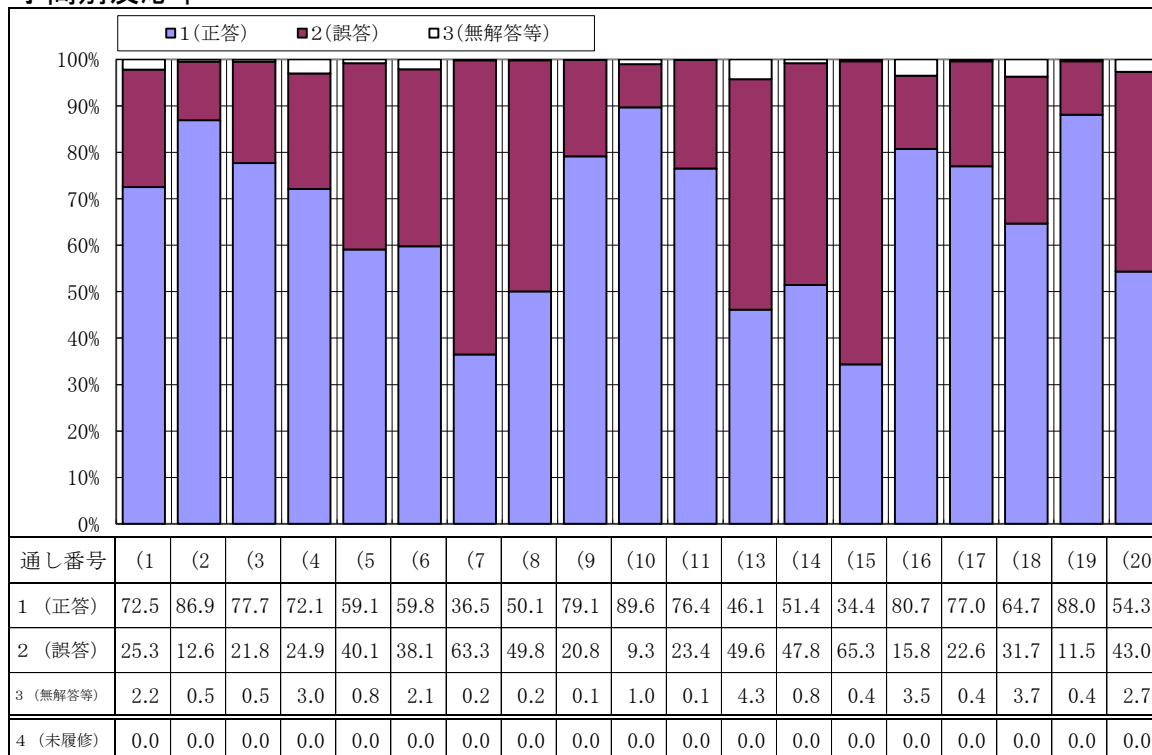
| 通し<br>番号 | 出題内容                 | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0%100% |
|----------|----------------------|------------|------------------|--------|
| (1)      | 地図帳の統計資料の活用          | 72.5%      | 80.0%            |        |
| (2)      | 地図帳の総合的な活用           | 86.9%      | 80.0%            |        |
| (3)      | 大工場の特徴               | 77.7%      | 70.0%            |        |
| (4)      | 自動車の価格と費用            | 72.1%      | 70.0%            |        |
| (5)      | 世界の主な海洋と大陸の名称と位置     | 59.1%      | 70.0%            |        |
| (6)      | 我が国の国土を構成する主な島の名称と位置 | 59.8%      | 70.0%            |        |
| (7)      | 等高線の活用               | 36.5%      | 60.0%            |        |
| (8)      | 方位、地図記号、等高線の活用       | 50.1%      | 60.0%            |        |
| (9)      | 国土と自然災害              | 79.1%      | 75.0%            |        |
| (10)     | 自然災害の被害の防止           | 89.6%      | 80.0%            |        |
| (11)     | 縄文時代から大和朝廷までの国土の統一   | 76.4%      | 75.0%            |        |
| (13)     | 主な歴史上の人物と業績          | 46.1%      | 60.0%            |        |
| (14)     | 鎌倉幕府の支配範囲と元寇の関係      | 51.4%      | 60.0%            |        |
| (15)     | 都道府県の名称と位置           | 34.4%      | 65.0%            |        |
| (16)     | 豊臣秀吉の政治              | 80.7%      | 75.0%            |        |
| (17)     | 全国統一から鎖国までの流れ        | 77.0%      | 75.0%            |        |
| (18)     | 参勤交代の目的              | 64.7%      | 65.0%            |        |
| (19)     | 伊能忠敬の業績              | 88.0%      | 80.0%            |        |
| (20)     | 伊能忠敬と新しい学問           | 54.3%      | 60.0%            |        |

※「——」は設定通過率の±10%を示している。

※(12は未履修等のため削除

# 小学校 6年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 17  | 30  | 15  | 19  | 10  | 8   | 1   | 2   | 26  | 61   | 15   | 13   | 3    | 2    | 33   | 14   | 24   | 51   | 11   |           |
| 90～100% | 11  | 65  | 12  | 16  | 2   | 11  | 1   | 1   | 14  | 75   | 13   |      |      |      | 38   | 10   | 16   | 67   | 6    |           |
| 80～90%  | 50  | 78  | 71  | 47  | 14  | 31  | 2   | 9   | 77  | 54   | 61   | 7    | 6    | 2    | 66   | 76   | 40   | 69   | 13   | 15        |
| 70～80%  | 51  | 29  | 71  | 56  | 39  | 19  | 5   | 10  | 66  | 14   | 72   | 14   | 14   | 4    | 41   | 73   | 30   | 13   | 18   | 70        |
| 60～70%  | 52  | 8   | 27  | 35  | 55  | 45  | 13  | 37  | 20  | 6    | 39   | 20   | 32   | 11   | 21   | 28   | 41   | 8    | 36   | 95        |
| 50～60%  | 19  | 2   | 11  | 27  | 42  | 41  | 24  | 52  | 6   | 2    | 8    | 42   | 65   | 22   | 8    | 10   | 25   | 1    | 42   | 29        |
| 40～50%  | 7   |     | 2   | 9   | 27  | 34  | 32  | 59  | 1   |      | 3    | 38   | 53   | 34   | 1    |      | 15   | 1    | 46   | 3         |
| 30～40%  | 3   |     | 1   | 1   | 15  | 13  | 57  | 29  | 1   |      |      | 34   | 24   | 51   |      |      | 7    | 2    | 27   |           |
| 20～30%  | 1   |     | 2   | 2   | 7   | 8   | 61  | 10  | 1   |      | 1    | 27   | 10   | 59   | 4    | 1    | 10   |      | 11   |           |
| 10～20%  |     |     |     |     | 1   | 2   | 13  | 2   |     |      |      | 14   | 3    | 21   |      |      | 3    |      | 1    |           |
| 0～10%   | 1   |     |     |     |     |     | 3   | 1   |     |      |      | 3    | 2    | 6    |      |      | 1    |      | 1    |           |



## 小学校6年 社会 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別    |    |       | 内 容 別 |       |       | 計  |
|--------------|----------|----|-------|-------|-------|-------|----|
|              | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | 共通問題  | 地理的内容 | 歴史的内容 |    |
| +10% より高い    | 0        | 0  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0  |
| ±10% の範囲内    | 6        | 3  | 5     | 2     | 5     | 7     | 14 |
| -10% より低い    | 0        | 1  | 4     | 2     | 1     | 2     | 5  |
| 計            | 6        | 4  | 9     | 4     | 6     | 9     | 19 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」の設問が、昨年度は全体の80%であったが、今年度は約74%となった。特に「世界の主な海洋と大陸の名称と位置」「都道府県の名称と位置」「主な歴史上の人物と業績」等、知識・理解を問う問題に、設定通過率の「-10%より低い」設問が多く見られた。

#### (2) 成果

- ①経年比較している9問中6問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導の改善が図られている。
- ②資料を読み取り複数の数値に関連付けて考えたことを適切に表現すること、自然災害への対策を自分たちの行動と関連付けて考えて、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

#### (3) 課題

- ①歴史上の人物の働きについて、歴史上の主な事象と結び付けて理解を深める必要がある。
- ②様々な学習場面で活用できるよう、我が国の47都道府県の名称と位置を確実に身に付ける必要がある。

### 3 今後の指導

様々な学習場面において、我が国の47都道府県の名称と位置を確実に身に付ける学習活動の充実を図る。

#### ○ポイント〔15を例として〕

歴史学習においても、地図帳や白地図を活用させ、学習で出てきた歴史的な事象と関連する場所が位置する都道府県を確認させたり、白地図に位置付けさせたりする授業を構成する。

#### ○具体例

- ①「武士による政治が始まったこと」をまとめるために、平清盛、源頼朝、北条時宗の人物カードを作成する。

| 平清盛                                                                                                                                               | 源頼朝                                                                                                                                                             | 北条時宗                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>貴族にかわって政治を行う。</li> <li>武士で初めて太政大臣になる。</li> <li>厳島神社（広島県）を一族の守り神として、浅くおだやかな海の上にまつり、海上交通の安全をいのった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>平氏との戦い（平治の乱）に敗れ、伊豆半島（静岡県）に流される。</li> <li>御家人を守護や地頭に任じ、武士の政治の体制を整える。</li> <li>征夷大將軍になり、山と海に囲まれた鎌倉（神奈川県）に幕府を開く。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>執権という地位につく。</li> <li>元に従うよう使いが来たが断った。</li> <li>元の大軍が2度にわたり九州北部の博多湾（福岡県）などにせめてきたが、攻撃を退ける。</li> </ul> |

- ②人物カードに出てきた場所の位置する都道府県を地図帳で確かめ、白地図に位置付ける。

- ③人物カードと場所を位置付けた白地図を見て気付いたことをまとめる。

例) ・鎌倉から遠く離れた福岡で元の大軍と戦うことができるほど、幕府の力は強かった。  
 ・平清盛の時代は、日本の西が政治の中心、源頼朝の時代は日本の東が政治の中心になっていた。

- ・この他、第5学年でも農業や水産業、工業の盛んな地域や運輸の働き、我が国の位置と領土、地形や気候の概要などの学習の中で、様々な都道府県の名称が登場してくる。その都度、都道府県の位置を地図帳で確認したり、白地図に整理したりすることが大切である。

平成27年度中学校学習状況調査 第1学年 社会 評価規準と評価の観点

| 学年・分野            | 内 容           | 評 価 規 準                                                             | 通し<br>番号 | 観 点            |    |               |
|------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------|----------|----------------|----|---------------|
|                  |               |                                                                     |          | 思考<br>判断<br>表現 | 技能 | 知識<br>・<br>理解 |
| 小学校<br>第6学年      | (1)<br>キ      | ・明治政府が諸改革を行い、近代化を進めたことが分かっている。                                      | (1       |                |    | ○             |
|                  | (1)<br>ク      | ・陸奥宗光や小村寿太郎の働きなどを通して、条約改正に成功したことが分かっている。                            | (2       |                |    | ○             |
|                  | (1)<br>ケ<br>※ | ・広島県・長崎県に原子爆弾を投下され、国民が大きな被害を受けたことが分かっている。<br>・地図上の広島県の位置について理解している。 | (3       |                |    | ○             |
|                  | (1)<br>ケ      | ・オリンピックが開催されたところに、国民生活が向上したことが分かっている。                               | (4       |                |    | ○             |
|                  | (2)<br>ア      | ・国民生活には、地方公共団体の政治の働きが反映していることについて理解している。                            | (5       |                |    | ○             |
|                  | (2)<br>イ      | ・国民の祝日に関する意味や由来について理解している。                                          | (6       |                |    | ○             |
|                  | (2)<br>イ      | ・選挙の意味について考え、適切に表現している。                                             | (7       | ○              |    |               |
|                  | (3)<br>イ      | ・我が国の国際協力について、適切に資料を読み取っている。                                        | (8       |                | ○  |               |
| 中学校<br>地理的<br>分野 | (1)<br>ア      | ・地球儀の模式図を活用し、日本と大陸の位置関係を適切に読み取っている。                                 | (9       |                | ○  |               |
|                  | (1)<br>ア      | ・地球儀の模式図を活用して大陸の相対的位置を考察し、その結果を適切に表現している。                           | (10      | ○              |    |               |
|                  | (1)<br>イ      | ・世界の主な宗教を信仰している地域を理解し、その知識を身に付けている。                                 | (11      |                |    | ○             |
|                  | (1)<br>ウ      | ・資料から読み取った事実を基に考察し、その結果を適切に表現している。                                  | (12      | ○              |    |               |
|                  | (1)<br>ウ      | ・世界の諸地域の地域的特色を捉え、適切に資料を読み取っている。                                     | (13      |                | ○  |               |
|                  | (1)<br>ウ      | ・世界の諸地域の地域的特色について、図を基に考察し、その結果を適切に表現している。                           | (14      | ○              |    |               |
| 中学校<br>歴史的<br>分野 | (2)<br>ア      | ・世界の古代文明に共通する特色について、地図の情報を基に考察し、その結果を適切に表現している。                     | (15      | ○              |    |               |
|                  | (2)<br>ア      | ・中国文明の特色について理解し、その知識を身に付けている。                                       | (16      |                |    | ○             |
|                  | (1)<br>ア      | ・我が国の古代国家のおこりについて、大まかな流れと各時代の特色を理解し、その知識を身に付けている。                   | (17      |                |    | ○             |
|                  | (2)<br>ア      | ・我が国の古代国家のおこりについて、大まかな流れと各時代の特色を結び付けて考察し、その結果を適切に表現している。            | (18      | ○              |    |               |
|                  | (2)<br>イ      | ・政治の中心地について理解し、その知識を身に付けている。                                        | (19      |                |    | ○             |
|                  | (2)<br>ウ      | ・平安京に政治の中心地があった時代の文化について理解し、その知識を身に付けている。                           | (20      |                |    | ○             |

※は47都道府県の名称と位置に関する内容である。

中学校 1 年 社会 小問別通過率と設定通過率

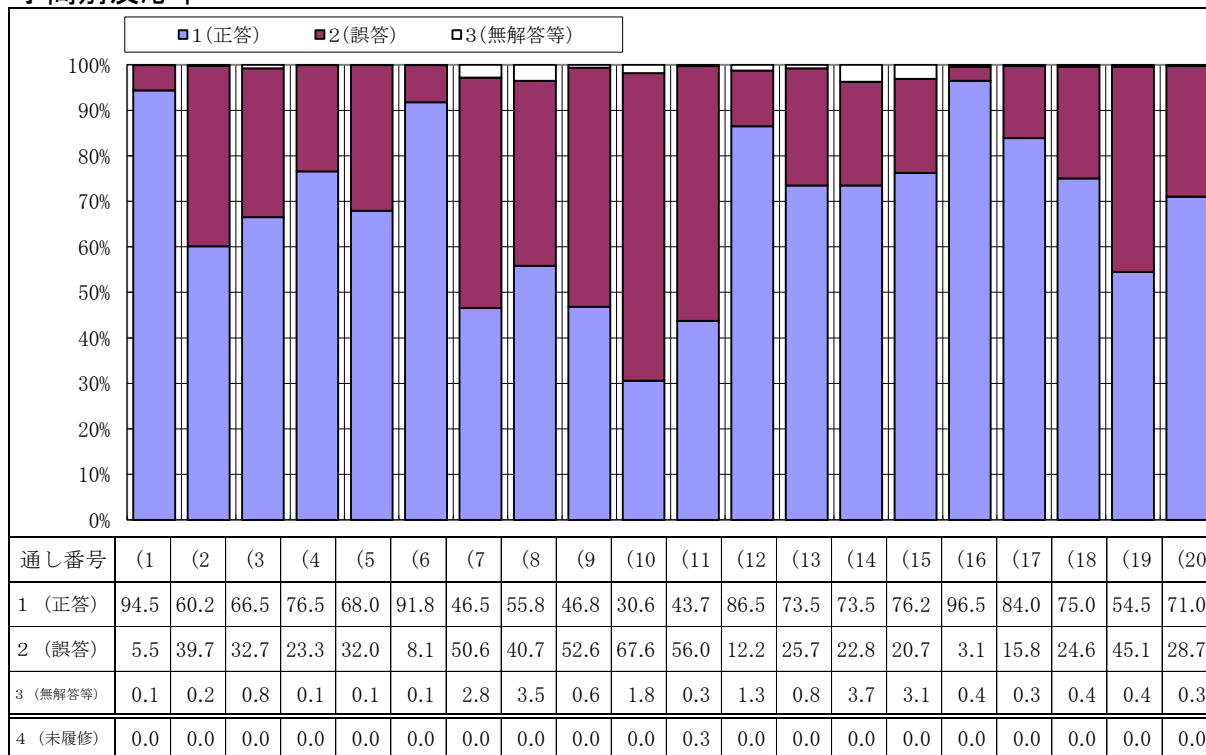
平均通過率 68.6%

| 通し<br>番号 | 出題内容                     | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|--------------------------|------------|------------------|---------|
| (1)      | 明治政府の諸改革                 | 94.5%      | 80.0%            |         |
| (2)      | 不平等条約改正に至るまでのできごと        | 60.2%      | 60.0%            |         |
| (3)      | 太平洋戦争時の国民への被害と県の位置       | 66.5%      | 65.0%            |         |
| (4)      | 戦後の日本の様子（東京オリンピック）       | 76.5%      | 75.0%            |         |
| (5)      | 地方公共団体の政治の働き             | 68.0%      | 65.0%            |         |
| (6)      | 国民の祝日に関する意味や由来           | 91.8%      | 85.0%            |         |
| (7)      | 選挙の意味                    | 46.5%      | 60.0%            |         |
| (8)      | 日本の国際協力に関する資料の読み取り       | 55.8%      | 60.0%            |         |
| (9)      | 地球儀（模式図）の活用と日本と大陸の位置関係   | 46.8%      | 60.0%            |         |
| (10)     | 地球儀（模式図）の活用と大陸の分布        | 30.6%      | 60.0%            |         |
| (11)     | 世界の主な宗教と信仰している地域         | 43.7%      | 60.0%            |         |
| (12)     | 世界の諸地域の地域的特色の考察          | 86.5%      | 80.0%            |         |
| (13)     | 世界の諸地域の地域的特色に関する資料の読み取り  | 73.5%      | 70.0%            |         |
| (14)     | 世界の諸地域の地域的特色の考察          | 73.5%      | 70.0%            |         |
| (15)     | 古代文明の位置と特色               | 76.2%      | 75.0%            |         |
| (16)     | 中国文明の特色                  | 96.5%      | 85.0%            |         |
| (17)     | 我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色      | 84.0%      | 80.0%            |         |
| (18)     | 我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色      | 75.0%      | 75.0%            |         |
| (19)     | 政治の中心地                   | 54.5%      | 65.0%            |         |
| (20)     | 平安京に政治の中心地があった頃の文化を担った人々 | 71.0%      | 70.0%            |         |

※「——」は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 1 年 社会

## 小問別反応率



※ 1～3は、4を除いた解答類型 1～3の合計に対する割合。4は全体に対する割合。

## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 21  | 1   | 4   | 7   | 2   | 11  | 1   | 1   |     |      |      | 12   | 7    | 4    | 6    | 39   | 6    | 4    |      | 5    |           |
| 90～100% | 81  | 3   |     | 13  | 5   | 73  |     |     |     |      |      | 39   | 12   | 10   | 18   | 74   | 30   | 7    |      | 11   |           |
| 80～90%  | 16  | 7   | 13  | 42  | 24  | 31  | 7   | 6   | 2   |      | 1    | 52   | 34   | 36   | 33   | 4    | 55   | 33   | 5    | 14   | 9         |
| 70～80%  |     | 19  | 33  | 37  | 34  | 2   | 10  | 16  | 3   |      | 1    | 12   | 28   | 35   | 34   |      | 22   | 39   | 18   | 47   | 55        |
| 60～70%  |     | 38  | 46  | 16  | 31  |     | 18  | 31  | 13  | 5    | 7    | 2    | 20   | 20   | 20   | 1    | 5    | 30   | 27   | 26   | 49        |
| 50～60%  |     | 36  | 17  | 2   | 15  | 1   | 27  | 33  | 27  | 4    | 27   |      | 7    | 8    | 6    |      |      | 5    | 31   | 12   | 4         |
| 40～50%  |     | 9   | 4   | 1   | 5   |     | 18  | 20  | 43  | 17   | 37   |      | 6    | 4    | 1    |      |      |      | 24   | 2    | 1         |
| 30～40%  |     | 4   | 1   |     | 2   |     | 12  | 6   | 24  | 41   | 32   |      | 1    | 1    |      |      |      |      | 10   |      |           |
| 20～30%  |     | 1   |     |     |     |     | 15  | 2   | 6   | 39   | 11   |      | 2    |      |      |      |      |      | 2    | 1    |           |
| 10～20%  |     |     |     |     |     |     | 7   | 1   |     | 9    | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 1    |      |           |
| 0～10%   |     |     |     |     |     |     | 3   | 2   |     | 3    | 1    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |           |

## 中学校 1 年 社会 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類  | 観 点 別    |    |       | 内 容 別 |       |       | 計  |
|-----------|----------|----|-------|-------|-------|-------|----|
|           | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | 小学校   | 地理的分野 | 歴史的分野 |    |
| +10% より高い | 0        | 0  | 2     | 1     | 0     | 1     | 2  |
| ±10% の範囲内 | 4        | 2  | 7     | 6     | 3     | 4     | 13 |
| -10% より低い | 2        | 1  | 2     | 1     | 3     | 1     | 5  |
| 計         | 6        | 3  | 11    | 8     | 6     | 6     | 20 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

全体の通過率が68.6であり、昨年度を4.4ポイント上回った。経年比較している設問の10問中、昨年度の通過率を上回った設問が9問あった。設定通過率の「-10%より低い」設問は、思考・判断・表現では2問（新問2問）、技能では1問（新問1問）、知識・理解では2問（新問1問）であった。

#### (2) 成果

- ①図や統計資料などの各種資料から丁寧に情報を読み取った上で、他の資料と関連付けて考察し、その結果を適切に表現することについて、指導の成果が見られる。
- ②各時代の社会の様子や文化の特色を結び付けて考察した上で、時代の大きな流れを理解することができている。

#### (3) 課題

- ①地球儀や世界地図に親しませ、地球規模の位置関係をつかむ基礎として、六大陸の大まかな形状と位置関係を捉えさせる学習を継続的に進めていく必要がある。
- ②歴史の舞台という視点から地理的な事柄との関わりに配慮したり、地理的条件に着目したりしながら地図を十分に活用した学習を展開する必要がある。

### 3 今後の指導

地理的分野と歴史的分野において、日常的に地球儀や世界地図、日本地図などを活用しながら、地球規模の位置関係を捉えさせたり、歴史的事象を地理的条件に着目して考えさせたりすることで、多面的・多角的に考察する力を育てる学習活動を推進する。

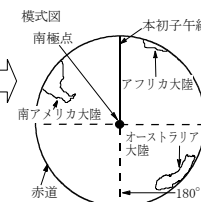
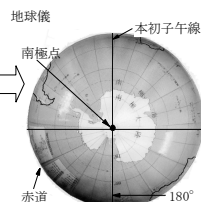
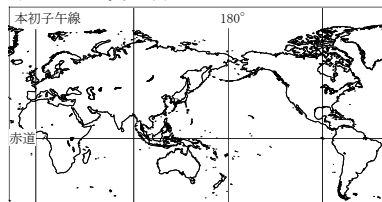
#### ○ポイント〔10（19を例として）〕

- ・地球儀や世界地図を活用して大陸の相対的位置を考察させ、その結果を適切に表現できるように指導する。
- ・日本地図を活用して政治の中心地について、地理的条件に着目しながら考察させ、その結果を適切に表現できるように指導する。

#### ○具体例

地図や地球儀を有効に活用して世界を大観させたり、歴史的事象を考察させたりする。

##### (地理的分野)



##### (歴史的分野)

桓武天皇は、現在の京都市に平安京をつくり、新しい都で政治を立て直そうとしました。



- ・政治の乱れを正す
- ・都造りに適した地形（盆地、川、山など）

##### (地理的分野)

- ①世界地図と地球儀を様々な視点から眺めさせたり、比較させたりして特色を捉えさせる。
- ②六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を捉えさせる。
- ③赤道・本初子午線、北半球・南半球の意味を知らせたり、日本の対蹠点を探させたりする。
- ④学習の成果を世界地図上や略地図上など（模式図）に表現させる活動を通してまとめさせ、学習の内容を定着させる。

##### (歴史的分野)

- ・地図を活用して、歴史の舞台が移った理由を、その背景や地理的条件などを基に様々な角度から考察させ、適切に表現できるようにする。

| 分野                    | 内容       | 評価規準                                             | 通し番号 | 観 点            |    |          |
|-----------------------|----------|--------------------------------------------------|------|----------------|----|----------|
|                       |          |                                                  |      | 思考<br>判断<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 地<br>理<br>的<br>分<br>野 | (1)<br>ア | ・地球上の位置について、緯度と経度を理解し、その知識を身に付けている。              | (1)  |                |    | ○        |
|                       | (1)<br>イ | ・世界の主な宗教の分布について理解し、その知識を身に付けている。                 | (2)  |                |    | ○        |
|                       | (1)<br>イ | ・世界各地の特色ある自然環境とそれに関係する住居について、適切に資料を読み取っている。      | (3)  |                | ○  |          |
|                       | (1)<br>ア | ・地球儀の模式図を活用して大陸の相対的位置を考察し、その結果を適切に表現している。        | (4)  | ○              |    |          |
|                       | (1)<br>ウ | ・各州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。                      | (5)  |                |    | ○        |
|                       | (1)<br>ウ | ・各州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。                      | (6)  |                |    | ○        |
|                       | (1)<br>エ | ・オーストラリアの貿易相手国の変化について、適切に資料を読み取っている。             | (7)  |                | ○  |          |
|                       | (1)<br>エ | ・オーストラリアとアジアの結びつきが強くなった背景を考察し、その結果を適切に表現している。    | (8)  | ○              |    |          |
|                       | (2)<br>ア | ・日本の地域区分、都道府県の名称と位置を理解し、その知識を身に付けている。            | (9)  |                |    | ○        |
|                       | (2)<br>ア | ・我が国の経済水域を理解し、その知識を身に付けている。                      | (10) |                |    | ○        |
|                       | (2)<br>イ | ・自然環境から見た日本の特色を複数の事象を関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。    | (11) | ○              |    |          |
|                       | (2)<br>イ | ・我が国では各地で特色ある産業が行われていることを理解し、その知識を身に付けている。       | (12) |                |    | ○        |
| 歴<br>史<br>的<br>分<br>野 | (1)<br>ア | ・歴史上の人物や、時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。       | (13) |                |    | ○        |
|                       | (2)<br>イ | ・古代の文化の特色を理解し、その知識を身に付けている。                      | (14) |                |    | ○        |
|                       | (1)<br>ウ | ・他の時代との共通点や相違点に着目し、各時代全体の特色を考察し、その結果を適切に表現している。  | (15) | ○              |    |          |
|                       | (3)<br>ア | ・武家政治の特色や東アジア世界との関わりを、古代と比較して考察し、その結果を適切に表現している。 | (16) | ○              |    |          |
|                       | (3)<br>イ | ・中世の社会の変化について、農村と都市の様子を関連付けて読み取っている。             | (17) |                | ○  |          |
|                       | (4)<br>イ | ・中世と近世社会を比較・関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。             | (18) | ○              |    |          |
|                       | (4)<br>エ | ・幕府の政治改革について、代表的な取組を比較・関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。  | (19) | ○              |    |          |
|                       | (4)<br>ウ | ・農業の発達について、複数の資料を関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。        | (20) | ○              |    |          |

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

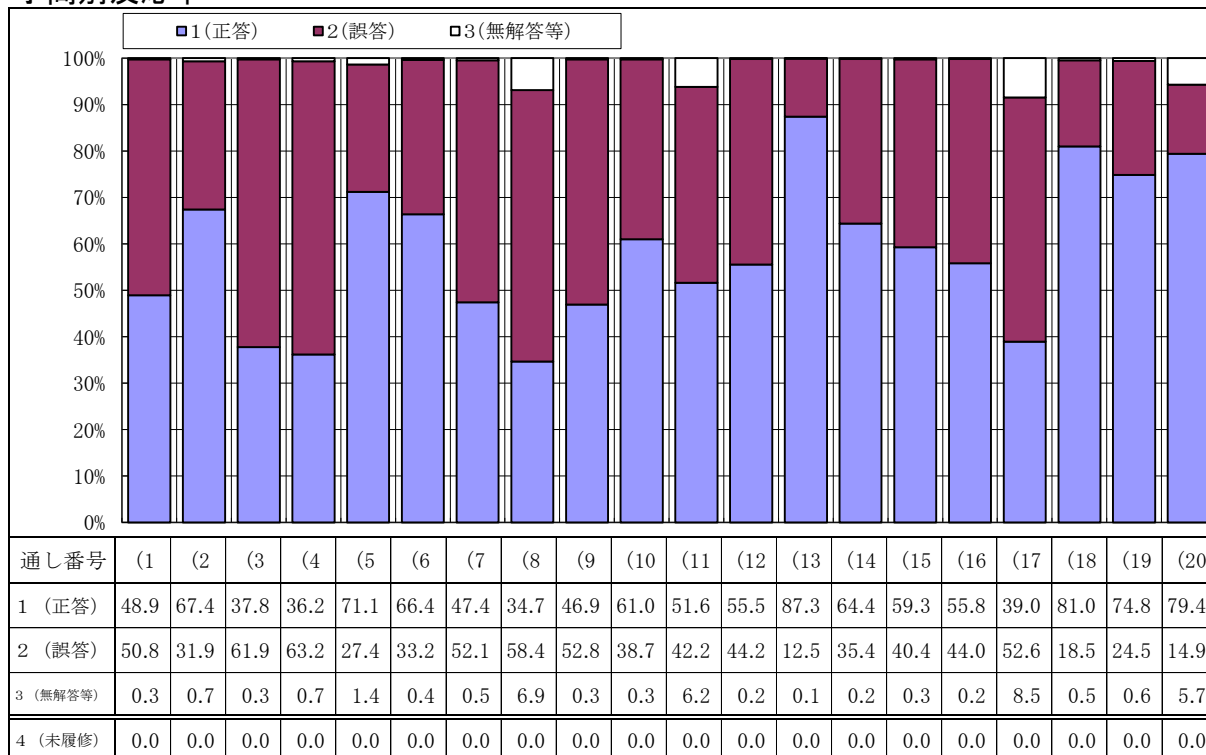
平均通過率 58.3%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容              | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|----------------------|------------|-------------------|---------|
| (1)      | 緯度・経度の理解             | 48.9%      | 65.0%             |         |
| (2)      | 世界の主な宗教の分布           | 67.4%      | 75.0%             |         |
| (3)      | 世界の特色ある自然環境と住居       | 37.8%      | 60.0%             |         |
| (4)      | 地球儀(模式図)の活用と大陸の分布    | 36.2%      | 65.0%             |         |
| (5)      | 各州の地域的特色             | 71.1%      | 75.0%             |         |
| (6)      | 各州の地域的特色             | 66.4%      | 70.0%             |         |
| (7)      | 世界の様々な地域の調査(主題設定)    | 47.4%      | 60.0%             |         |
| (8)      | 世界の様々な地域の調査(考察)      | 34.7%      | 60.0%             |         |
| (9)      | 日本の地域区分, 都道府県, 県庁所在地 | 46.9%      | 60.0%             |         |
| (10)     | 我が国の領域               | 61.0%      | 75.0%             |         |
| (11)     | 自然環境から見た日本の特色        | 51.6%      | 65.0%             |         |
| (12)     | 我が国の産業               | 55.5%      | 65.0%             |         |
| (13)     | 歴史上の人物と時代区分          | 87.3%      | 80.0%             |         |
| (14)     | 天平文化の特色              | 64.4%      | 75.0%             |         |
| (15)     | 我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色  | 59.3%      | 75.0%             |         |
| (16)     | 古代と中世の比較             | 55.8%      | 65.0%             |         |
| (17)     | 中世の農村と都市の変化          | 39.0%      | 60.0%             |         |
| (18)     | 織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家光の政策  | 81.0%      | 85.0%             |         |
| (19)     | 幕府財政の再建              | 74.8%      | 80.0%             |         |
| (20)     | 近世の農業の発達             | 79.4%      | 85.0%             |         |

※ ―― は設定通過率の±10%を示している。

## 中学校 2年 社会

### 小問別反応率



### 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    |     |     |     | 1   | 3   | 3   |     |     |     | 1    | 1    | 1    | 8    | 2    | 1    | 1    |      | 5    | 4    | 6    |           |
| 90～100% |     | 6   |     |     | 7   | 4   | 1   | 2   | 1   | 1    |      | 1    | 46   | 3    | 1    |      | 2    | 22   | 7    | 32   |           |
| 80～90%  | 5   | 15  | 2   | 2   | 23  | 13  | 2   | 5   |     | 10   | 3    | 1    | 54   | 5    | 3    | 9    |      | 52   | 33   | 33   | 1         |
| 70～80%  | 8   | 28  |     |     | 44  | 32  | 2   | 2   | 10  | 20   | 8    | 14   | 9    | 30   | 20   | 15   | 9    | 27   | 32   | 26   | 15        |
| 60～70%  | 10  | 39  | 5   | 4   | 26  | 35  | 9   | 11  | 11  | 40   | 28   | 24   | 1    | 49   | 31   | 22   | 14   | 11   | 32   | 12   | 38        |
| 50～60%  | 32  | 23  | 26  | 15  | 13  | 24  | 35  | 11  | 30  | 31   | 37   | 55   |      | 22   | 44   | 36   | 17   |      | 7    | 6    | 53        |
| 40～50%  | 45  | 6   | 18  | 23  | 2   | 6   | 40  | 13  | 32  | 12   | 22   | 19   |      | 6    | 14   | 25   | 21   |      | 3    | 2    | 10        |
| 30～40%  | 15  |     | 34  | 34  |     |     | 25  | 15  | 28  | 3    | 11   | 2    |      | 1    | 3    | 9    | 21   |      |      |      | 1         |
| 20～30%  | 2   | 1   | 24  | 34  |     |     | 3   | 29  | 5   |      | 8    |      |      |      | 1    |      | 20   |      |      |      |           |
| 10～20%  |     |     | 6   | 4   |     |     |     | 28  |     |      |      |      |      |      |      | 1    | 6    |      |      |      |           |
| 0～10%   | 1   |     | 3   | 1   |     | 1   | 1   | 2   | 1   |      |      | 1    |      |      |      |      | 8    |      |      | 1    |           |



## 中学校 2 年 社会 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類  | 観 点 別    |    |       | 内 容 別 |       | 計  |
|-----------|----------|----|-------|-------|-------|----|
|           | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | 地理的分野 | 歴史的分野 |    |
| +10% より高い | 0        | 0  | 0     | 0     | 0     | 0  |
| ±10% の範囲内 | 4        | 0  | 5     | 4     | 5     | 9  |
| -10% より低い | 4        | 3  | 4     | 8     | 3     | 11 |
| 計         | 8        | 3  | 9     | 12    | 8     | 20 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

全体の通過率が58.3であり、昨年度を0.4ポイント上回った。経年比較している設問の9問中8問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導がなされている。

#### (2) 成果

- ①世界の主な宗教の分布を捉えることができています。各州の基礎的・基本的な知識を習得し、それらを活用して地域的特色を理解することができています。
- ②歴史的事象の意義や背景について、年表や絵図などの様々な資料から読み取ったことを関連付けて考察し、その結果を適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

#### (3) 課題

- ①世界各地の人々の生活や環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けて考察する力を高める必要がある。地球儀や地図を活用し、大陸と海洋のおよその位置関係などを捉えさせる必要がある。
- ②時代の特色やその移り変わりを理解させるために、調べて分かったことの共通点や相違点に着目し、自分の言葉で表現する活動を計画的に取り入れていく必要がある。

### 3 今後の指導

様々な資料から「見える事実」を調べ、それらを根拠にして、社会的事象の背景や要因などの「見えない概念」を考える学習活動を推進する。

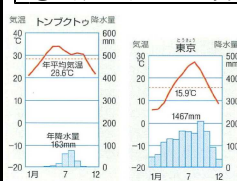
#### ○ポイント〔3を例として〕

資料から読み取った情報を基に考察させ、その結果を適切に表現させる授業を構成する。

#### ○具体例

アフリカ北部の乾燥した地域の人々の生活について、雨温図をもとに予想させ、写真から分かることと関連付けて考えさせる。

##### ① 雨温図から分かること



- ・雨が少ない
- ・気温が高い

##### ② ①をもとに予想したこと

衣：うす着 半そで 長そで  
食：家畜の肉 ジャガイモ  
住：石の家 土の家 高床  
風通しのよい家

##### ③学習問題

乾燥した地域の人々は、どのようにくらしているのだろう。

〈衣〉



長そで  
丈が長い

⑤その理由  
(自分の考え)

〈食〉



羊ややぎの遊牧  
とうもろこし

その理由  
(自分の考え)

〈住〉



泥とわらでできた  
窓の小さい住居

その理由  
(自分の考え)

- ①雨温図を活用し、アフリカ北部の自然的条件を読み取らせる。
- ②人々の生活の様子を、「衣食住」の三つの視点に絞って予想させる。
- ③予想のずれに着目させ、それを解決するための学習問題を設定する。
- ④「何を」「どのように」調べるか見通しをもたせる。「衣食住」を写真を使って
- ⑤衣食住の写真から分かることと①で読み取ったことを関連付けて、個々にまとめさせる。

## 4 結果と考察 (3)算数

平成27年度小学校学習状況調査 第4学年 算数 評価規準と評価の観点

| 学<br>年 | 領<br>域    | 内<br>容                     | 評<br>価<br>規<br>準                                                   | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点         |        |                   |
|--------|-----------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------|-------------|--------|-------------------|
|        |           |                            |                                                                    |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識・<br>理<br>解 |
| 第3学年   | A<br>数と計算 | (3)アイウ<br>乗法               | ・2位数×2位数の計算ができる。                                                   | (3)              |             | ○      |                   |
|        |           |                            | ・筆算の空欄に当てはまる数字を筆算の計算の仕方を基に考え、求めている。                                | (8)              | ○           |        |                   |
|        |           | (5)アイ<br>小数の意味や表し方         | ・1/10の位までの小数の加法ができる。                                               | (2)              |             | ○      |                   |
|        |           | (6)アイウ<br>分数の意味や表し方        | ・分数の意味や分数の表し方を理解している。                                              | (11)             |             |        | ○                 |
|        | B<br>量と測定 | (1)アイウ<br>長さ、重さの単位と測定      | ・長さや重さ、かさの単位について理解している。                                            | (17)             |             |        | ○                 |
|        | C<br>図形   | (1)アイウ<br>二等辺三角形、正三角形などの図形 | ・正三角形の作図の仕方を筋道立てて考え、説明することができる。                                    | (19)             | ○           |        |                   |
|        |           |                            | ・二等辺三角形の意味や性質について理解している。                                           | (15)             |             |        | ○                 |
|        |           |                            | ・組み合わされた円の直径や半径を見だし、その長さを求めている。                                    | (5)              | ○           |        |                   |
|        | D<br>数量関係 | (2)アイ<br>数量の関係を表す式         | ・数量の関係を□を用いた式で表すことができる。                                            | (14)             |             | ○      |                   |
| 第4学年   | A<br>数と計算 | (1)ア<br>整数の表し方             | ・十進位取り記数法によって表される整数の億と兆の関係を理解している。                                 | (4)              |             |        | ○                 |
|        |           |                            | ・0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10種類の数字で表される10位数の大小を考え、数を書き表すことができる。 | (16)             | ○           |        |                   |
|        |           | (2)アイウ<br>概数と四捨五入          | ・四捨五入して、数を概数にすることができる。                                             | (6)              |             | ○      |                   |
|        |           |                            | ・目的に応じて、和や差を概数で表す方法を考え、見積もることができる。                                 | (18)             | ○           |        |                   |
|        |           | (3)アイウエ<br>整数の除法           | ・3位数÷2位数の計算ができる。                                                   | (1)              |             | ○      |                   |
|        |           |                            | ・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。                        | (9)              |             |        | ○                 |
|        |           |                            | ・余りのある除法について、除数と余りの関係を理解している。                                      | (10)             |             |        | ○                 |
|        |           |                            | ・わり算の筆算の仕方を基に□に当てはまる数を考えることができる。                                   | (13)             | ○           |        |                   |
|        |           |                            | ・「倍」を求める場面を除法の式で表すことができる。                                          | (7)              |             | ○      |                   |
|        | D<br>数量関係 | (1)ア<br>伴って変わる二つの数量        | ・棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取り、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明できる。 | (20)             | ○           |        |                   |
|        |           | (4)アイ<br>資料の分類整理           | ・資料を二つの観点から落ちや重なりがないように分類整理することができる。                               | (12)             |             | ○      |                   |

小学校 4 年 算数 小問別通過率と設定通過率

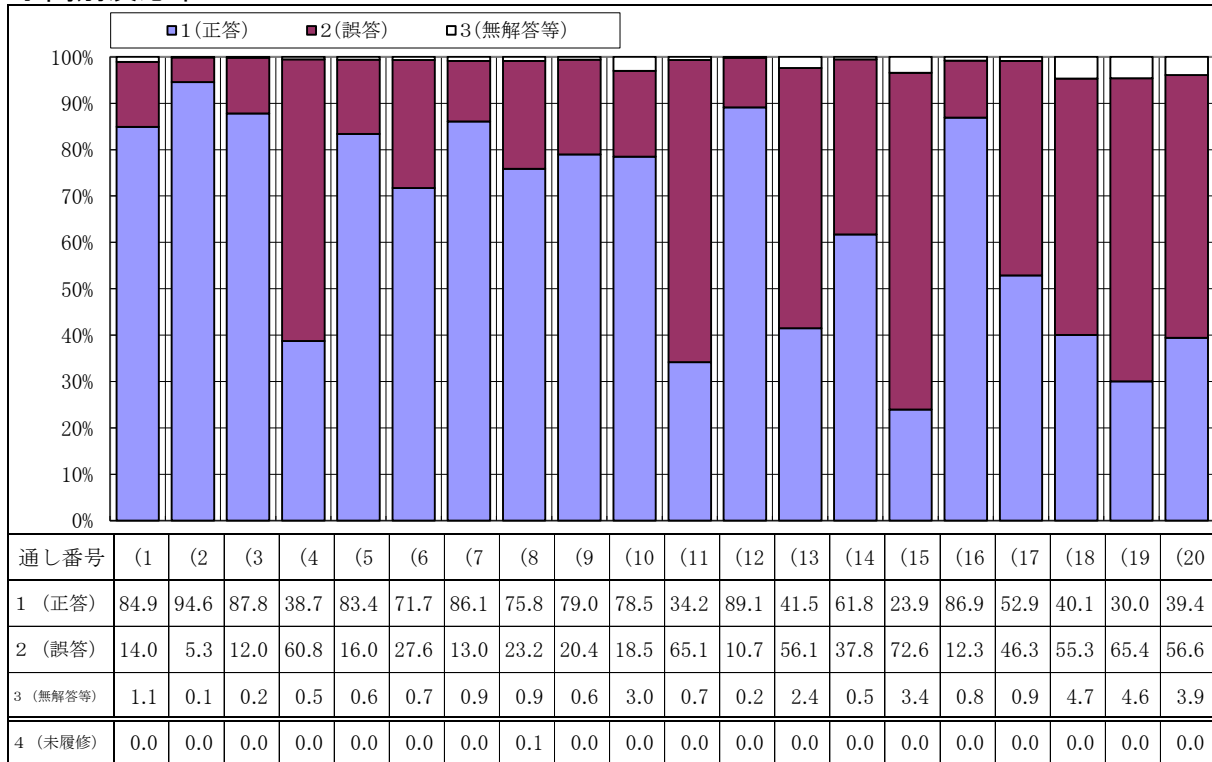
平均通過率 64.0%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容             | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|---------------------|------------|-------------------|---------|
| (1)      | (3 位数) ÷ (2 位数) の計算 | 84.9%      | 80.0%             |         |
| (2)      | 小数第 1 位までの加法        | 94.6%      | 90.0%             |         |
| (3)      | (2 位数) × (2 位数) の計算 | 87.8%      | 90.0%             |         |
| (4)      | 十進位取り記数法の意味理解       | 38.7%      | 80.0%             |         |
| (5)      | 組み合わされた円の半径の長さ      | 83.4%      | 70.0%             |         |
| (6)      | 具体的な数の四捨五入          | 71.7%      | 80.0%             |         |
| (7)      | 倍についての立式            | 86.1%      | 90.0%             |         |
| (8)      | 筆算の仕方               | 75.8%      | 70.0%             |         |
| (9)      | 基準量と比較量の関係          | 79.0%      | 70.0%             |         |
| (10)     | 除法の性質についての理解        | 78.5%      | 70.0%             |         |
| (11)     | 分数の意味理解と表現          | 34.2%      | 80.0%             |         |
| (12)     | 資料の分類・整理            | 89.1%      | 80.0%             |         |
| (13)     | 商がわりきれるときの判断        | 41.5%      | 60.0%             |         |
| (14)     | □を用いた式              | 61.8%      | 70.0%             |         |
| (15)     | 二等辺三角形の意味や性質の理解     | 23.9%      | 60.0%             |         |
| (16)     | 大きな数の大小             | 86.9%      | 80.0%             |         |
| (17)     | 長さや重さ、かさの単位の意味理解    | 52.9%      | 60.0%             |         |
| (18)     | 日常生活での見積もり          | 40.1%      | 60.0%             |         |
| (19)     | 正三角形の作図の筋道立てた説明     | 30.0%      | 60.0%             |         |
| (20)     | 目的に応じたグラフの活用        | 39.4%      | 60.0%             |         |

※ は設定通過率の±10%を示している。

## 小学校 4年 算数

### 小問別反応率



※解答類型1～3に対する数値は、4を除いた解答類型1～3の合計に対する割合。4は全体に対する割合。

### 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 35  | 82  | 37  | 7   | 38  | 16  | 43  | 21  | 26  | 34   | 4    | 27   | 4    | 7    | 1    | 57   | 5    | 2    | 3    | 6    |       |
| 90～100% | 47  | 104 | 64  |     | 49  | 16  | 59  | 23  | 25  | 31   | 3    | 82   |      | 2    | 1    | 69   | 2    | 2    |      | 1    | 1     |
| 80～90%  | 80  | 23  | 81  | 10  | 69  | 50  | 67  | 58  | 71  | 76   | 12   | 75   | 4    | 15   | 1    | 50   | 6    | 5    | 4    | 8    | 10    |
| 70～80%  | 34  | 3   | 20  | 10  | 35  | 55  | 37  | 59  | 59  | 31   | 6    | 23   | 12   | 38   | 5    | 20   | 14   | 15   | 11   | 10   | 60    |
| 60～70%  | 12  |     | 7   | 21  | 17  | 41  | 6   | 29  | 24  | 23   | 14   | 5    | 29   | 69   | 6    | 12   | 47   | 21   | 16   | 19   | 91    |
| 50～60%  | 2   |     | 2   | 21  | 3   | 20  |     | 17  | 6   | 10   | 24   |      | 31   | 49   | 7    | 3    | 61   | 32   | 21   | 26   | 43    |
| 40～50%  | 2   |     |     | 30  |     | 9   |     | 3   | 1   | 5    | 13   |      | 40   | 24   | 17   |      | 46   | 25   | 22   | 53   | 7     |
| 30～40%  |     |     |     | 46  | 1   | 4   |     | 2   |     | 1    | 32   |      | 49   | 6    | 39   |      | 24   | 42   | 28   | 36   |       |
| 20～30%  |     |     |     | 48  |     |     |     |     |     |      | 44   |      | 30   | 2    | 53   |      | 6    | 31   | 46   | 32   |       |
| 10～20%  |     |     |     | 13  |     |     |     |     |     |      | 43   |      | 10   |      | 47   |      | 1    | 29   | 30   | 14   |       |
| 0～10%   |     |     | 1   | 6   |     | 1   |     |     |     | 1    | 17   |      | 3    |      | 35   | 1    |      | 8    | 31   | 7    |       |

# 小学校4年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |    |       | 領 域 別 |      |    |      | 計  |
|--------------|-------|----|-------|-------|------|----|------|----|
|              | 考え方   | 技能 | 知識・理解 | 数と計算  | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |    |
| +10% より高い    | 1     | 0  | 0     | 0     | 0    | 1  | 0    | 1  |
| ±10% の範囲内    | 2     | 7  | 3     | 9     | 1    | 0  | 2    | 12 |
| -10% より低い    | 4     | 0  | 3     | 4     | 0    | 2  | 1    | 7  |
| 計            | 7     | 7  | 6     | 13    | 1    | 3  | 3    | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中13問が、設定通過率の「±10%の範囲内」又は「+10%より高い」でおおむね良好な状況であるが、基礎的・基本的な学習内容の定着について若干課題がある。
- ②観点別に見ると「技能」は良好であるが、「考え方」及び記述することを伴った「知識・理解」に課題がある。

### (2) 成果

- ①昨年度と比較すると、組み合わされた円の直径や半径を見いだし、その長さを求める問題の通過率が大きく上昇し、改善が図られている。
- ②小学校の共通問題である数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いて求める設問の通過率が大きく上昇し、改善が図られている。

### (3) 課題

- ①具体的な場面において、加減乗除の判断をし、数量の関係を□を用いた式に表すことについて課題が見られる。
- ②日常場面において、目的に応じて、和や差を概数で表して用いる方法を考えるなど、見積もることについて課題が見られる。

## 3 今後の指導

未知数を□の記号を用いて表し、文脈どおりに数量の関係を立式し、□に当てはまる数を調べる学習の充実を図る。

### 【参考 通し番号(9)】

次の①、②のお話をそれぞれ式に表します。①、②のお話の式を下のア～エの中から1つずつえらんで、記号を□の中に書きましょう。

- ① あめ玉が□こあります。  
5人で同じ数ずつ分けたら、1人分は10こになりました。
- ② あめ玉を□こずつ集めます。  
5人で集めたら、10こになりました。

ア □+5=10    イ □-5=10    ウ □×5=10    エ □÷5=10

- ・未知数を□の記号を用いて立式したり、図に表したことで関連付けたりして、数量の関係を的確に捉える活動を取り入れる。
- ・問題場面を捉えて立てた式が、正しいかどうかについて、求めた未知数を□に当てはめて確かめるなど、見直す活動を取り入れる。

およその大きさを捉え、根拠をもって判断し説明する活動の充実を図る。

### 【参考 通し番号(18)】

すすむさんは、170円のノート1冊と540円のマーカーペン1セットをあわせて買って、代金を1000円札で払います。少なくとも何百円のおつりがくるのかについて、それぞれの代金を百の位までのがい数にしてから考えました。「切り上げ」「切り捨て」「四捨五入」のいずれかを使って考え、求め方と答えを□の中に書きましょう。

求め方

答え 少なくとも \_\_\_\_\_ 円のおつりがくる

- ・具体的な問題場面に即して、何の位までの概数にして計算するかについて判断する場を設定する。
- ・目的に応じた見積もり方を選択できるよう、概数にする方法が「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」による3つの方法があることを確認するとともに、見積もった結果を数直線などに表し、大小関係を視覚的に捉える活動を取り入れる。
- ・具体的な場面を通して、見積もった結果を基に判断し、説明する活動を取り入れる。

平成27年度小学校学習状況調査 第5学年 算数 評価規準と評価の観点

| 学<br>年 | 領<br>域    | 内<br>容                    | 評<br>価<br>規<br>準                                                 | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点      |        |               |
|--------|-----------|---------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------|-------------|--------|---------------|
|        |           |                           |                                                                  |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識・理<br>解 |
| 第4学年   | A<br>数と計算 | (2)アイウ<br>概数と四捨五入         | ・目的に応じて概数に表す方法を考え、和を見積もることができる。                                  | (7)              | ○           |        |               |
|        |           | (3)イ<br>整数の除法             | ・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。                      | (9)              |             |        | ○             |
|        |           | (5)ウ<br>乗数や除数が整数の場合の小数の乗法 | ・小数×整数の計算ができる。                                                   | (2)              |             | ○      |               |
|        |           | (6)イ<br>同分母分数の加法、減法       | ・帯分数－帯分数の計算ができる。                                                 | (1)              |             | ○      |               |
|        | B<br>量と測定 | (1)アイ<br>面積の単位と測定         | ・図に示された複合図形の面積の求め方を表す式を選ぶことができる。                                 | (15)             | ○           |        |               |
|        |           |                           | ・長方形が対角線で二等分されることを基に、筋道立てて考え、図形の面積の関係が成り立つ理由を言葉や式を用いて説明することができる。 | (20)             | ○           |        |               |
|        |           | (2)アイ<br>角の大きさ            | ・ $180^\circ$ より大きい角の大きさを求めることができる。                              | (11)             |             | ○      |               |
|        | C<br>図形   | (1)アイ<br>平行四辺形、ひし形、台形     | ・ひし形の対角線の性質を理解している。                                              | (14)             |             |        | ○             |
|        |           | (2)ア<br>立方体、直方体などの立体図形    | ・直方体の展開図をかくことができる。                                               | (16)             |             | ○      |               |
|        | D<br>数量関係 | (2)ア<br>数量の関係を表す式         | ・乗法と加法の混合した式や( )を用いた式を読み取り、式が表す場面を選ぶことができる。                      | (10)             | ○           |        |               |
|        |           | (4)ア<br>資料の分類整理           | ・資料を二つの観点から落ちや重なりがないように、分類整理することができる。                            | (19)             |             | ○      |               |
| 第5学年   | A<br>数と計算 | (1)イ<br>整数の性質             | ・具体的な場面において、倍数や公倍数を求めることができる。                                    | (12)             |             | ○      |               |
|        |           | (2)ア<br>整数、小数の記数法         | ・小数のしくみや小数の大小関係を理解している。                                          | (6)              |             |        | ○             |
|        |           | (3)アイウ<br>小数の乗法、除法        | ・ $1/10$ の位の小数と $1/100$ の位の小数の乗法の計算の仕方を理解している。                   | (5)              |             |        | ○             |
|        |           |                           | ・小数の除法について、商を小数第一位まで求め、あまりも求めることができる。                            | (3)              |             | ○      |               |
|        |           |                           | ・小数の除法が用いられる場面を理解している。                                           | (8)              |             |        | ○             |
|        |           | (4)ウエ<br>分数               | ・分数を約分したり、通分したりして大きさの等しい分数を選ぶことができる。                             | (4)              |             | ○      |               |
|        | C<br>図形   | (1)イ<br>平面図形の性質           | ・合同な三角形をかくための方法を見通すことができる。                                       | (13)             | ○           |        |               |
|        | D<br>数量関係 | (1)ア<br>伴って変わる二つの数量の関係    | ・伴って変わる二つの具体的な事象から数量の関係を見出し、適切な数値を求めたり比例であることを判別したりすることができる。     | (17)             | ○           |        |               |
|        |           | (2)<br>数量の関係を表す式          | ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、数量の関係を式に表すことができる。                            | (18)             |             | ○      |               |

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

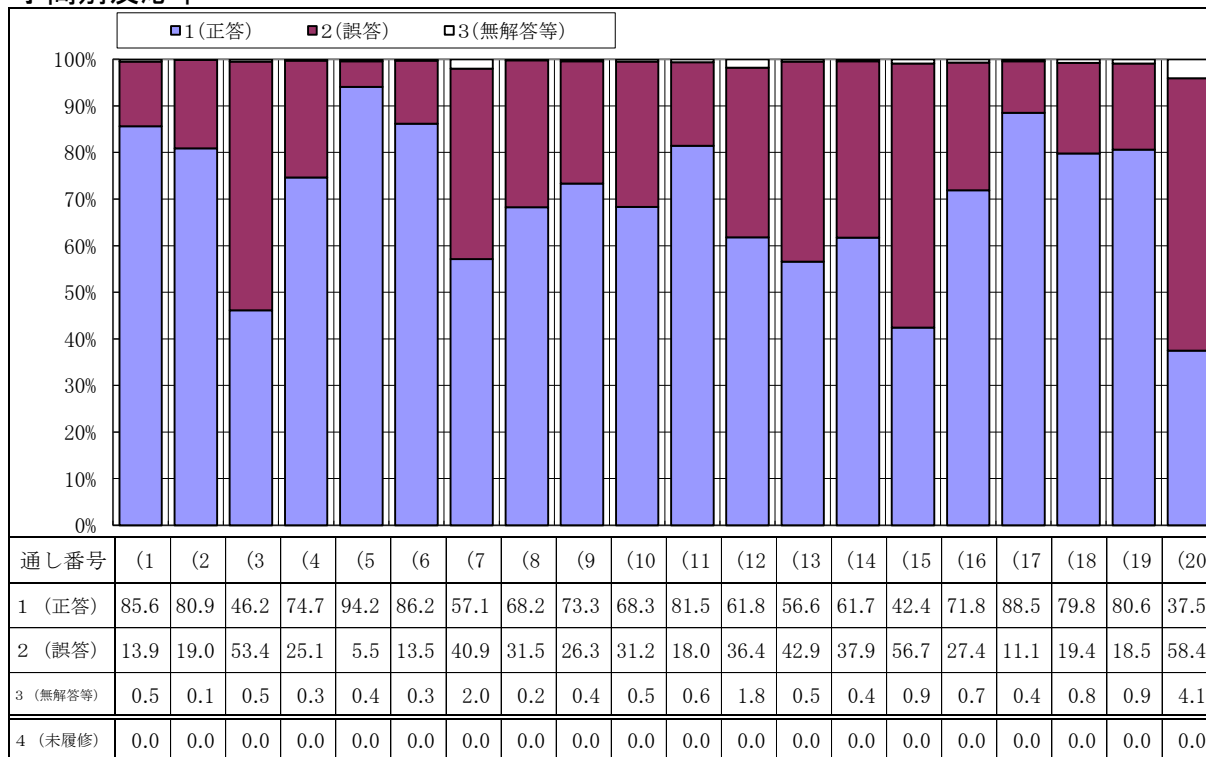
平均通過率 69.8%

| 通し<br>番号 | 出題内容                 | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|----------------------|------------|------------------|---------|
| (1)      | (帯分数)－(帯分数)の計算       | 85.6%      | 80.0%            |         |
| (2)      | (小数)×(整数)の計算         | 80.9%      | 80.0%            |         |
| (3)      | (小数)÷(小数)商とあまりを求める計算 | 46.2%      | 70.0%            |         |
| (4)      | 大きさの等しい分数            | 74.7%      | 80.0%            |         |
| (5)      | 小数の乗法の計算の仕方          | 94.2%      | 85.0%            |         |
| (6)      | 小数のしくみ               | 86.2%      | 80.0%            |         |
| (7)      | 概数の理解と利用             | 57.1%      | 60.0%            |         |
| (8)      | 小数の除法の意味理解           | 68.2%      | 70.0%            |         |
| (9)      | 基準量と比較量の関係           | 73.3%      | 80.0%            |         |
| (10)     | 関係を表す式の読み取り          | 68.3%      | 70.0%            |         |
| (11)     | 180°より大きい角度の測定       | 81.5%      | 80.0%            |         |
| (12)     | 最小公倍数の利用             | 61.8%      | 60.0%            |         |
| (13)     | 合同な三角形の作図            | 56.6%      | 60.0%            |         |
| (14)     | 特別な四角形の性質            | 61.7%      | 65.0%            |         |
| (15)     | 複合図形の面積              | 42.4%      | 60.0%            |         |
| (16)     | 直方体の展開図              | 71.8%      | 80.0%            |         |
| (17)     | 比例の関係                | 88.5%      | 80.0%            |         |
| (18)     | 伴って変わる数量の関係の式        | 79.8%      | 80.0%            |         |
| (19)     | 資料の分類・整理             | 80.6%      | 80.0%            |         |
| (20)     | 長方形の性質を用いた説明         | 37.5%      | 60.0%            |         |

※「——」は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 5年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 28  | 22  | 5   | 12  | 76  | 39  | 5   | 10  | 16  | 7    | 30   | 6    | 5    | 9    | 3    | 15   | 48   | 23   | 28   | 2    |       |
| 90～100% | 57  | 32  | 5   | 16  | 94  | 62  | 1   | 3   | 7   | 5    | 32   | 3    |      | 7    |      | 19   | 64   | 41   | 46   | 1    | 1     |
| 80～90%  | 83  | 67  | 11  | 45  | 39  | 75  | 15  | 33  | 42  | 27   | 78   | 24   | 14   | 17   | 4    | 39   | 64   | 85   | 59   | 3    | 29    |
| 70～80%  | 32  | 64  | 21  | 75  | 3   | 21  | 18  | 62  | 81  | 55   | 46   | 41   | 24   | 44   | 5    | 59   | 27   | 30   | 43   | 6    | 96    |
| 60～70%  | 10  | 20  | 19  | 44  |     | 11  | 56  | 52  | 45  | 78   | 18   | 56   | 56   | 54   | 23   | 40   | 9    | 16   | 23   | 17   | 69    |
| 50～60%  | 2   | 5   | 38  | 15  |     | 3   | 50  | 40  | 18  | 31   | 4    | 52   | 53   | 38   | 40   | 27   |      | 4    | 5    | 31   | 13    |
| 40～50%  |     | 1   | 37  | 5   |     |     | 29  | 10  | 2   | 6    | 3    | 14   | 34   | 23   | 58   | 11   |      | 1    | 4    | 39   | 4     |
| 30～40%  |     |     | 44  |     |     | 1   | 24  | 1   | 1   | 3    | 1    | 12   | 17   | 15   | 43   | 1    |      | 5    | 1    | 46   |       |
| 20～30%  |     | 1   | 23  |     |     |     | 12  | 1   |     |      |      | 4    | 8    | 3    | 27   | 1    |      | 3    | 2    | 42   |       |
| 10～20%  |     |     | 7   |     |     |     | 1   |     |     |      |      |      | 1    | 2    | 8    |      |      | 1    | 1    | 17   |       |
| 0～10%   |     |     | 2   |     |     |     | 1   |     |     |      |      |      |      |      | 1    |      |      | 3    |      | 8    |       |



# 小学校5年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |    |       | 領 域 別 |      |    |      | 計  |
|--------------|-------|----|-------|-------|------|----|------|----|
|              | 考え方   | 技能 | 知識・理解 | 数と計算  | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |    |
| +10% より高い    | 0     | 0  | 0     | 0     | 0    | 0  | 0    | 0  |
| ±10% の範囲内    | 4     | 8  | 5     | 9     | 1    | 3  | 4    | 17 |
| -10% より低い    | 2     | 1  | 0     | 1     | 2    | 0  | 0    | 3  |
| 計            | 6     | 9  | 5     | 10    | 3    | 3  | 4    | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中17問が設定通過率の「±10%範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「考え方」にやや課題が見られ、領域別に見ると図形の面積に関する「量と測定」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①特に、経年で比較している整数や小数の除法の意味理解の問題において通過率が上昇し、改善が図られている。
- ②比例の関係を判断して式に表したり、数量の関係を表した式を読み取って式が表す場面を判断したりする問題において通過率が上昇し、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

- ①小数の除法において、割る数と余りの大きさの關係に注意して、余りの大きさを求めることに課題が見られる。
- ②示された図形の性質を基に、条件を変更した場面に活用して発展的に考察し、説明することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

小数の除法について、確実に商を求めることができるとともに、余りの大きさについての理解を深めることができるようにする。

【参考 通し番号(3)】

$$6.93 \div 2.7$$

(筆算で、商は  $\frac{1}{10}$  の位まで求めて、あまりも出しましょう。)

$$\begin{array}{r} 2.7 \overline{) 6.93} \\ \underline{\phantom{00} 5.4} \phantom{00} \\ 1.53 \\ \underline{\phantom{00} 1.35} \\ \phantom{00} 18 \end{array}$$

答え                  あまり

- ・小数の除法については、小数点の位置の誤りが多いので、商が小数第一位、又は第二位までの計算を確実にできるようにする。さらに、具体的な場面において、求めた余りの大きさの意味を考えさせ、割る数と余りの大きさの關係についての理解を深める。
- ・(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の式に当てはめて余りを確かめたり、それらの大きさの關係を捉えさせたりする活動を充実させる。

長方形が対角線で二等分されることを基に、発展的な図形の面積の關係を筋道立てて考え、言葉や式を用いて説明する活動を充実させる。

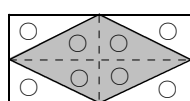
【参考 通し番号(20)】

図1のように、長方形は対角線で面積が等しい2つの直角三角形に分けることができます。それぞれの直角三角形に○の印をつけた後、図2のように、図1の長方形を4つ組み合わせます。図2において、最も大きな長方形の面積と、内側の四角形(菱形)の面積を比べると、どのようなことがいえませんか。下のアとイの中から正しいものを選んで、その記号を  の中に書きましょう。また、その記号を選んだわけを、言葉や式を使って  の中に書きましょう。

図1



図2



ア 最も大きな長方形の面積は、内側の四角形(菱形)の面積の2倍である。

イ 最も大きな長方形の面積は、内側の四角形(菱形)の面積の2倍ではない。

- ・長方形などの具体物を用いて、図形を並べたり、敷き詰めたりするなど、理解を促す操作活動を取り入れる。
- ・示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明することができるようにするために、根拠となる事柄が不足している説明を示して、付加・修正をさせながら、よりよい説明を児童がつくり上げる活動を取り入れる。

| 学<br>年 | 領<br>域    | 内<br>容             | 評<br>価<br>規<br>準                                                  | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点      |        |                   |
|--------|-----------|--------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------|-------------|--------|-------------------|
|        |           |                    |                                                                   |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識・<br>理<br>解 |
| 第5学年   | A<br>数と計算 | (4)アイウエオ<br>分数     | ・ 具体の場面で異分母分数の減法の計算ができる。                                          | (2)              |             | ○      |                   |
|        | B<br>量と測定 | (1)ア<br>図形の面積      | ・ 2つの三角形の面積の大小関係について、<br>三角形の面積の求め方を活用して考えている。                    | (3)              | ○           |        |                   |
|        |           |                    | ・ 四角形の面積を求めることができる。                                               | (4)              |             | ○      |                   |
|        |           | (3)ア<br>量の大きさの測定値  | ・ 2つの集団の平均から集団全体の平均を求めることができる。                                    | (19)             |             | ○      |                   |
|        | C<br>図形   | (1)アウ<br>平面図形の性質   | ・ 円に内接する正五角形を基にして角の大きさを求めることができる。                                 | (6)              |             | ○      |                   |
|        |           |                    | ・ 多角形の内角の和の求め方を考え、図と式に表し、説明することができる。                              | (10)             | ○           |        |                   |
|        |           | (2)ア<br>立体図形の性質    | ・ 三角柱の辺や面のつながりに着目して、展開図のかき方を考えている。                                | (13)             | ○           |        |                   |
|        | D<br>数量関係 | (2)<br>数量の関係を表す式   | ・ 2つの数量の関係を図や式と関連付けて考え、判断することができる。                                | (12)             | ○           |        |                   |
|        |           | (3)<br>百分率         | ・ 比較量と割合から基準量を求めるために、数量の関係を数直線に表すことができる。                          | (8)              |             | ○      |                   |
|        |           | (4)<br>円グラフや帯グラフ   | ・ 複数の帯グラフから必要な情報を読み取り、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明することができる。          | (20)             | ○           |        |                   |
| 第6学年   | A<br>数と計算 | (1)アイウ<br>分数の乗法、除法 | ・ 小数×分数の計算ができる。                                                   | (1)              |             | ○      |                   |
|        |           |                    | ・ 分数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している。                        | (5)              |             |        | ○                 |
|        |           |                    | ・ 分数の除法が用いられる場面を式に表すことができる。                                       | (11)             |             | ○      |                   |
|        |           |                    | ・ 数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。                      | (14)             |             |        | ○                 |
|        | B<br>量と測定 | (2)ア<br>円の面積       | ・ 四角形の4つの角の大きさの和が360°になることから、4つの部分を合わせると円になることを用いて面積の和を求めることができる。 | (16)             |             | ○      |                   |
|        |           | (4)<br>速さ          | ・ 単位をそろえ、速さと時間から道のりを求めることができる。                                    | (18)             |             | ○      |                   |
|        | C<br>図形   | (1)イ<br>対称な図形      | ・ 基本的な平面図形の対称性や性質を理解している。                                         | (7)              |             |        | ○                 |
|        |           |                    | ・ 点対称な図形の性質を用いて、点対称な図形をかくことができる。                                  | (15)             |             | ○      |                   |
|        | D<br>数量関係 | (3)ア<br>文字を用いた式    | ・ 数量の関係を文字を用いて表すことができる。                                           | (9)              |             | ○      |                   |
|        |           |                    | ・ 文字を使った式を読み取り、式が表す場面を選ぶことができる。                                   | (17)             |             | ○      |                   |

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

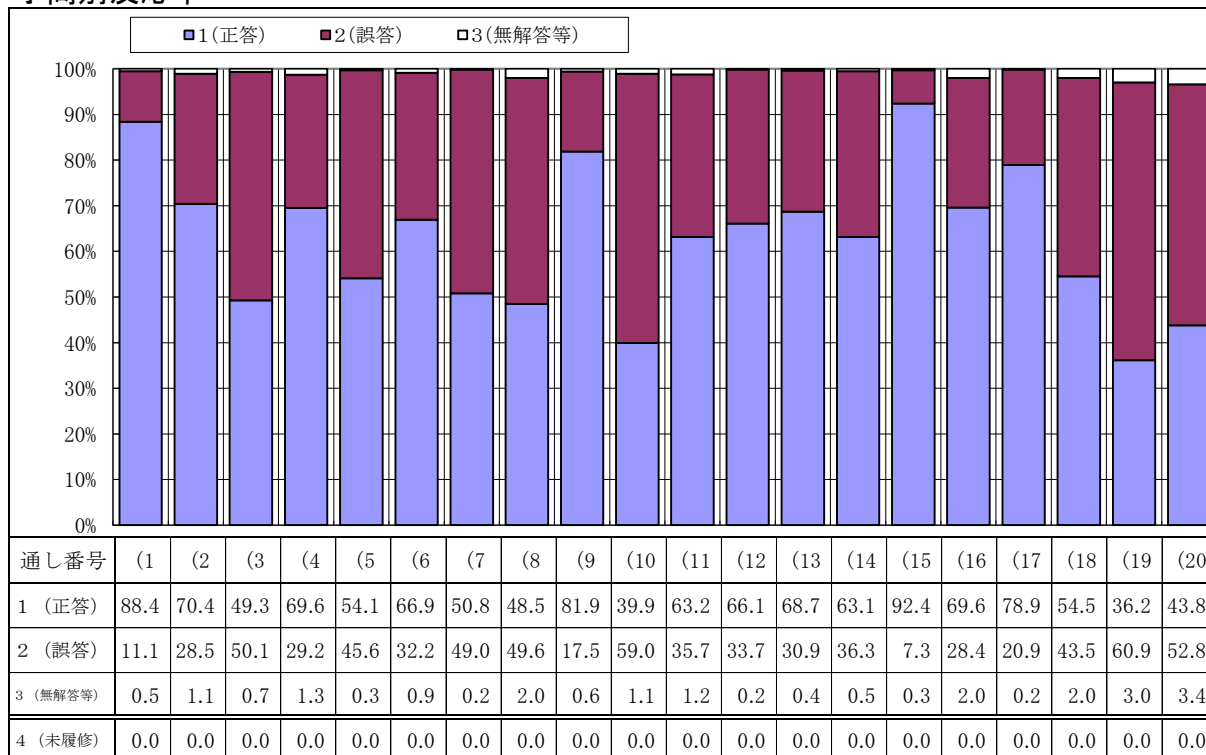
平均通過率 62.8%

| 通し<br>番号 | 出題内容                  | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|-----------------------|------------|------------------|---------|
| (1)      | 小数×分数の計算              | 88.4%      | 90.0%            |         |
| (2)      | 異分母の分数の減法             | 70.4%      | 70.0%            |         |
| (3)      | 三角形の面積の求め方の活用         | 49.3%      | 60.0%            |         |
| (4)      | 不定形な四角形の面積の求め方        | 69.6%      | 75.0%            |         |
| (5)      | 分数計算における乗数と積、除数と商の関係  | 54.1%      | 60.0%            |         |
| (6)      | 円に内接する正多角形の角の大きさ      | 66.9%      | 75.0%            |         |
| (7)      | 基本的な平面図形の対称性や性質の理解    | 50.8%      | 60.0%            |         |
| (8)      | 割合を含んだ数量の関係を数直線に表す    | 48.5%      | 60.0%            |         |
| (9)      | 伴って変わる数量の関係の式         | 81.9%      | 90.0%            |         |
| (10)     | 多角形の内角の和              | 39.9%      | 60.0%            |         |
| (11)     | 分数の除法の場面を式に表す         | 63.2%      | 70.0%            |         |
| (12)     | □や○などを用いた式            | 66.1%      | 70.0%            |         |
| (13)     | 見取り図と展開図から情報を読み取る     | 68.7%      | 70.0%            |         |
| (14)     | 基準量と比較量の関係            | 63.1%      | 70.0%            |         |
| (15)     | 点対称な図形の作図             | 92.4%      | 90.0%            |         |
| (16)     | 円の面積の求め方              | 69.6%      | 70.0%            |         |
| (17)     | 文字を用いた式についての理解        | 78.9%      | 80.0%            |         |
| (18)     | 速さ、時間、道のりの関係          | 54.5%      | 60.0%            |         |
| (19)     | 複数の集団の平均値から全体の平均値を求める | 36.2%      | 60.0%            |         |
| (20)     | 必要な情報を読み取り、数学的に考え表現する | 43.8%      | 60.0%            |         |

※|——| は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 6年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 51  | 19  | 6   | 16  | 4   | 12  | 1   | 8   | 33  | 7    | 11   | 8    | 8    | 7    | 64   | 17   | 21   | 4    | 6    | 5    |       |
| 90～100% | 59  | 14  | 1   | 8   | 1   | 11  |     | 2   | 31  | 2    | 6    | 10   | 4    | 13   | 103  | 7    | 22   |      | 1    | 2    | 3     |
| 80～90%  | 74  | 41  | 12  | 44  | 9   | 32  | 5   | 10  | 83  | 16   | 31   | 30   | 34   | 26   | 34   | 34   | 67   | 12   | 3    | 6    | 10    |
| 70～80%  | 21  | 56  | 12  | 56  | 13  | 48  | 13  | 22  | 48  | 15   | 48   | 45   | 69   | 51   | 9    | 70   | 71   | 26   | 6    | 11   | 49    |
| 60～70%  | 6   | 44  | 37  | 47  | 49  | 52  | 46  | 31  | 14  | 17   | 52   | 56   | 67   | 39   | 2    | 44   | 26   | 47   | 19   | 29   | 91    |
| 50～60%  | 1   | 24  | 43  | 26  | 63  | 33  | 57  | 43  | 3   | 32   | 32   | 37   | 21   | 33   |      | 29   | 3    | 56   | 24   | 34   | 46    |
| 40～50%  |     | 9   | 48  | 13  | 45  | 16  | 46  | 32  |     | 19   | 15   | 17   | 6    | 27   |      | 8    |      | 37   | 32   | 43   | 13    |
| 30～40%  |     | 3   | 35  | 1   | 20  | 4   | 34  | 27  |     | 29   | 11   | 5    | 3    | 12   |      | 1    | 1    | 20   | 46   | 48   |       |
| 20～30%  |     | 1   | 12  |     | 6   | 3   | 8   | 21  |     | 29   | 4    | 1    |      | 1    |      | 1    |      | 7    | 45   | 23   |       |
| 10～20%  |     | 1   | 3   | 1   | 2   | 1   |     | 12  |     | 32   | 2    | 1    |      | 1    |      | 1    |      | 2    | 23   | 9    |       |
| 0～10%   |     |     | 3   |     |     |     | 2   | 4   |     | 14   |      | 2    |      | 2    |      |      | 1    | 1    | 7    | 2    |       |

# 小学校 6 年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |     |       | 領 域 別 |      |    |      | 計   |
|--------------|-------|-----|-------|-------|------|----|------|-----|
|              | 考え方   | 技能  | 知識・理解 | 数と計算  | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |     |
| +10% より高い    | 0     | 0   | 0     | 0     | 0    | 0  | 0    | 0   |
| ±10% の範囲内    | 2     | 1 0 | 3     | 5     | 3    | 4  | 3    | 1 5 |
| -10% より低い    | 3     | 2   | 0     | 0     | 2    | 1  | 2    | 5   |
| 計            | 5     | 1 2 | 3     | 5     | 5    | 5  | 5    | 2 0 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中15問が、設定通過率の「±10%の範囲内」であり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。
- ②観点別に見ると「技能」は良好であるが、「考え方」に課題が見られる。領域別に見ると「数と計算」や「図形」は良好であるが、「量と測定」や「数量関係」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①他の図形と関連させながら求める円の面積について、習熟が図られている。
- ②速さと時間から道のりの求め方を考え、数学的な表現を用いて説明することについて改善が図られている。

### (3) 課題

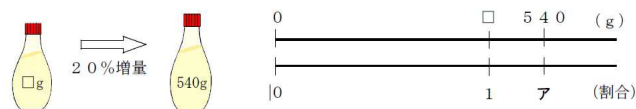
- ①比較量と割合から基準量を求めるために、数量の関係を数直線に表し、除法を用いて求めることについて課題が見られる。
- ②複数の帯グラフから必要な情報を読み取り、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明することについて課題が見られる。

## 3 今後の指導

増量後の割合が、示された割合(20%)を基にすると、どう表すことができるのか説明し伝え合う学習活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(8)]

家で使っているマヨネーズが、20%増量して売られていました。増量後のマヨネーズの量は540gです。増量前のマヨネーズを□gとして、このときの数量の関係を、下の数直線に表します。アにあてはまる数を□の中に書きましょう。

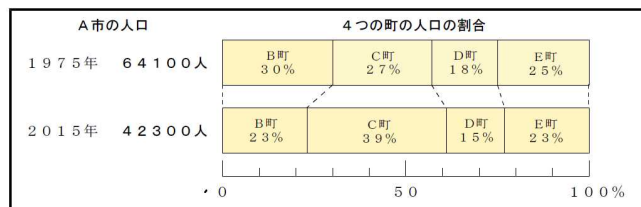


- ・数直線のかき方について習熟が図られるよう、基準量、比較量、割合の関係を数直線に表して考えさせるようにする。
- ・正しくかけていない例(誤答)を示し、なぜそれではいけないのかを筋道立てて説明させる場を設定して、二つの数量関係を捉える力を培っていくようにする。

グラフの読み取りについて習熟を図るとともに、問題場面に応じて読み取ったことについて根拠を明らかにして説明する学習活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(20)]

ゆきなさんの住んでいるA市は、4つの町が合併して誕生しました。ゆきなさんは、A市の人口と市の中にある4つの町の人口の割合について表されたグラフをみて、次のように言っています。



このグラフから、C町の人口は40年前と比べると増えていることがわかります。



ゆきなさんの言っていることは「正しい」か「正しくない」かの、どちらかを○で囲みましょう。また、そのわけを、言葉や数を使って□の中に書きましょう。

- ・二つのグラフに表された割合を比べるときは、基準量と比較量の両方で割合の大小が決まることを理解することが大切である。その際には、基準量と割合から、実際に比較量を求めて確かめるなど、具体的に調べる活動を取り入れ、目的に基づいてグラフからの的確に読み取ることができる力を培うようにする。
- ・帯グラフや円グラフの情報の読み取りについて習熟が図られるよう、示された割合の実数を求める活動を大切にする。

平成 27 年度中学校学習状況調査 第 1 学年 数学 評価規準と評価の観点

| 学<br>年              | 領<br>域           | 内<br>容                  | 評<br>価<br>規<br>準                                 | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点      |        |                       |
|---------------------|------------------|-------------------------|--------------------------------------------------|------------------|-------------|--------|-----------------------|
|                     |                  |                         |                                                  |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解 |
| 小学<br>校第<br>6学<br>年 | B<br>量と<br>測定    | (3)ア<br>角柱及び円柱の体積       | ・角柱の体積は、(底面積) × (高さ) で求められることを理解している。            | (17)             |             |        | ○                     |
|                     |                  | (5)<br>メートル法の単位の<br>仕組み | ・身の回りにあるものの長さ、体積、重さ、面積の単位が、どのような関係にあるかを理解している。   | (7)              |             |        | ○                     |
|                     | C<br>図形          | (1)ア<br>縮図や拡大図          | ・2倍に拡大した三角形のかき方を理解している。                          | (13)             |             |        | ○                     |
|                     |                  |                         | ・実測できない長さについて、縮図を利用して求めることができる。                  | (18)             |             | ○      |                       |
|                     | D<br>数量<br>関係    | (2)アウ<br>比例             | ・伴って変わる2つの数量の関係について考え、比例と反比例を判断することができる。         | (15)             | ○           |        |                       |
|                     |                  |                         | ・反比例の関係にある2つの数量関係を文字を用いた式で表すことができる。              | (4)              |             | ○      |                       |
|                     |                  | (4)イ<br>資料の考察           | ・グラフから資料の特徴を読み取って判断し、数学的な根拠を基に説明することができる。        | (11)             | ○           |        |                       |
|                     |                  | (5)<br>起こり得る場合          | ・落ちや重なりがないように、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。         | (5)              |             | ○      |                       |
| 中学<br>校第<br>1学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式 | (1)ウエ<br>正の数・負の数        | ・正の数、負の数の四則計算ができる。                               | (1)              |             | ○      |                       |
|                     |                  |                         | ・仮平均を利用して、基準になる身長求め方を説明することができる。                 | (8)              | ○           |        |                       |
|                     |                  | (2)アイウエ<br>文字を用いた式      | ・一次式の減法の計算ができる。                                  | (2)              |             | ○      |                       |
|                     |                  |                         | ・事象の中の数量について、文字を用いて式に表すことができる。                   | (6)              |             | ○      |                       |
|                     |                  |                         | ・マッチ棒を規則的に並べていくとき、使った本数を文字を用いた式で表すことができる。        | (9)              |             | ○      |                       |
|                     |                  |                         | ・単位換算して文字を用いた式に表すことを理解している。                      | (12)             |             |        | ○                     |
|                     |                  |                         | ・不等式で表された数量の関係を理解している。                           | (3)              |             |        | ○                     |
|                     |                  |                         | ・文字を用いた式で表されたことがいつでも成り立つかどうかを考え、その理由を説明することができる。 | (16)             | ○           |        |                       |
|                     |                  |                         | ・事象の中の数量関係について考え、文字式と図を関連付けて説明することができる。          | (20)             | ○           |        |                       |
|                     |                  | (3)イウ<br>一元一次方程式        | ・一次方程式の解が妥当かどうかを、どのように確かめたらよいかを理解している。           | (10)             |             |        | ○                     |
|                     |                  |                         | ・具体の場面における数量関係を捉え、一次方程式をつくることができる。               | (19)             | ○           |        |                       |
|                     |                  |                         | ・日常生活の具体の問題を解決する場面において、比の相等関係を捉えて比例式をつくることができる。  | (14)             | ○           |        |                       |

中学校 1 年 数学 小問別通過率と設定通過率

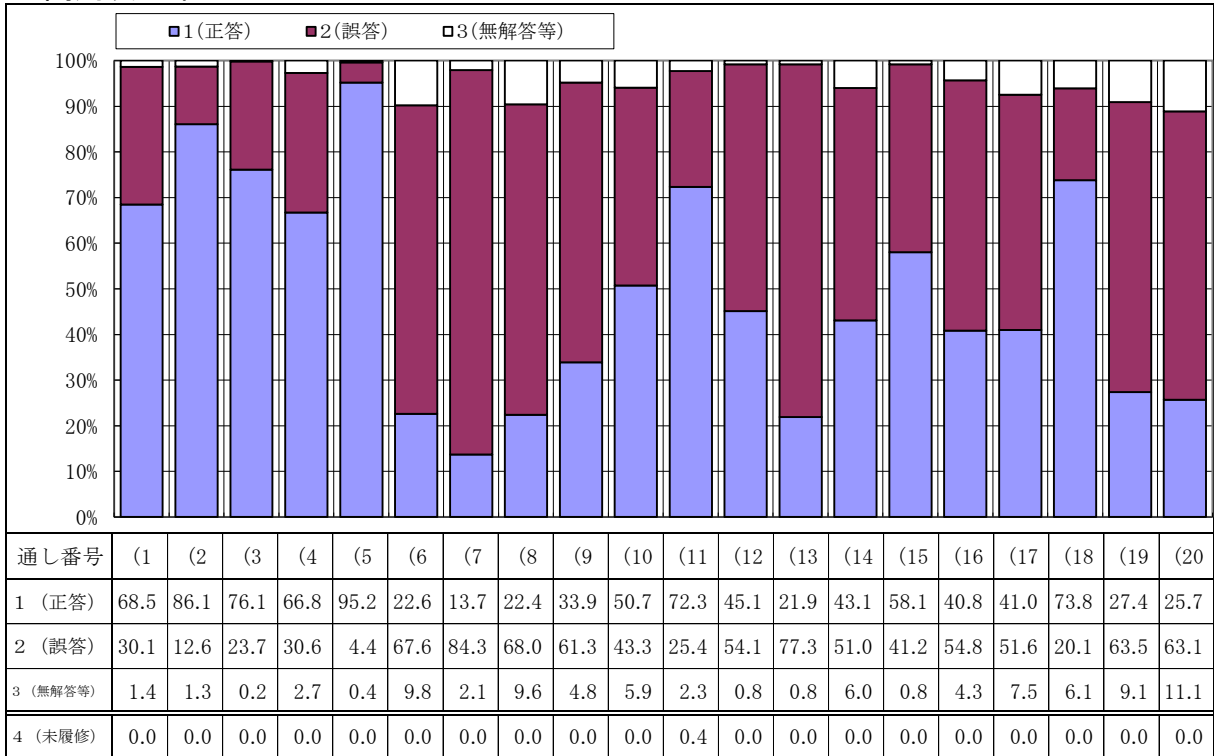
平均通過率 49.3%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容             | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|---------------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | 正負の数の四則計算           | 68.5%      | 75.0%             |         |
| ( 2 )    | 文字式の計算              | 86.1%      | 90.0%             |         |
| ( 3 )    | 不等式の意味              | 76.1%      | 85.0%             |         |
| ( 4 )    | 反比例の関係を式で表現         | 66.8%      | 70.0%             |         |
| ( 5 )    | 起こりうる場合の数           | 95.2%      | 80.0%             |         |
| ( 6 )    | 文字を用いた式             | 22.6%      | 80.0%             |         |
| ( 7 )    | 長さ、体積、重さ、面積の単位の関係   | 13.7%      | 60.0%             |         |
| ( 8 )    | 正負の数の利用             | 22.4%      | 60.0%             |         |
| ( 9 )    | 必要なマッチ棒の本数を式で表現     | 33.9%      | 80.0%             |         |
| ( 1 0 )  | 一次方程式の解             | 50.7%      | 60.0%             |         |
| ( 1 1 )  | 柱状グラフの読み取り          | 72.3%      | 75.0%             |         |
| ( 1 2 )  | 単位の異なる数量の表し方        | 45.1%      | 70.0%             |         |
| ( 1 3 )  | 2 倍に拡大した三角形         | 21.9%      | 70.0%             |         |
| ( 1 4 )  | 比例式の立式              | 43.1%      | 65.0%             |         |
| ( 1 5 )  | 比例と反比例の判断           | 58.1%      | 65.0%             |         |
| ( 1 6 )  | 文字式の読み取り            | 40.8%      | 65.0%             |         |
| ( 1 7 )  | 角柱の体積               | 41.0%      | 65.0%             |         |
| ( 1 8 )  | 縮図の利用               | 73.8%      | 65.0%             |         |
| ( 1 9 )  | 一次方程式の利用            | 27.4%      | 60.0%             |         |
| ( 2 0 )  | 数学的な表現を用いて説明 (式と言葉) | 25.7%      | 60.0%             |         |

※  は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 1 年 数学

## 小問別反応率



※解答類型 1～3 に対する数値は、4 を除いた解答類型 1～3 の合計に対する割合。4 は全体に対する割合。

## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    |     | 4   | 5   | 1   | 34  |     |     |     |     |      | 2    |      |      |      | 2    |      |      | 1    |      |      |       |
| 90～100% |     | 40  | 6   | 3   | 73  |     |     |     |     |      | 17   |      |      |      |      |      |      | 4    |      |      |       |
| 80～90%  | 18  | 55  | 35  | 17  | 9   |     |     |     |     | 2    | 22   |      |      | 1    | 5    | 1    |      | 23   | 1    |      |       |
| 70～80%  | 34  | 16  | 48  | 26  | 2   | 1   |     |     | 3   | 10   | 37   | 2    |      | 3    | 19   | 4    | 3    | 58   |      | 2    | 1     |
| 60～70%  | 47  | 2   | 17  | 39  |     |     |     | 1   | 1   | 25   | 24   | 9    | 2    | 8    | 26   | 8    | 10   | 24   | 2    | 3    | 8     |
| 50～60%  | 15  |     | 4   | 26  |     | 3   | 1   | 2   | 9   | 22   | 14   | 27   |      | 21   | 41   | 14   | 14   | 8    | 3    | 7    | 48    |
| 40～50%  | 2   |     | 2   | 4   |     | 5   | 1   | 3   | 26  | 36   | 2    | 41   | 3    | 30   | 17   | 37   | 35   |      | 9    | 10   | 55    |
| 30～40%  | 1   |     |     | 2   |     | 17  | 2   | 20  | 31  | 18   |      | 32   | 21   | 33   | 7    | 34   | 37   |      | 25   | 18   | 5     |
| 20～30%  |     |     |     |     |     | 43  | 16  | 42  | 38  | 3    |      | 6    | 45   | 17   |      | 13   | 15   |      | 43   | 34   |       |
| 10～20%  |     |     |     |     |     | 40  | 59  | 46  | 7   |      |      |      | 36   | 3    |      | 6    | 3    |      | 29   | 32   | 1     |
| 0～10%   | 1   | 1   | 1   |     |     | 9   | 39  | 4   | 3   | 2    |      | 1    | 11   | 2    | 1    | 1    | 1    |      | 6    | 12   |       |



# 中学校 1 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別  |    |       | 領 域 別 |      |    |      | 計  |
|--------------|--------|----|-------|-------|------|----|------|----|
|              | 見方・考え方 | 技能 | 知識・理解 | 数と式   | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |    |
| +10% より高い    | 0      | 1  | 0     | 0     | 0    | 0  | 1    | 1  |
| ±10% の範囲内    | 2      | 4  | 2     | 4     | 0    | 1  | 3    | 8  |
| -10% より低い    | 5      | 2  | 4     | 8     | 2    | 1  | 0    | 11 |
| 計            | 7      | 7  | 6     | 12    | 2    | 2  | 4    | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 小学校の問題に関する通過率は、8 問中 5 問が設定通過率の「±10%の範囲内」又は「+10%より高い」であるが、「量と測定」領域の「知識・理解」の問題では改善が進んでいないものもある。
- ② 中学校の問題に関する通過率は、「数と式」領域の「文字を用いた式」の問題において、7 問中 5 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、昨年度同様、文字式の学習内容について確かな定着が図られていない。このことは、「一元一次方程式」の問題における通過率の低さにもつながっている。

### (2) 成果

- ① 落ちや重なりがないように、起こり得る場合を順序よく整理して調べることについては、通過率が「+10%より高い」であり、学習内容の定着が図られている。
- ② 実測できない長さを縮図を利用して求めることについては、通過率が上昇し、改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 一次方程式の解について、正しい解かどうかを見直すことに課題が見られる。
- ② 文字式で示された事象が成り立たない理由を、反例を上げて説明することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

一次方程式の解として「正しい」か「正しくないか」を判断する場を設定し、解についての意味理解を確かなものにするとともに、解の結果を見直そうとする態度を育てる。

### 〔参考 通し番号(10)〕

たかこさんが、方程式  $2x - 7 = 5x + 2$  を解いたら、解が  $x = 3$  になりました。たかこさんは、この方程式の解が正しいかどうかを、次のように確かめました。□ア□ には、あてはまる数を、□イ□ には、あてはまる言葉を書きなさい。

$x = 3$  を左辺に代入すると、式の値は □ア□ になる。

$x = 3$  を右辺に代入すると、式の値は 17 になる。

したがって、 □イ□ から

$x = 3$  は、方程式  $2x - 7 = 5x + 2$  の解ではない。

- ・ 一次方程式の解き方について、習熟を図るとともに、「本当に正しい解と言えますか？」と意図的に発問したり、解でない場合も取り上げたりして、求めた解を見直す場を設定する。
- ・ 「代入」「左辺」「右辺」「等式」等の数学用語を用いて、一次方程式の解であると判断した理由を説明するなどの場を設定し、解についての確実な理解を図る。

互いに自分の考えを伝え合い、よりよい説明をつくり上げるなど数学的活動の場を工夫し、減法についての意味理解の定着を図る。

### 〔参考 通し番号(16)〕

次のことがらは正しいですか。「正しい」か「正しくない」か、どちらかに○をつけ、その理由も書きなさい。

$a$  がどんな数であっても、 $7 - a$  はいつでも 7 より小さくなる

- ・ 減法の差は、被減数より小さくなるという感覚をもっている生徒もいるため、意図的に誤答を取り上げ、数学的活動の場を設定する。
- ・ 互いの考えを伝え合い、よりよい考えをつくり上げるなどの活動の場を工夫することで学習内容の定着を図る。

平成27年度中学校学習状況調査 第2学年 数学 評価規準と評価の観点

| 学<br>年                          | 領<br>域                     | 内<br>容               | 評<br>価<br>規<br>準                                 | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点      |        |                   |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------|--------------------------------------------------|------------------|-------------|--------|-------------------|
|                                 |                            |                      |                                                  |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識・<br>理<br>解 |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>1<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式           | (2) ウエ<br>文字と式       | ・一次式の減法の計算ができる。                                  | (1)              |             | ○      |                   |
|                                 |                            |                      | ・数量の関係を不等号を用いた式で表すことができる。                        | (2)              |             | ○      |                   |
|                                 | B<br>図<br>形                | (1) アイ<br>平面図形       | ・図形の移動について理解している。                                | (6)              |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・与えられた線分を直径とする円を作図することができる。                      | (15)             |             | ○      |                   |
|                                 |                            | (2) アイウ<br>空間図形      | ・球の表面積の求め方を理解している。                               | (5)              |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・空間上の2つの直線の関係について考えることができる。                      | (18)             | ○           |        |                   |
|                                 |                            |                      | ・おうぎ形の弧の長さや中心角の大きさを比例関係として捉え、比例の関係を表す式を選ぶことができる。 | (13)             | ○           |        |                   |
|                                 | C<br>関<br>数                | (1) ウエ<br>比例・反比例     | ・比例のグラフが通る点について理解している。                           | (8)              |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・反比例のグラフ上の点の座標を求めることができる。                        | (16)             |             | ○      |                   |
|                                 | D<br>資<br>料<br>の<br>活<br>用 | (1) ア<br>資料の散らばりと代表値 | ・度数分布表から相対度数を求めることができる。                          | (11)             |             | ○      |                   |
|                                 |                            |                      | ・資料の特徴に適するヒストグラムを選ぶことができる。                       | (12)             | ○           |        |                   |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>2<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式           | (1) アイウ<br>式の計算      | ・等式の変形の仕方を理解している。                                | (3)              |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・式変形してから値を代入して式の値を求めることができる。                     | (7)              |             | ○      |                   |
|                                 |                            |                      | ・4つの数の和が4の倍数になることを、文字を用いた式を使って説明することができる。        | (20)             | ○           |        |                   |
|                                 |                            | (2) アイウ<br>連立方程式     | ・二元一次方程式の解を座標とする点の集合は直線として表されることを理解している。         | (9)              |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・連立方程式を解くことができる。                                 | (4)              |             | ○      |                   |
|                                 |                            |                      | ・具体的な事象の中の数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる。          | (10)             | ○           |        |                   |
|                                 | C<br>関<br>数                | (1) イエ<br>一次関数       | ・一次関数のグラフの特徴を理解している。                             | (14)             |             |        | ○                 |
|                                 |                            |                      | ・グラフ上の2点の座標から一次関数の式を求めることができる。                   | (17)             |             | ○      |                   |
|                                 |                            |                      | ・事象に即して解釈し、グラフの特徴を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。    | (19)             | ○           |        |                   |

中学校 2 年 数学 小問別通過率と設定通過率

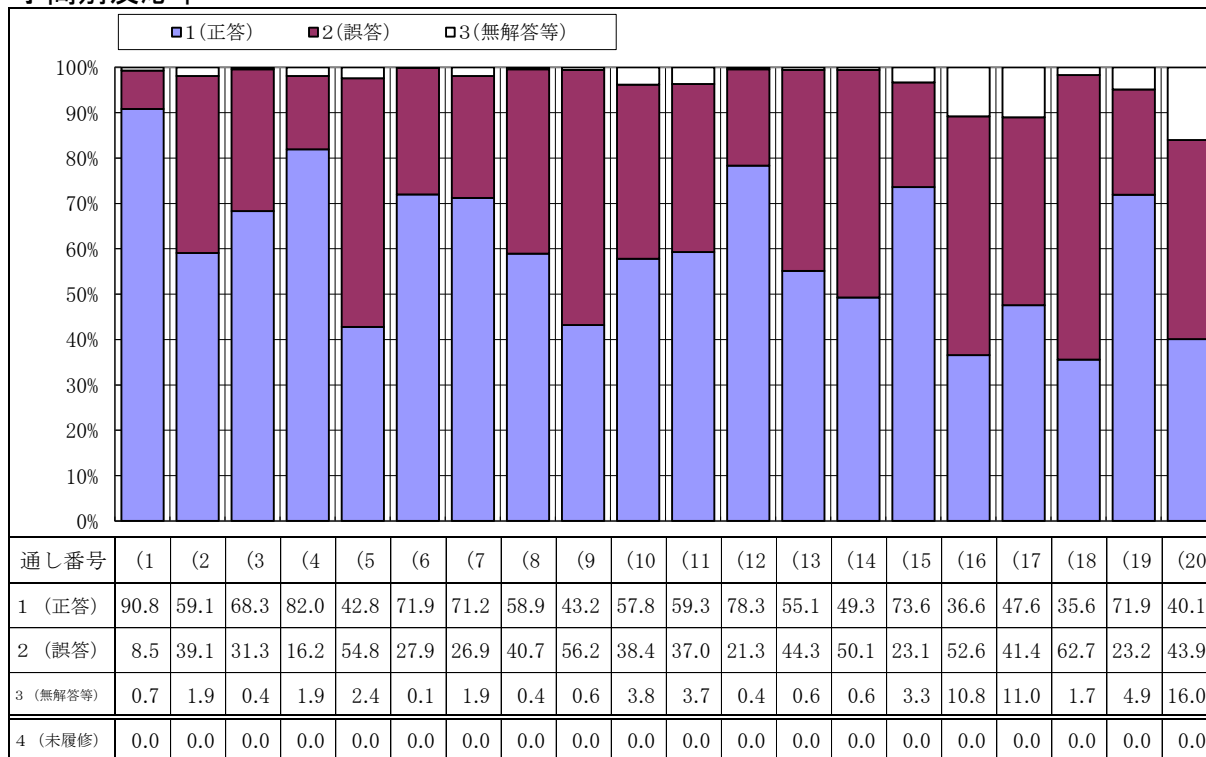
平均通過率 59.7%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容      | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|--------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | 一次式の減法       | 90.8%      | 90.0%             |         |
| ( 2 )    | 文字を使った不等式の立式 | 59.1%      | 65.0%             |         |
| ( 3 )    | 等式の性質        | 68.3%      | 75.0%             |         |
| ( 4 )    | 連立方程式の計算     | 82.0%      | 85.0%             |         |
| ( 5 )    | 球の表面積 (立式)   | 42.8%      | 65.0%             |         |
| ( 6 )    | 平面図形の移動      | 71.9%      | 75.0%             |         |
| ( 7 )    | 式の値          | 71.2%      | 75.0%             |         |
| ( 8 )    | 比例のグラフ       | 58.9%      | 65.0%             |         |
| ( 9 )    | 二元一次方程式の解    | 43.2%      | 60.0%             |         |
| ( 1 0 )  | 二元一次方程式の立式   | 57.8%      | 60.0%             |         |
| ( 1 1 )  | 相対度数         | 59.3%      | 65.0%             |         |
| ( 1 2 )  | ヒストグラムの見方    | 78.3%      | 85.0%             |         |
| ( 1 3 )  | おうぎ形の面積      | 55.1%      | 60.0%             |         |
| ( 1 4 )  | 1 次関数のグラフの理解 | 49.3%      | 70.0%             |         |
| ( 1 5 )  | 円の作図         | 73.6%      | 80.0%             |         |
| ( 1 6 )  | 反比例のグラフの理解   | 36.6%      | 70.0%             |         |
| ( 1 7 )  | 一次関数の式       | 47.6%      | 60.0%             |         |
| ( 1 8 )  | 空間内の 2 直線の関係 | 35.6%      | 60.0%             |         |
| ( 1 9 )  | 一次関数の理解      | 71.9%      | 75.0%             |         |
| ( 2 0 )  | 文字式の証明       | 40.1%      | 60.0%             |         |

※  は設定通過率の±10%を示している。

## 中学校 2年 数学

### 小問別反応率



### 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 16  | 1   | 2   | 4   | 2   | 3   | 3   | 2   | 3   | 1    |      | 1    |      |      | 6    |      |      |      |      |      |       |
| 90～100% | 65  | 1   | 6   | 20  | 2   | 4   | 7   | 3   | 4   | 2    | 3    | 9    |      |      | 9    |      |      |      | 4    | 1    |       |
| 80～90%  | 32  | 8   | 12  | 53  | 2   | 19  | 25  | 10  | 7   | 8    | 12   | 40   | 2    | 2    | 27   |      | 2    | 1    | 17   | 2    | 2     |
| 70～80%  | 4   | 17  | 36  | 37  | 3   | 47  | 37  | 12  | 3   | 13   | 20   | 51   | 9    | 2    | 35   | 3    | 4    |      | 55   | 8    | 16    |
| 60～70%  | 1   | 28  | 45  | 2   | 19  | 33  | 39  | 25  | 4   | 30   | 35   | 13   | 23   | 20   | 32   | 3    | 13   | 2    | 31   | 17   | 42    |
| 50～60%  |     | 39  | 16  | 2   | 24  | 9   | 5   | 41  | 12  | 37   | 30   | 3    | 54   | 31   | 8    | 10   | 33   | 8    | 9    | 23   | 53    |
| 40～50%  |     | 19  | 1   |     | 20  | 1   | 1   | 19  | 19  | 22   | 11   |      | 23   | 40   |      | 32   | 37   | 26   | 2    | 20   | 4     |
| 30～40%  |     | 4   |     |     | 22  |     |     | 5   | 42  | 3    | 5    |      | 5    | 16   |      | 38   | 22   | 41   |      | 19   |       |
| 20～30%  |     | 1   |     |     | 18  | 1   |     |     | 20  | 1    | 1    |      | 1    | 7    |      | 29   | 6    | 31   |      | 18   | 1     |
| 10～20%  |     |     |     |     | 5   |     |     |     | 3   |      |      |      |      |      |      | 2    | 1    | 7    |      | 8    |       |
| 0～10%   |     |     |     |     | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1    | 1    | 1    | 1    |      | 1    | 1    |      | 2    |      | 2    |       |

## 中学校 2 年 数学 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別  |    |       | 領 域 別 |     |     |       | 計  |
|--------------|--------|----|-------|-------|-----|-----|-------|----|
|              | 見方・考え方 | 技能 | 知識・理解 | 数と式   | 図 形 | 関 数 | 資料の活用 |    |
| +10% より高い    | 0      | 0  | 0     | 0     | 0   | 0   | 0     | 0  |
| ±10% の範囲内    | 4      | 6  | 3     | 6     | 3   | 2   | 2     | 13 |
| -10% より低い    | 2      | 2  | 3     | 2     | 2   | 3   | 0     | 7  |
| 計            | 6      | 8  | 6     | 8     | 5   | 5   | 2     | 20 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

- ① 20問中13問が、設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 観点別では、「知識・理解」や「見方・考え方」にやや課題がある。領域別に見ると「関数」や「図形」に課題が見られる。

#### (2) 成果

- ① 課題となっていた数量の関係を不等号を使った式で表す問題及び二元一次方程式の立式の問題については、通過率が大きく上昇している。
- ② 全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた記述式の問題において、依然として課題は見られるが通過率が上昇してきている。

#### (3) 課題

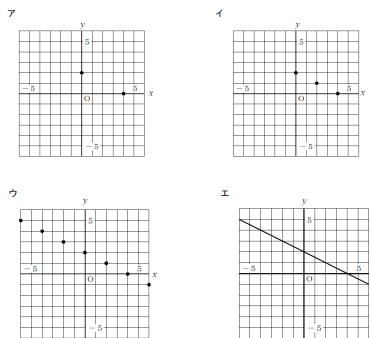
- ① 二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることの理解に課題が見られる。
- ② 反比例のグラフ上の点の座標を求めることに課題が見られる。

### 3 今後の指導

二元一次方程式の解を座標とする点の集合が直線になることの意味理解を図る学習を充実させる。

#### 【参考 通し番号(9)】

次のア～エの中に、二元一次方程式  $x + 2y = 4$  の解を座標とする点の全体を表したものがああります。正しいものを1つ選んで、記号を書きなさい。

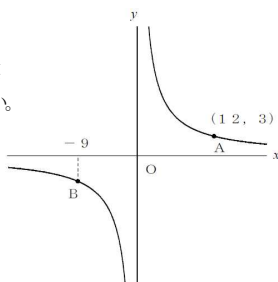


- ・ 二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、座標平面上で直線になることを理解できるようにするために、二元一次方程式のグラフをかくとき、整数以外の数を座標とする点をとることにより、それらが一直線上に並ぶことや、多数の点をとることにより、点が集まって直線を成していくことを理解させるなど、実感を伴って理解できるように活動を取り入れることが大切である。
- ・ 二元一次方程式と関数を、相互に関連付けて捉えられるよう、二元一次方程式のグラフをかく際は、座標をとってかく活動とともに二元一次方程式を  $y$  について解き  $y = ax + b$  の形に変形した一次関数のグラフと比較し、同じ直線になることを理解させる活動を取り入れる。

反比例のグラフ上の2点について、一方の座標が与えられたとき、他方の座標を求める学習の習熟を図る。

#### 【参考 通し番号(16)】

右の図は、反比例のグラフで、点A、Bはグラフ上にあります。  
点Aの座標が(12, 3)、点Bの座標が-9のとき、点Bのy座標を求めなさい。



- ・ 反比例の関係を式で表すことができるようにするために、変数と比例定数の意味の理解を深め、比例定数を求められるようにする。さらに、表中の  $x$ 、 $y$  の値やグラフ上の点の座標を式に代入するなどして比例定数  $a$  を求める活動や、 $y = \frac{a}{x}$  ( $xy = a$ ) の式に、 $x$ 、 $y$  の一方の値を代入して他方の値を求める活動を通して、式の有用性を実感させるとともに、技能の習熟を図る。
- ・ 反比例の理解を深めるために、表、式、グラフなどを相互に関連付けて考える活動を取り入れる。

## 4 結果と考察（４）理科

平成２７年度小学校学習状況調査 第４学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 区<br>分        | 内<br>容 | 評<br>価<br>規<br>準                                 | 通し<br>番号 | 観 点      |    |          |
|------------------|---------------|--------|--------------------------------------------------|----------|----------|----|----------|
|                  |               |        |                                                  |          | 思考<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第<br>３<br>学<br>年 | A<br>物質・エネルギー | (4)ア   | ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を，磁石を使って区別できる理由を考察し，表現している | (2)      | ○        |    |          |
|                  |               | (1)ア   | ・物の形を変える前と変えた後の重さを比較したときの，物の形と重さの関係について理解している。   | (3)      |          |    | ○        |
|                  | B<br>生命・地球    | (1)イ   | ・身近な昆虫の成長の順序を理解している。                             | (1)      |          |    | ○        |
|                  |               | (3)ア   | ・棒の影の位置の変化と太陽の動きを関係付けて考え，表現している。                 | (4)      | ○        |    |          |
|                  |               | (3)ア   | ・方位磁針を適切に使って，太陽の方位を観察している。                       | (5)      |          | ○  |          |
| 第<br>４<br>学<br>年 | A<br>物質・エネルギー | (3)ア   | ・回路に流れる電流を強くするために，電池を直列つなぎにして回路をつくっている。          | (10)     |          | ○  |          |
|                  |               | (3)イ   | ・光電池に当てる光の強さと，回路を流れる電流の強さを関係付けて考察し，表現している。       | (6)      | ○        |    |          |
|                  | B<br>生命・地球    | (1)イ   | ・体を動かすための関節があることを理解している。                         | (11)     |          |    | ○        |
|                  |               | (1)イ   | ・体を動かすための筋肉の動きを理解している。                           | (12)     |          |    | ○        |
|                  |               | (3)ア   | ・１日の気温の変化のグラフから考察し，その日の天気を判断している。                | (7)      | ○        |    |          |
|                  |               | (4)ア   | ・満月が出る方位を理解している。                                 | (9)      |          |    | ○        |
|                  |               | (4)ア   | ・半月が動く方向を理解している。                                 | (8)      |          |    | ○        |

小学校 4 年 理科 小問別通過率と設定通過率

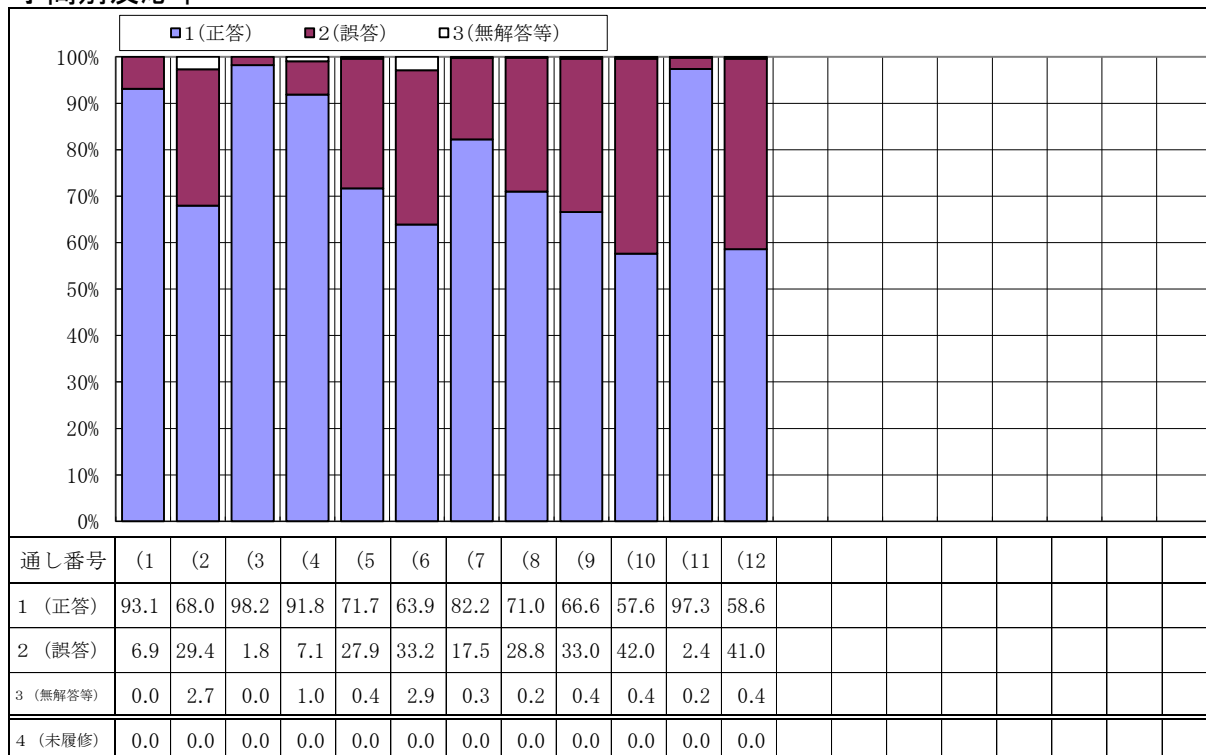
平均通過率 76.7%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容     | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|-------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | 昆虫の育ち方      | 93.1%      | 80.0%             |         |
| ( 2 )    | 磁石の性質       | 68.0%      | 70.0%             |         |
| ( 3 )    | 物と重さ        | 98.2%      | 85.0%             |         |
| ( 4 )    | 太陽の動き       | 91.8%      | 75.0%             |         |
| ( 5 )    | 方位磁針の使い方    | 71.7%      | 70.0%             |         |
| ( 6 )    | 光電池の働き      | 63.9%      | 70.0%             |         |
| ( 7 )    | 天気と1日の気温の変化 | 82.2%      | 75.0%             |         |
| ( 8 )    | 月の動き        | 71.0%      | 70.0%             |         |
| ( 9 )    | 月の出る方位      | 66.6%      | 75.0%             |         |
| ( 1 0 )  | 電気の働き       | 57.6%      | 60.0%             |         |
| ( 1 1 )  | 関節の働き       | 97.3%      | 90.0%             |         |
| ( 1 2 )  | 筋肉の動き       | 58.6%      | 70.0%             |         |

※—— は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 4年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----------|
| 100%    | 79  | 11  | 138 | 71  | 24  | 24  | 33  | 20  | 11  | 15   | 121  | 17   | 3         |
| 90～100% | 88  | 14  | 70  | 92  | 23  | 14  | 48  | 22  | 7   | 11   | 83   | 11   | 21        |
| 80～90%  | 35  | 48  | 2   | 27  | 43  | 28  | 61  | 50  | 38  | 26   | 8    | 26   | 83        |
| 70～80%  | 7   | 53  |     | 15  | 48  | 33  | 36  | 35  | 46  | 27   |      | 34   | 67        |
| 60～70%  | 2   | 38  | 1   | 4   | 35  | 44  | 21  | 41  | 51  | 34   |      | 35   | 30        |
| 50～60%  |     | 19  |     | 1   | 18  | 33  | 9   | 23  | 33  | 39   |      | 33   | 6         |
| 40～50%  |     | 16  |     |     | 14  | 20  | 1   | 10  | 17  | 22   |      | 26   | 1         |
| 30～40%  |     | 10  |     | 1   | 4   | 8   | 2   | 7   | 5   | 19   |      | 15   |           |
| 20～30%  |     | 2   |     |     | 2   | 4   |     | 2   | 2   | 13   |      | 6    |           |
| 10～20%  |     |     |     |     |     | 3   |     |     | 1   | 4    |      | 4    |           |
| 0～10%   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 2   | 1   | 2    |      | 5    | 1         |



# 小学校 4 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別     |     |       | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-----------|-----|-------|-----------|-------|----|
|              | 科学的な思考・表現 | 技 能 | 知識・理解 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10% より高い    | 1         | 0   | 2     | 1         | 2     | 3  |
| ±10% の範囲内    | 3         | 2   | 3     | 3         | 5     | 8  |
| -10% より低い    | 0         | 0   | 1     | 0         | 1     | 1  |
| 計            | 4         | 2   | 6     | 4         | 8     | 12 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①12問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②電気の働きに関する設問（6、10の通過率の平均は60.8であり、他の設問に比べて低く、指導の改善を図る必要がある。

### (2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、7問中6問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。特に、昨年度の課題であった方位磁針の操作に関する設問の通過率は、昨年度より7.2ポイント上昇し、71.7であった。
- ②観点が「知識・理解」の設問は、通過率の平均が80.8であり、他の観点到比べて高く、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①回路に流れる電流を強くするための電池のつなぎ方を図示する設問(10の通過率は57.6であることから、回路の製作に関する技能については一層の定着を図る必要がある。
- ②過年度出題の類似問題（6「光電池の働き」の通過率は63.9であり、一昨年度よりは8.2ポイント上昇しているものの、昨年度よりは1.0ポイント下降している。光電池に当てる光の強さと回路を流れる電流の強さを関連付けて予想したり、考察したりする学習活動を充実させる必要がある。

## 3 今後の指導

予想や仮説を立てることで問題解決の見通しをもたせるとともに、一人一人が観察・実験に取り組むことができるよう、指導の手立てを工夫する。

### 〔参考 通し番号（10）〕

たかしさんは、図1のように、かん電池1個とモーターを使って電気のはたらきで走る車をつくったところ、矢印の向きに車が走り出しました。そこで、同じ向きにもっと速く走らせたいと思い、かん電池2個をつなげようと考えました。かん電池2個とモーターを、どう線でどのようにつなぐとよいですか。車の走る向きを考え、図2に線でかきなさい。

図1

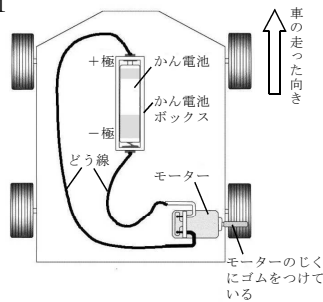
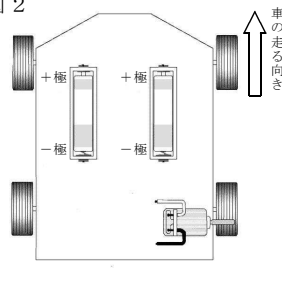


図2



- ・問題に対する予想や仮説を立てる際には、回路図をかかせるなどして電流の流れを意識させ、見通しをもたせるようにする。
- ・実験で用いる用具等については、自作の教材を効果的に利用するなどして、できるだけ個別実験ができる数を準備し、児童が自分の予想や仮説を検証できるようにする。
- ・車が走る速さについては、第3学年で身に付けた問題解決の能力である「比較して調べる」ことを踏まえ、乾電池1個のときのモーターの回る速さを基準として比較させるようにする。また、検流計を用いることで電流の強さを定量的に捉えさせ、理解が深まるようにする。
- ・車が走る向きに関してつまずきが見られる場合には、乾電池やモーター等を用いて車の回路と同じものを別に作らせた上で、モーターの回転の向きが見やすいようにモーターにプロペラを取り付けるなどして確かめさせるようにする。
- ・回路の製作についてのパフォーマンステストを行い、技能の定着を確認する場を設ける。
- ・単元の終末には、乾電池のつなぎ方の工夫を取り入れたものづくり等を取り入れ、実感を伴った理解を促すようにする。

平成 27 年度小学校学習状況調査 第 5 学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 区<br>分                                    | 内<br>容 | 評<br>価<br>規<br>準                           | 通し<br>番号 | 観 点      |    |          |
|------------------|-------------------------------------------|--------|--------------------------------------------|----------|----------|----|----------|
|                  |                                           |        |                                            |          | 思考<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第<br>4<br>学<br>年 | A<br>物<br>質<br>・<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー | (2)ウ   | ・水を熱したときの温度変化の様子を、測定した結果を基にしてグラフで表している。    | (1)      |          | ○  |          |
|                  |                                           | (2)ア   | ・水は温度によって体積が変化することを考察し、表現している。             | (2)      | ○        |    |          |
|                  |                                           | (2)ア   | ・金属の温度による体積変化を他の事象へ適用し、考えを表現している。          | (3)      | ○        |    |          |
|                  |                                           | (1)イ   | ・閉じ込めた水は押し縮められないことを理解している。                 | (4)      |          |    | ○        |
|                  |                                           | (1)ア   | ・閉じ込めた空気の体積変化を押し返す力と関係付けて考察し、表現している。       | (5)      | ○        |    |          |
|                  |                                           | (2)イ   | ・温度計の適切な操作について理解し、温度を調べる技能を身に付けている。        | (6)      |          | ○  |          |
|                  |                                           | (2)イ   | ・空気の温まり方について、実験結果を基にして考え、仮説を修正し、表現している。    | (7)      | ○        |    |          |
|                  | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                | (2)イ   | ・身近な植物の成長の変化と気温の変化を関係付けて考え、表現している。         | (8)      | ○        |    |          |
|                  |                                           | (4)ウ   | ・方位磁針を適切に操作し、星の方位を観察している。                  | (9)      |          | ○  |          |
|                  |                                           | (4)ウ   | ・星座早見を適切に操作し、星の集まりを観察している。                 | (10)     |          | ○  |          |
| 第<br>5<br>学<br>年 | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                | (4)ア   | ・天気の見分け方は、雲量によって決まることを理解している。              | (11)     |          |    | ○        |
|                  |                                           | (4)イ   | ・日本各地の気象情報と雲の様子を関連付けて考え、表現している。            | (12)     | ○        |    |          |
|                  |                                           | (4)イ   | ・台風による天気の変化の様子を理解している。                     | (13)     |          |    | ○        |
|                  |                                           | (4)イ   | ・台風が発生してから日本に近づくまでの進み方について理解している。          | (14)     |          |    | ○        |
|                  |                                           | (1)イ   | ・植物の発芽の条件を捉えるための実験計画を改善し、表現している。           | (15)     | ○        |    |          |
|                  |                                           | (1)ウ   | ・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画している。              | (16)     | ○        |    |          |
|                  |                                           | (2)ア   | ・ヒメダカの体の形の特徴を基にして、雌雄の区別がつくことを理解している。       | (17)     |          |    | ○        |
|                  |                                           | (2)イ   | ・顕微鏡の適切な操作について理解し、水中の小さな生物を観察する技能を身に付けている。 | (18)     |          | ○  |          |
|                  |                                           | (1)エ   | ・植物は受粉すると結実し、実の中に種子ができて命をつなぐことを理解している。     | (19)     |          |    | ○        |
|                  |                                           | (1)エ   | ・受粉と結実の関係を調べる実験計画を改善し、表現している。              | (20)     | ○        |    |          |

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

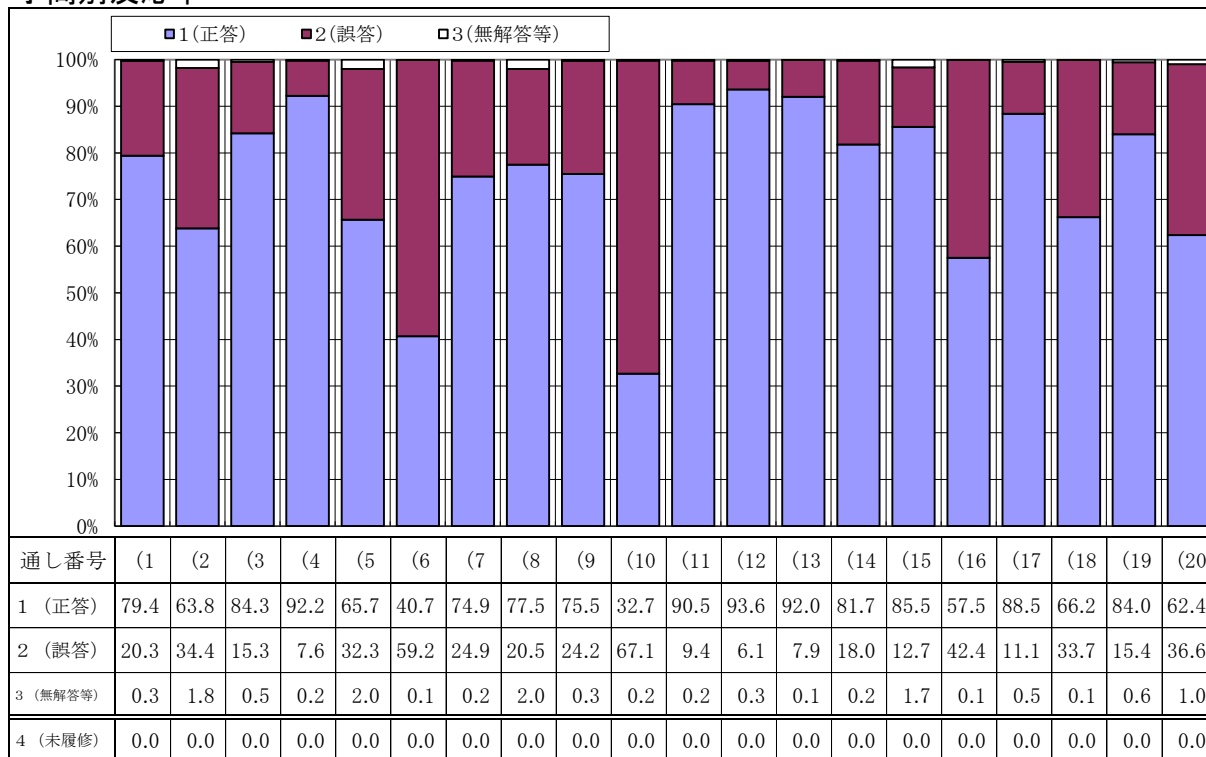
平均通過率 74.4%

| 通し<br>番号 | 出題内容                    | 通過率<br>(%) | 設定<br>通過率<br>(%) | 0%100% |
|----------|-------------------------|------------|------------------|--------|
| (1)      | 水を熱したときの温度変化を表すグラフの作成   | 79.4%      | 70.0%            |        |
| (2)      | 水の温度による体積変化             | 63.8%      | 60.0%            |        |
| (3)      | 金属の温度による体積変化            | 84.3%      | 90.0%            |        |
| (4)      | 力を加えたときの閉じ込めた水の体積       | 92.2%      | 90.0%            |        |
| (5)      | 閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係     | 65.7%      | 70.0%            |        |
| (6)      | 部屋の空気の温度の測り方            | 40.7%      | 70.0%            |        |
| (7)      | 空気の温まり方                 | 74.9%      | 60.0%            |        |
| (8)      | 植物の成長と温度の関係             | 77.5%      | 75.0%            |        |
| (9)      | 方位磁針の使い方                | 75.5%      | 75.0%            |        |
| (10)     | 星座早見の使い方                | 32.7%      | 70.0%            |        |
| (11)     | 天気と雲量                   | 90.5%      | 80.0%            |        |
| (12)     | 天気の変化                   | 93.6%      | 80.0%            |        |
| (13)     | 台風の雨と風                  | 92.0%      | 90.0%            |        |
| (14)     | 台風の進み方                  | 81.7%      | 75.0%            |        |
| (15)     | インゲンマメの発芽と水             | 85.5%      | 80.0%            |        |
| (16)     | インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画 | 57.5%      | 65.0%            |        |
| (17)     | ヒメダカの雌雄の区別              | 88.5%      | 75.0%            |        |
| (18)     | 顕微鏡の使い方                 | 66.2%      | 70.0%            |        |
| (19)     | 受粉と結実                   | 84.0%      | 75.0%            |        |
| (20)     | 受粉と結実を調べる実験計画           | 62.4%      | 60.0%            |        |

※「——」は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 5年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 20  | 7   | 41  | 61  | 15  | 5   | 13  | 27  | 20  | 4    | 45   | 58   | 40   | 21   | 38   | 4    | 43   | 18   | 45   | 9    | 1     |
| 90～100% | 33  | 10  | 60  | 97  | 11  | 2   | 10  | 45  | 17  | 4    | 83   | 114  | 109  | 29   | 57   | 4    | 63   | 15   | 71   | 11   | 7     |
| 80～90%  | 62  | 27  | 54  | 41  | 29  | 9   | 64  | 57  | 68  | 5    | 69   | 36   | 52   | 84   | 69   | 21   | 84   | 36   | 59   | 31   | 58    |
| 70～80%  | 59  | 49  | 33  | 10  | 43  | 11  | 67  | 31  | 44  | 13   | 9    | 3    | 8    | 54   | 26   | 37   | 18   | 30   | 15   | 45   | 105   |
| 60～70%  | 31  | 48  | 15  | 1   | 44  | 12  | 39  | 15  | 35  | 9    | 4    |      | 1    | 19   | 11   | 42   | 3    | 43   | 4    | 36   | 35    |
| 50～60%  | 5   | 38  | 5   | 1   | 34  | 30  | 14  | 17  | 21  | 17   | 1    |      |      | 3    | 9    | 44   | 1    | 32   | 10   | 31   | 6     |
| 40～50%  | 1   | 26  | 3   |     | 22  | 35  | 4   | 11  | 3   | 17   | 1    | 1    | 1    | 1    | 1    | 26   |      | 23   |      | 26   |       |
| 30～40%  |     | 5   | 1   | 1   | 9   | 42  |     | 8   | 3   | 30   |      |      |      |      | 1    | 19   |      | 8    | 2    | 11   |       |
| 20～30%  | 1   | 2   |     |     | 4   | 48  | 1   | 1   |     | 47   |      |      | 1    | 1    |      | 10   |      | 7    | 2    | 9    |       |
| 10～20%  |     |     |     |     | 1   | 15  |     |     |     | 51   |      |      |      |      |      | 2    |      |      | 2    | 2    |       |
| 0～10%   |     |     |     |     |     | 3   |     |     | 1   | 15   |      |      |      |      |      | 3    |      |      | 2    | 1    |       |

# 小学校 5 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別     |     |       | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-----------|-----|-------|-----------|-------|----|
|              | 科学的な思考・表現 | 技 能 | 知識・理解 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10% より高い    | 2         | 0   | 2     | 1         | 3     | 4  |
| ±10% の範囲内    | 7         | 3   | 4     | 5         | 9     | 14 |
| -10% より低い    | 0         | 2   | 0     | 1         | 1     | 2  |
| 計            | 9         | 5   | 6     | 7         | 13    | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観察・実験に用いる器具を正しく操作したり、条件に着目して観察・実験の計画を立てたりする設問の通過率の平均は43.6と低く、指導の改善を一層図る必要がある。

### (2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、8問中6問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②観点が「知識・理解」の設問は、通過率の平均が88.2であり、他の観点に比べて高く、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

- ①温度計や星座早見の基本操作に関する技能については、一層の定着を図る必要がある。
- ②通し番号(16「インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画」のように、条件に着目して観察・実験の計画を立てる設問の通過率が低い。自分の予想に基づき、見通しをもって計画を立案させるための手立ての工夫が必要である。

## 3 今後の指導

予想や仮説を基に、条件を制御した実験の計画を立案させるための手立てを工夫する。

### 【参考 通し番号(16)】

緑さんは、インゲンマメが大きく成長するためには肥料が必要だと考えました。この考えは、与える水の量を同じにした上で、肥料と日光についてどのような条件で育てたものを比べると確かめることができますか。正しい組み合わせを、次のア～エから1つ選んで  の中に記号を書きなさい。

|    |       |      |    |      |       |    |      |       |    |      |      |
|----|-------|------|----|------|-------|----|------|-------|----|------|------|
| ア  |       |      | イ  |      |       | ウ  |      |       | エ  |      |      |
|    |       |      |    |      |       |    |      |       |    |      |      |
| 肥料 | あたえない | あたえる | 肥料 | あたえる | あたえない | 肥料 | あたえる | あたえない | 肥料 | あたえる | あたえる |
| 日光 | 当てる   | 当てない | 日光 | 当てる  | 当てない  | 日光 | 当てる  | 当てない  | 日光 | 当てる  | 当てない |

ダンボールのはこをかぶせる

- ・子どもの予想や仮説を検証するための実験を計画させる際には、「・・・のような観察・実験をすれば、～となるだろう」のように観察・実験の結果についての見通しをもたせつつ、条件を制御した計画が立案できるようにする。
- ・予想や仮説と照らし合わせながら、観察・実験の条件や結果を表に整理する活動などを取り入れ、考えを整理したり、観察・実験の条件の意味を捉えやすくしたりする。

観察・実験器具の基本操作についての意味を捉えさせ、目的に応じて適切な扱い方ができるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・空気の温度を温度計で測定させる際には、一人一人が実際に操作する場面を学習過程に位置付け、測定するときの留意点や目盛りの正しい読み方について繰り返し指導する。
- ・星座早見による観察を家庭で行わせる際には、方位についての空間的な認識と星座早見の基本操作を押さえた上で、観察する星座等が見られる方向や高さについてあらかじめ全員で確認して見通しをもたせるなど、観察に対する意欲を高めるとともに、星座早見の有効性を実感できるようにする。

平成 27 年度小学校学習状況調査 第 6 学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 区<br>分 | 内<br>容      | 評<br>価<br>規<br>準                                 | 通し<br>番号 | 観 点      |    |          |
|------------------|--------|-------------|--------------------------------------------------|----------|----------|----|----------|
|                  |        |             |                                                  |          | 思考<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第<br>5<br>学<br>年 | B      | (3)ア        | ・ 流れる水には、土地を侵食する働きがあることを理解している。                  | (1       |          |    | ○        |
|                  |        | (3)ウ        | ・ 川の曲がっている部分の外側と内側での侵食の違いを捉えるための実験計画を改善し、表現している。 | (2       | ○        |    |          |
|                  |        | (2)ウ        | ・ 胎児は母体内で少しずつ成長してからだができていくことを理解している。             | (5       |          |    | ○        |
|                  |        | (2)ウ        | ・ 胎児は母体内でへその緒を通して養分をもらって成長することを理解している。           | (6       |          |    | ○        |
|                  |        | (2)イ        | ・ 顕微鏡の適切な操作について理解し、水中の小さな生物を観察する技能を身に付けている。      | (7       |          | ○  |          |
|                  | A      | (2)ア        | ・ 実験で得られたデータを基に、振り子の 1 往復する時間の求め方を身に付けている。       | (3       |          | ○  |          |
|                  |        | (2)ア        | ・ 振り子の運動の規則性を他の事象へ適用し、考えを表現している。                 | (4       | ○        |    |          |
|                  |        | (1)イ        | ・ 物が水に溶ける量を、水の温度や水の量と関係付けて考察している。                | (8       | ○        |    |          |
|                  |        | (3)ア        | ・ 電磁石には、磁石と同じように N 極と S 極があることを理解している。           | (9       |          |    | ○        |
|                  |        | (3)イ        | ・ 電磁石の働きを、電流の強さや導線の巻数と関係付けて考察している。               | (10      | ○        |    |          |
| 第<br>6<br>学<br>年 | A      | (1)ア        | ・ 物が燃えなくなった理由を、空気の入れ替わりと関係付けて推論し、表現している。         | (11      | ○        |    |          |
|                  |        | (1)ア        | ・ 気体検知管の正しい使い方を身に付けている。                          | (12      |          | ○  |          |
|                  | B      | (3)イ        | ・ 動物が他の生物を食べる理由を、養分の取り方と関連させて推論し、表現している。         | (13      | ○        |    |          |
|                  |        | (1)イ        | ・ だ液のでんぷんに対する働きを調べる実験の基本操作を身に付けている。              | (14      |          | ○  |          |
|                  |        | (1)イ        | ・ だ液のでんぷんに対する働きについて実験結果と関連させて考察し、表現している。         | (15      | ○        |    |          |
|                  |        | (1)エ        | ・ 小腸の名称と体内における位置を理解している。                         | (16      |          |    | ○        |
|                  |        | (1)ウ<br>※ 1 | ・ 植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画している。                   | (17      | ○        |    |          |
|                  |        | (2)イ        | ・ 植物の根から吸い上げられた水は、植物の体内の決まった通り道を通ることを理解している。     | (18      |          |    | ○        |
|                  |        | (4)ア<br>※ 2 | ・ 月の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている。                    | (19      |          | ○  |          |
|                  |        | (5)ア        | ・ 月の形の見え方は、太陽と月の位置関係によって変わることを考察し、表現している。        | (20      | ○        |    |          |

- ・ 領域の A は「物質・エネルギー」、B は「生命・地球」を示している。
- ・ 内容の※ 1 は第 5 学年 B 区分(1)ウ、※ 2 は第 4 学年 B 区分(4)アである。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

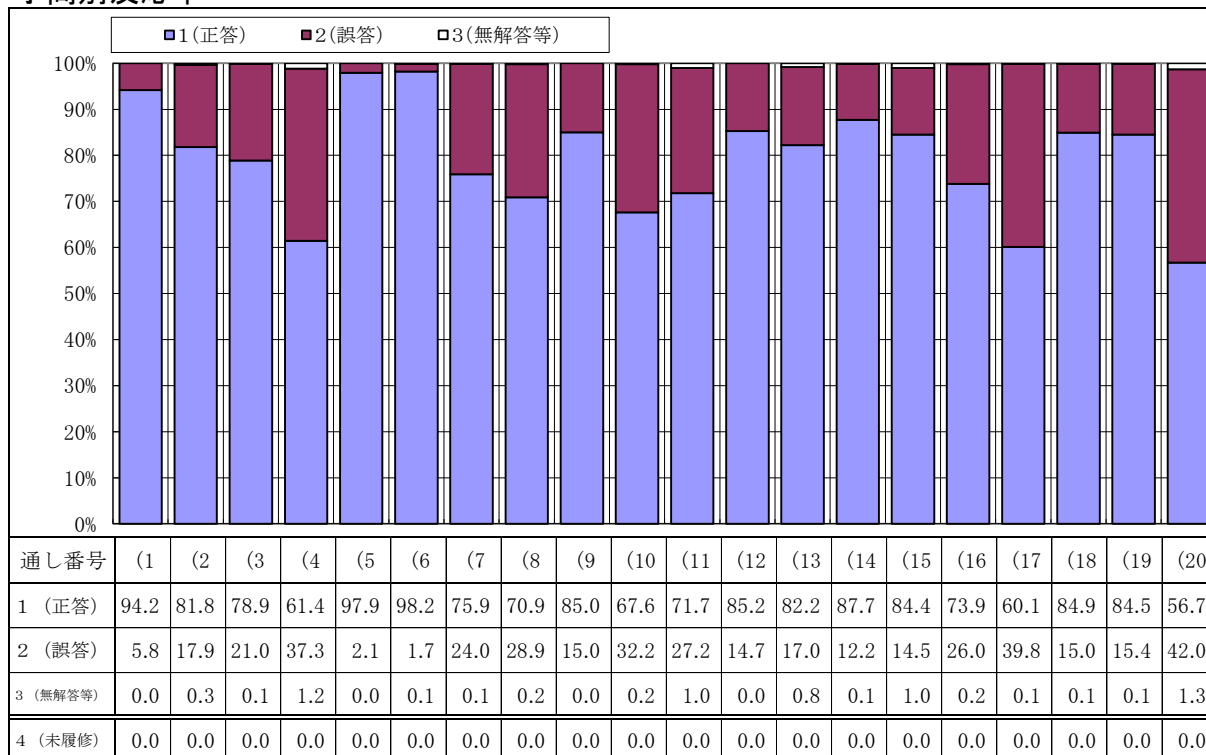
平均通過率 79.2%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容                  | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|--------------------------|------------|-------------------|---------|
| (1)      | 流れる水が地面をけずる働き            | 94.2%      | 85.0%             |         |
| (2)      | 流れる水の働きを調べる実験計画          | 81.8%      | 70.0%             |         |
| (3)      | 振り子の1往復する時間の求め方          | 78.9%      | 75.0%             |         |
| (4)      | 振り子の長さとおもちゃの動き           | 61.4%      | 65.0%             |         |
| (5)      | 人の発生                     | 97.9%      | 85.0%             |         |
| (6)      | 母体内での人の養分のとり方            | 98.2%      | 85.0%             |         |
| (7)      | 顕微鏡の使い方                  | 75.9%      | 75.0%             |         |
| (8)      | 物の溶け方の規則性                | 70.9%      | 60.0%             |         |
| (9)      | 電磁石の性質                   | 85.0%      | 80.0%             |         |
| (10)     | 電流の強さと導線の巻き数による電磁石の働きの違い | 67.6%      | 60.0%             |         |
| (11)     | 物の燃焼の仕組み                 | 71.7%      | 60.0%             |         |
| (12)     | 気体検知管の使い方                | 85.2%      | 80.0%             |         |
| (13)     | 生き物どうしのつながり              | 82.2%      | 75.0%             |         |
| (14)     | だ液が働く温度                  | 87.7%      | 80.0%             |         |
| (15)     | だ液の働き                    | 84.4%      | 70.0%             |         |
| (16)     | 養分を吸収する器官の位置と名前          | 73.9%      | 75.0%             |         |
| (17)     | インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画  | 60.1%      | 70.0%             |         |
| (18)     | 植物の水の通り道                 | 84.9%      | 75.0%             |         |
| (19)     | 月の動き方                    | 84.5%      | 70.0%             |         |
| (20)     | 月の形が日によって変わる理由           | 56.7%      | 60.0%             |         |

※ ―― は設定通過率の±10%を示している。

# 小学校 6年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (212校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 79  | 24  | 28  | 10  | 110 | 148 | 30  | 13  | 41  | 9    | 17   | 35   | 33   | 47   | 37   | 21   | 7    | 33   | 25   | 5    |       |
| 90～100% | 100 | 31  | 36  | 1   | 97  | 61  | 32  | 10  | 59  | 4    | 7    | 59   | 55   | 65   | 55   | 15   | 3    | 53   | 43   | 5    | 13    |
| 80～90%  | 32  | 75  | 65  | 20  | 4   | 3   | 41  | 44  | 62  | 25   | 59   | 73   | 61   | 61   | 66   | 55   | 14   | 83   | 94   | 20   | 114   |
| 70～80%  |     | 55  | 48  | 38  |     |     | 40  | 59  | 26  | 55   | 56   | 30   | 30   | 20   | 27   | 52   | 29   | 27   | 33   | 27   | 71    |
| 60～70%  | 1   | 22  | 20  | 64  | 1   |     | 28  | 62  | 18  | 68   | 42   | 13   | 23   | 13   | 16   | 42   | 60   | 13   | 14   | 48   | 13    |
| 50～60%  |     | 4   | 10  | 41  |     |     | 25  | 20  | 5   | 37   | 26   | 2    | 4    | 4    | 8    | 20   | 63   | 3    | 2    | 38   | 1     |
| 40～50%  |     | 1   | 4   | 29  |     |     | 11  | 4   | 1   | 8    | 3    |      | 4    | 1    | 3    | 5    | 21   |      | 1    | 24   |       |
| 30～40%  |     |     | 1   | 7   |     |     | 4   |     |     | 1    | 1    |      | 2    | 1    |      | 1    | 10   |      |      | 26   |       |
| 20～30%  |     |     |     | 1   |     |     | 1   |     |     | 3    | 1    |      |      |      |      | 1    | 5    |      |      | 14   |       |
| 10～20%  |     |     |     | 1   |     |     |     |     |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 4    |       |
| 0～10%   |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 2    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    |       |



# 小学校 6 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別     |     |       | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-----------|-----|-------|-----------|-------|----|
|              | 科学的な思考・表現 | 技 能 | 知識・理解 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10% より高い    | 4         | 1   | 2     | 2         | 5     | 7  |
| ±10% の範囲内    | 5         | 4   | 4     | 5         | 8     | 13 |
| -10% より低い    | 0         | 0   | 0     | 0         | 0     | 0  |
| 計            | 9         | 5   | 6     | 7         | 13    | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①出題した20問全てが設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は全体的に良好である。
- ②学習で得られた科学的な概念をものづくりに利用したり、条件に着目して観察・実験の計画を立てたり、複数の要因を捉えて考察したりする設問の通過率の平均は59.4と低く、指導の改善を一層図る必要がある。

### (2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、7問全てで通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②人の誕生に関する設問は、通過率の平均が98.1であり、学習内容が定着している。

### (3) 課題

- ①通し番号(4「振り子の長さとおもちゃの動き」のように、学習した科学的な概念をものづくりに利用して考える設問は通過率が低いことから、結論を導いた後に科学的な概念を活用して考えさせるための指導を一層充実させる必要がある。
- ②通し番号(20「月の形が日によって変わる理由」のように、複数の要因を総合的に捉えて考察し、表現する設問の通過率が低いことから、観察・実験の結果を考察する際に、結論を導くために必要な要因が明らかになるように発問を工夫し、要因に基づいて観察・実験の結果を分析し、表現する活動を充実させる必要がある。

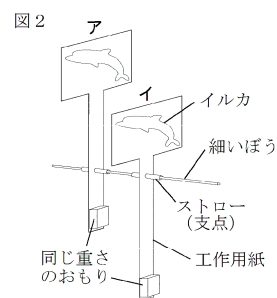
## 3 今後の指導

結論を導いた後に、学習で得られた科学的な概念を活用させる活動を工夫する。

- ・結論を得たところで学習を終えるのではなく、学習で得られた科学的な概念を利用したものづくりや体験活動を、単元の指導計画に意図的に位置付けるようにする。
- ・ものづくりや体験活動を行う際には、学習で得られた科学的な概念を想起させ、例えば「支点とおもりの間の長さを短くすれば、イルカは速く振れるだろう」などの見通しをもたせるようにする。

### [参考 通し番号 (4)]

- (2) 図2のようなふりこのおもちゃを作りました。  
ア、イのイルカのうち、1往復する時間が短いのはどちらですか。□の中に記号を書きなさい。  
また、そのように考えた理由を「支点」という言葉を使って□の中に書きなさい。



要因を明らかにして結論を導くことができるように、考察における手立てを工夫する。

- ・考察させる際には、要因が明らかになるように発問を工夫する。  
(例) T 「月の形の見え方を調べるモデル実験の結果から、何が違うことがわかりますか」  
C 「月への光の当たり方が違います」「月に対する太陽の位置が違います」  
T 「月の形の見え方が変わることは、月への光の当たり方と、月に対する太陽の位置に関係がありそうですね」
- ・見いだした要因に基づいて、観察・実験の結果を分析させ、それを根拠として考察させる。
- ・児童が導いた結論を班や全体で検討し、必要に応じて見直して改善する活動を設定する。

平成27年度中学校学習状況調査 第1学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年                          | 領<br>域<br>等           | 内<br>容      | 評<br>価<br>規<br>準                              | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点      |    |          |
|---------------------------------|-----------------------|-------------|-----------------------------------------------|------------------|----------|----|----------|
|                                 |                       |             |                                               |                  | 思考<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 小<br>学<br>校<br>第<br>6<br>学<br>年 | A<br>物質・エネルギー         | (4)ウ        | ・条件を制御しながら、太さの違う電熱線の発熱を比べる実験の方法を考えている。        | (1)              | ○        |    |          |
|                                 |                       | (4)ウ        | ・実験結果を基に、電熱線の太さと発熱の仕方を関係付けて考え、表現している。         | (2)              | ○        |    |          |
|                                 |                       | (4)エ        | ・身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。          | (3)              |          |    | ○        |
|                                 |                       | (2)イ        | ・水溶液には固体がとけているものと、気体がとけているものがあることを理解している。     | (4)              |          |    | ○        |
|                                 |                       | (2)ア        | ・酸性とアルカリ性の性質の水溶液を区別する方法を身に付けている。              | (5)              |          | ○  |          |
|                                 |                       | (3)イ        | ・作用点から支点までの距離を基に、てこがつり合うための条件を考え、表現している。      | (6)              | ○        |    |          |
|                                 |                       | (3)イ        | ・てこの規則性を基に、てこが水平につり合うときのおもりの重さを考え、求めることができる。  | (7)              | ○        |    |          |
|                                 | B<br>生命・地球            | (1)イ        | ・だ液のデンプンに対する働きについて実験結果と関連付けて推論し、表現している。       | (8)              | ○        |    |          |
|                                 |                       | (4)ア        | ・地層は各地点を連ねるように広がりをもって分布していることから、地層の様子を推測している。 | (9)              | ○        |    |          |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>1<br>学<br>年 | 化<br>学<br>的<br>領<br>域 | (2)ア<br>(イ) | ・気体の発生方法とその性質を理解している。                         | (10)             |          |    | ○        |
|                                 |                       | (2)ア<br>(イ) | ・気体の捕集法などの基本操作を身に付けている。                       | (11)             |          | ○  |          |
|                                 |                       | (2)ア<br>(ア) | ・物質の密度を表す方法を理解している。                           | (12)             |          |    | ○        |
|                                 |                       | (2)ウ<br>(イ) | ・エタノールの沸点を調べる実験を安全に行う技能を身に付けている。              | (13)             |          | ○  |          |
|                                 |                       | (2)ウ<br>(イ) | ・物質の状態が変化するときの温度の測定を行い、結果の整理の仕方を身に付けている。      | (14)             |          | ○  |          |
|                                 | 生<br>物<br>的<br>領<br>域 | (1)ウ<br>(ア) | ・同じ仲間分類される植物のからだのつくりの共通点を理解している。              | (15)             |          |    | ○        |
|                                 |                       | (1)ア<br>(ア) | ・顕微鏡を適切に操作して、観察する技能を身に付けている。                  | (16)             |          | ○  |          |
|                                 |                       | (1)イ<br>(イ) | ・植物の気孔のまわりの細胞を理解している。                         | (17)             |          |    | ○        |
|                                 |                       | (1)イ<br>(イ) | ・実験結果から、蒸散が行われる気孔のある場所と数について考察している。           | (18)             | ○        |    |          |
|                                 |                       | (1)イ<br>(イ) | ・植物の光合成によって作られた気体とその性質について理解している。             | (19)             |          |    | ○        |
|                                 |                       | (1)イ<br>(イ) | ・実験結果から、光合成に必要な条件について考察している。                  | (20)             | ○        |    |          |

中学校 1 年 理科 小問別通過率と設定通過率

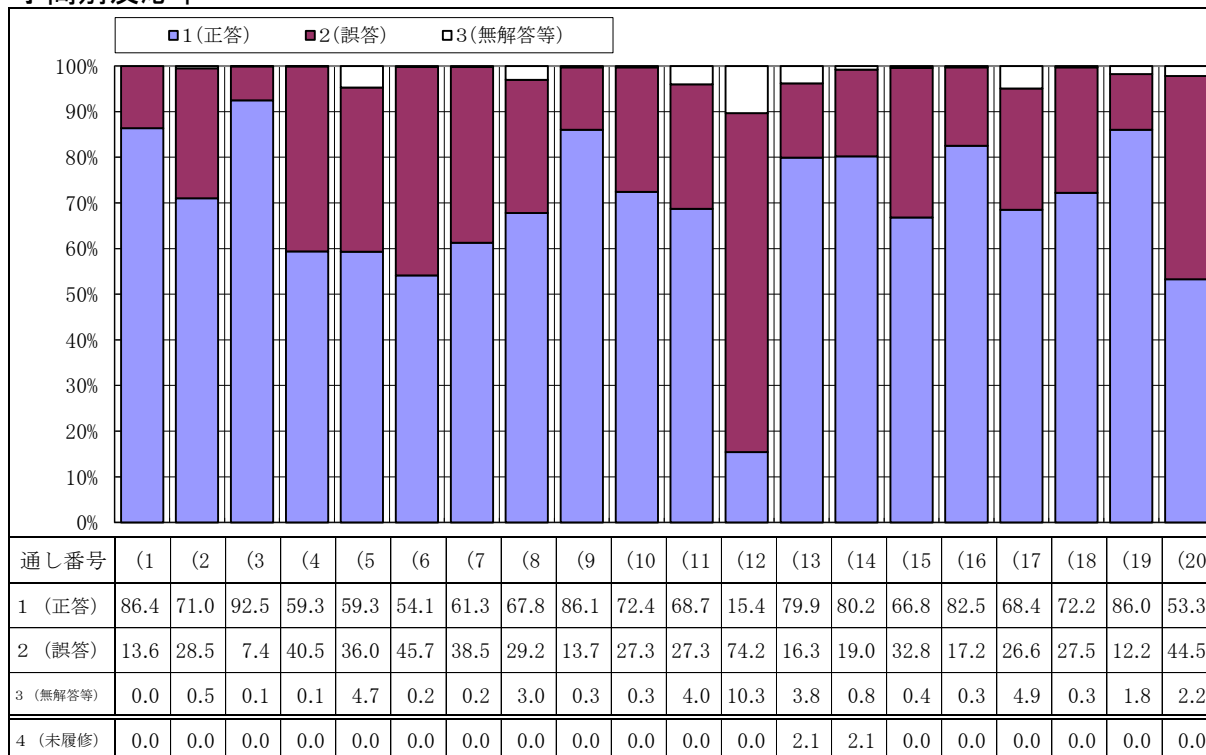
平均通過率 69.2%

| 通<br>し<br>番<br>号 | 出 題 内 容             | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|------------------|---------------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )            | 発熱の実験における条件制御       | 86.4%      | 75.0%             |         |
| ( 2 )            | 電熱線の発熱              | 71.0%      | 70.0%             |         |
| ( 3 )            | 電熱線を利用した器具          | 92.5%      | 85.0%             |         |
| ( 4 )            | 水溶液に溶けているもの         | 59.3%      | 65.0%             |         |
| ( 5 )            | 酸性の性質の調べ方           | 59.3%      | 60.0%             |         |
| ( 6 )            | てんびんのつり合い           | 54.1%      | 60.0%             |         |
| ( 7 )            | てこがつり合うきまり          | 61.3%      | 60.0%             |         |
| ( 8 )            | だ液の働き               | 67.8%      | 75.0%             |         |
| ( 9 )            | 地層の広がり              | 86.1%      | 85.0%             |         |
| ( 1 0 )          | 二酸化炭素の発生方法          | 72.4%      | 70.0%             |         |
| ( 1 1 )          | アンモニアの性質            | 68.7%      | 70.0%             |         |
| ( 1 2 )          | 密度の計算               | 15.4%      | 60.0%             |         |
| ( 1 3 )          | エタノールを湯煎で温める理由      | 79.9%      | 70.0%             |         |
| ( 1 4 )          | エタノールの温度変化を表すグラフの作成 | 80.2%      | 70.0%             |         |
| ( 1 5 )          | 葉脈と維管束の並び方の関連       | 66.8%      | 70.0%             |         |
| ( 1 6 )          | 顕微鏡の使い方             | 82.5%      | 80.0%             |         |
| ( 1 7 )          | 気孔のまわりの細胞           | 68.4%      | 75.0%             |         |
| ( 1 8 )          | 蒸散の働きと気孔の数との関係      | 72.2%      | 65.0%             |         |
| ( 1 9 )          | 光合成によって生成される物質      | 86.0%      | 80.0%             |         |
| ( 2 0 )          | 光合成に必要な条件           | 53.3%      | 60.0%             |         |

※  は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 1 年 理科

## 小問別反応率



※解答類型 1～3 に対する数値は、4 を除いた解答類型 1～3 の合計に対する割合。4 は全体に対する割合。

## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 6   | 4   | 22  | 1   | 1   |     |     | 3   | 10  | 3    | 1    |      | 6    | 10   | 1    | 4    | 3    | 2    | 10   |      |       |
| 90～100% | 33  | 9   | 68  |     |     |     |     | 7   | 30  | 5    | 6    |      | 30   | 29   | 3    | 17   | 2    | 1    | 32   |      |       |
| 80～90%  | 63  | 34  | 23  | 3   | 7   |     | 6   | 24  | 63  | 28   | 22   |      | 39   | 37   | 9    | 57   | 27   | 26   | 54   | 3    | 4     |
| 70～80%  | 13  | 24  | 4   | 15  | 20  | 8   | 25  | 27  | 13  | 37   | 33   |      | 12   | 22   | 32   | 29   | 28   | 51   | 17   | 8    | 59    |
| 60～70%  | 1   | 20  | 1   | 42  | 40  | 19  | 34  | 29  | 1   | 28   | 28   |      | 18   | 9    | 42   | 8    | 24   | 21   | 4    | 15   | 44    |
| 50～60%  | 1   | 18  |     | 40  | 26  | 62  | 31  | 17  | 1   | 13   | 13   | 1    | 7    | 4    | 23   | 2    | 17   | 11   | 1    | 48   | 8     |
| 40～50%  |     | 4   |     | 11  | 16  | 27  | 14  | 7   |     | 1    | 5    | 3    | 3    | 4    | 6    | 1    | 8    | 4    |      | 29   | 2     |
| 30～40%  |     | 4   |     | 4   | 6   | 1   | 5   | 2   |     | 1    | 7    | 6    | 1    | 2    | 2    |      | 9    | 1    |      | 11   | 1     |
| 20～30%  |     |     |     | 1   |     |     | 2   | 1   |     | 1    | 1    | 19   |      |      |      |      |      | 1    |      | 2    |       |
| 10～20%  |     | 1   |     |     | 1   |     |     |     |     |      |      | 57   |      |      |      |      |      |      |      | 1    |       |
| 0～10%   | 1   |     |     | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |     | 1    | 2    | 32   | 1    |      |      |      |      |      |      | 1    |       |

# 中学校 1 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別     |     |       | 内 容 区 分 別 ・ 領 域 別 |       |    |    | 計  |
|--------------|-----------|-----|-------|-------------------|-------|----|----|----|
|              | 科学的な思考・表現 | 技 能 | 知識・理解 | 物質・エネルギー          | 生命・地球 | 化学 | 生物 |    |
| +10% より高い    | 1         | 1   | 0     | 1                 | 0     | 1  | 0  | 2  |
| ±10% の範囲内    | 7         | 4   | 6     | 6                 | 2     | 3  | 6  | 17 |
| -10% より低い    | 0         | 0   | 1     | 0                 | 0     | 1  | 0  | 1  |
| 計            | 8         | 5   | 7     | 7                 | 2     | 5  | 6  | 20 |

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中19問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

①昨年度の課題として出題した設問については、8問中7問で通過率が上昇した。また、通過率の平均は昨年度よりも14.1ポイント上昇した72.7であり、指導の改善が図られている。

②観点が「思考・表現」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも5.2ポイント上昇した69.0であり、改善の傾向が見られる。

### (3) 課題

①密度等の基礎的・基本的な知識に関して、計算によって求めることに課題が見られる。

②観察・実験の結果を分析し解釈したことについて、問題解決の過程等を踏まえて説明するなどの活動を授業に取り入れるなど、指導の手立てを一層工夫する必要がある。

## 3 今後の指導

基礎的・基本的な知識・技能を適用して課題を解決する活動における手立てを工夫する。

- 身近な物体の密度の大きさを求めるなど、基礎的・基本的な知識・技能を適用して課題を解決する活動を設定する。また、計算の過程や結果について説明し合う活動を設定し、計算の意味についての理解が深まるようにする。
- 通し番号(12)において、密度は物質を区別するための手がかりの1つであることを押さえ、密度を求める必要性が理解できるようにする。その際、メスシリンダーや電子てんびんで読み取った値が意味することと密度の公式を関連付けて説明させたり、同じ体積の物体でも質量が異なることを体感させたりすることが大切である。

### 【参考 通し番号(12)】

100cm<sup>3</sup>用のメスシリンダーに50cm<sup>3</sup>の水を入れ、図1のように、電子てんびんにのせてから表示を0.0gにしました。次に、メスシリンダーの水の中に、水にとけない物体Xを入れました。このとき、メスシリンダーの中の水の表面は図2のようになり、電子てんびんは図3のように90.5gの値を示しました。物体Xの密度は何g/cm<sup>3</sup>ですか。計算の過程を書き、答えを四捨五入して小数第2位まで求めなさい。

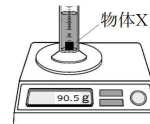
図1



図2



図3



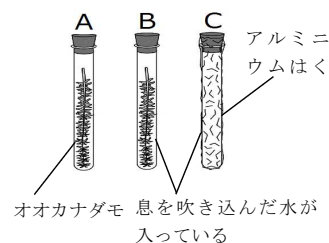
観察・実験の結果を分析し解釈したことについて、問題解決の過程等を踏まえて説明するなどの言語活動を充実させる。

- 観察・実験の結果を表やグラフを用いて整理させるとともに、観察・実験の条件に着目させて共通点や相違点を明確にできるようにする。また、問題解決の過程等を踏まえ、考察の視点や、論理的な思考に沿った話型等を示して考えさせたり、説明させたりする活動を設定する。
- 通し番号(20)において、光合成が行われるときの要因は複数考えられる。このような場合には、表を用いるなどして要因について1つずつ整理させた上で、これらを組み合わせて考えることができるようにする。また、考察させる際には、観察・実験の結果を根拠とさせた上で、観察・実験の目的や条件に関連させて表現できるようにすることが大切である。

### 【参考 通し番号(20)】

#### 【実験】

一度沸騰させてから、室温になるくらいまで冷ました水を3本の試験管A～Cに同量ずつ入れ、BとCにはストローで息を吹きこんでおく。次に、A～Cにオオカナダモをそれぞれ入れ、



Cだけは試験管のまわりをアルミニウムはくでおおい、3本とも日光が当たる場所に1時間ほど置く。その後、A～Cの試験管の中の水草をそれぞれ脱色し、ヨウ素液を加えて色の変化を調べる。

#### 【結果】

ヨウ素液の色が変化したのは、Bの水草だけだった。

- (2) この実験から、オオカナダモが光合成を行うためには、どのような条件が必要であることがわかりますか。2つ書きなさい。

平成27年度中学校学習状況調査 第2学年 理科 評価規準と評価の観点

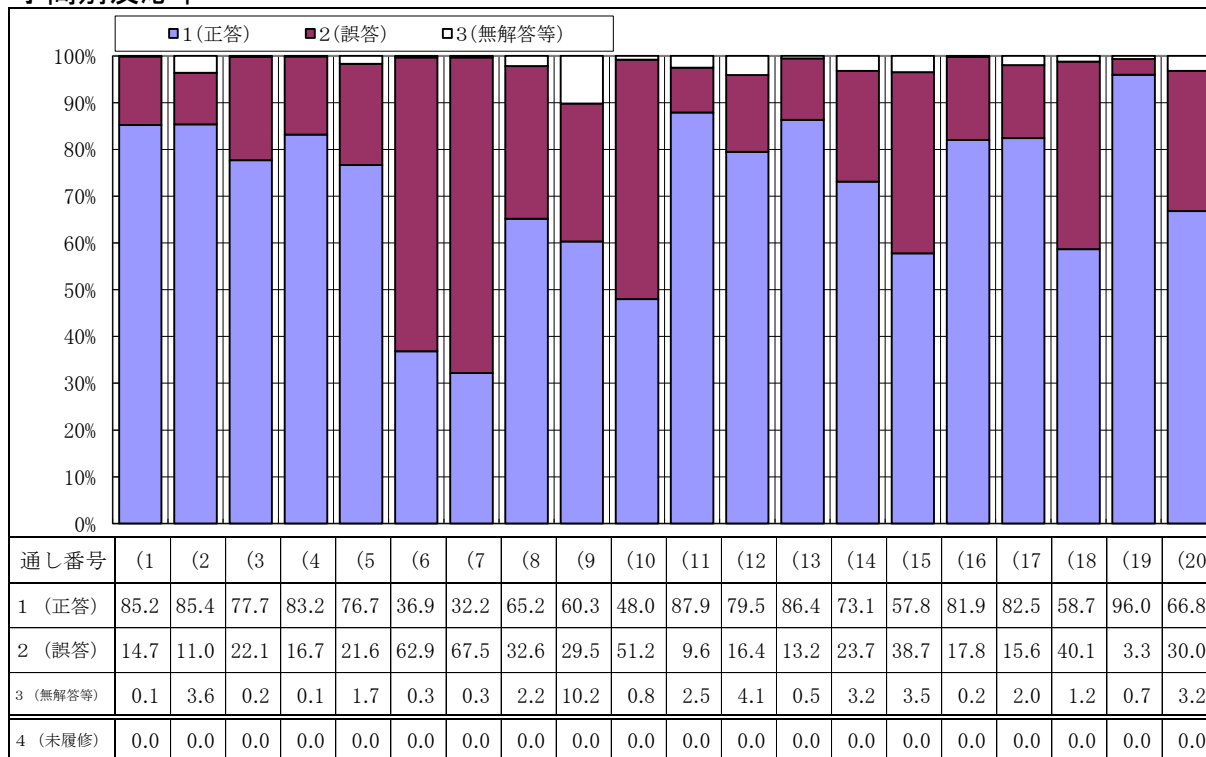
| 学<br>年           | 領<br>域                | 内<br>容      | 評<br>価<br>規<br>準                                      | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点      |    |          |
|------------------|-----------------------|-------------|-------------------------------------------------------|------------------|----------|----|----------|
|                  |                       |             |                                                       |                  | 思考<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |
| 第<br>1<br>学<br>年 | 地<br>学<br>的<br>領<br>域 | (2)ア<br>(ア) | ・火山灰を観察しやすくするために水洗いする操作を適切に行っている。                     | (1)              |          | ○  |          |
|                  |                       | (2)ア<br>(ア) | ・異なる火山灰を比較して観察した結果から、火山灰の中の鉱物とマグマの性質を関連付けて考察し、表現している。 | (2)              | ○        |    |          |
|                  |                       | (2)イ<br>(ア) | ・地層に見られる褶曲について、その成因と大地の変動を関連付けて理解している。                | (3)              |          |    | ○        |
|                  |                       | (2)ア<br>(イ) | ・初期微動継続時間について理解し、地震計の記録を示したグラフから読み取っている。              | (4)              |          |    | ○        |
|                  |                       | (2)ア<br>(イ) | ・地震計の記録から、初期微動継続時間の長さが震源からの距離に関係していることを見だし、表現している。    | (5)              | ○        |    |          |
|                  | 物<br>理<br>的<br>領<br>域 | (1)ア<br>(イ) | ・凸レンズによる実像の位置や大きさについて理解している。                          | (6)              |          |    | ○        |
|                  |                       | (1)ア<br>(イ) | ・物体を凸レンズと焦点の間に置き、凸レンズを通して物体を見ると拡大した虚像が見えることを理解している。   | (7)              |          |    | ○        |
|                  |                       | (1)ア<br>(ウ) | ・実験の結果を基に、音は物体の振動によって生じ、その振動が空気中を伝わることを考察し、表現している。    | (8)              | ○        |    |          |
|                  |                       | (1)イ<br>(ア) | ・ばねに加える力の大きさとばねののびの関係を見だし、ばねののびから力の大きさを推定している。        | (9)              | ○        |    |          |
|                  |                       | (1)イ<br>(イ) | ・圧力は単位面積あたりに働く力の大きさであること理解し、圧力の大きさを求めている。             | (10)             |          |    | ○        |
| 第<br>2<br>学<br>年 | 化<br>学<br>的<br>領<br>域 | (4)ウ<br>(ア) | ・物質同士の化学変化における質量保存の法則について理解している。                      | (11)             |          |    | ○        |
|                  |                       | (4)ウ<br>(ア) | ・実験の結果を基に、実験の方法について見直し、改善点を見いだしている。                   | (12)             | ○        |    |          |
|                  |                       | (4)ウ<br>(イ) | ・金属の粉末を完全に酸化させるための操作に留意しながら、適切に実験を行っている。              | (13)             |          | ○  |          |
|                  |                       | (4)ウ<br>(イ) | ・物質の酸化による質量変化を示した表を基に、実験結果を適切にグラフに表している。              | (14)             |          | ○  |          |
|                  |                       | (4)イ<br>(ア) | ・マグネシウムと酸素が結びつく化学変化を、化学反応式で表している。                     | (15)             |          |    | ○        |
|                  | 生<br>物<br>的<br>領<br>域 | (3)ア<br>(ア) | ・顕微鏡を適切に操作して、観察する技能を身に付けている。                          | (16)             |          | ○  |          |
|                  |                       | (3)ア<br>(ア) | ・動物細胞と植物細胞を観察して比較し、細胞のつくりの共通点と相違点について理解している。          | (17)             |          |    | ○        |
|                  |                       | (3)イ<br>(イ) | ・ヒトが外界の刺激を受け入れてから反応するまでの、信号が伝わる経路について考察し、表現している。      | (18)             | ○        |    |          |
|                  |                       | (3)エ<br>(ア) | ・呼吸の仕方が変わることにより、セキツイ動物が水中から陸上で生活できるように進化したことを理解している。  | (19)             |          |    | ○        |
|                  |                       | (3)エ<br>(ア) | ・セキツイ動物の進化について、現存する生物の卵の特徴の違いと関連付けて表現している。            | (20)             | ○        |    |          |

| 通<br>し<br>番<br>号 | 出 題 内 容                      | 通 過 率<br>(%) | 設 定<br>通 過 率<br>(%) | 0%100% |
|------------------|------------------------------|--------------|---------------------|--------|
| ( 1 )            | 火山灰の観察                       | 85.2%        | 80.0%               |        |
| ( 2 )            | マグマの粘性と無色鉱物の割合               | 85.4%        | 70.0%               |        |
| ( 3 )            | 褶曲のでき方                       | 77.7%        | 80.0%               |        |
| ( 4 )            | 初期微動継続時間の読み取り                | 83.2%        | 75.0%               |        |
| ( 5 )            | 震源からの距離と初期微動継続時間との関係         | 76.7%        | 70.0%               |        |
| ( 6 )            | 凸レンズによる実像の位置と大きさ             | 36.9%        | 60.0%               |        |
| ( 7 )            | 凸レンズによる虚像の見え方                | 32.2%        | 60.0%               |        |
| ( 8 )            | 空気中の音の伝わり方                   | 65.2%        | 70.0%               |        |
| ( 9 )            | ばねののびと力の大きさ                  | 60.3%        | 60.0%               |        |
| ( 1 0 )          | 圧力の求め方                       | 48.0%        | 60.0%               |        |
| ( 1 1 )          | 質量保存の法則についての理解               | 87.9%        | 75.0%               |        |
| ( 1 2 )          | 密閉系で行う実験の仕方                  | 79.5%        | 80.0%               |        |
| ( 1 3 )          | 金属の粉末を加熱する際の留意点              | 86.4%        | 85.0%               |        |
| ( 1 4 )          | 金属の質量と化合した酸素の質量との関係を表すグラフの作成 | 73.1%        | 65.0%               |        |
| ( 1 5 )          | マグネシウムが酸化する化学変化の化学反応式        | 57.8%        | 60.0%               |        |
| ( 1 6 )          | 顕微鏡の使い方                      | 81.9%        | 85.0%               |        |
| ( 1 7 )          | 植物細胞と動物細胞の共通点と相違点            | 82.5%        | 70.0%               |        |
| ( 1 8 )          | 反応の経路                        | 58.7%        | 60.0%               |        |
| ( 1 9 )          | セキツイ動物の進化と体のつくり              | 96.0%        | 80.0%               |        |
| ( 2 0 )          | 水中と陸上で育つ卵の違い                 | 66.8%        | 65.0%               |        |

※ は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 2年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

|         | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 20  | 4   | 4   | 4   | 1   |     |     | 1   |     | 2    | 10   | 3    | 9    | 8    |      | 3    | 5    |      | 38   | 5    |           |
| 90～100% | 40  | 33  | 19  | 22  | 16  |     |     | 3   | 1   |      | 58   | 15   | 34   | 14   | 4    | 15   | 29   | 1    | 68   | 9    |           |
| 80～90%  | 34  | 63  | 39  | 60  | 34  |     |     | 11  | 13  |      | 35   | 54   | 60   | 27   | 9    | 56   | 43   | 3    | 10   | 28   | 17        |
| 70～80%  | 13  | 15  | 37  | 26  | 49  |     |     | 31  | 15  | 2    | 11   | 37   | 12   | 30   | 23   | 38   | 32   | 18   |      | 20   | 54        |
| 60～70%  | 8   | 2   | 13  | 4   | 15  | 4   | 2   | 34  | 37  | 12   | 2    | 8    | 2    | 20   | 23   | 6    | 7    | 34   |      | 19   | 43        |
| 50～60%  | 2   | 1   | 5   | 2   | 3   | 16  | 10  | 24  | 34  | 33   | 1    |      |      | 11   | 28   |      | 1    | 32   | 2    | 15   | 3         |
| 40～50%  |     |     | 1   |     |     | 32  | 14  | 9   | 15  | 49   |      |      |      | 4    | 17   |      |      | 21   |      | 11   | 1         |
| 30～40%  |     |     |     |     |     | 45  | 41  | 5   | 2   | 17   | 1    |      |      | 1    | 11   |      | 1    | 7    |      | 8    |           |
| 20～30%  |     |     |     |     |     | 16  | 42  |     |     | 3    |      |      |      | 2    | 2    |      |      | 2    |      | 2    |           |
| 10～20%  |     |     |     |     |     | 4   | 8   |     |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |           |
| 0～10%   | 1   |     |     |     |     | 1   | 1   |     | 1   |      |      | 1    | 1    | 1    | 1    |      |      |      |      | 1    |           |



## 中学校 2 年 理科 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別    |     |       | 領 域 別 |    |    |    | 計  |
|--------------|----------|-----|-------|-------|----|----|----|----|
|              | 科学的思考・表現 | 技 能 | 知識・理解 | 物理    | 化学 | 生物 | 地学 |    |
| +10% より高い    | 1        | 0   | 3     | 0     | 1  | 2  | 1  | 4  |
| ±10% の範囲内    | 6        | 4   | 3     | 2     | 4  | 3  | 4  | 13 |
| -10% より低い    | 0        | 0   | 3     | 3     | 0  | 0  | 0  | 3  |
| 計            | 7        | 4   | 9     | 5     | 5  | 5  | 5  | 20 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

20問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」である。全体の通過率は71.1であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

#### (2) 成果

①昨年度の課題として出題した設問については、6問中5問で通過率が上昇した。また、通過率の平均は昨年度よりも21.0ポイント上昇した66.4であり、指導の改善が図られている。

②観点が「技能」の設問は、通過率の平均が81.7であり、他の観点到比べて高く、指導の改善が図られている。

#### (3) 課題

①観点が「知識・理解」の設問のうち、凸レンズによる実像及び虚像の見え方と、圧力の求め方に関する設問の通過率は、他の設問に比べて低い。生徒が主体的に観察・実験を行ったり、科学的な概念を使用して考えたり説明したりすることを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る必要がある。

②過年度出題の類似問題(15「マグネシウムが酸化する化学変化の化学反応式」)の通過率は57.8であり、昨年度より21.1ポイント上昇している。更に定着を図るためにも、化学変化を原子や分子のモデルと関係付けて理解させる必要がある。

### 3 今後の指導

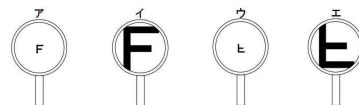
基礎的・基本的な知識・技能を、一人一人の生徒が主体的に観察・実験を行い、体験を通して身に付けられるよう、指導の手立てを工夫する。

- 凸レンズの学習の導入場面において、焦点よりも内側に置いた物体と、遠くにある物体を虫眼鏡を通して見る体験活動を設定し、それぞれの像の見え方に違いがあることについて疑問をもたせ、課題意識をもたせるようにする。
- 通し番号(7)において、物体(光源)を凸レンズと焦点の間に置いたときは、スクリーンに実像はできないことを確認した上で、「凸レンズを通して物体を見ると拡大した虚像が見えること」「虚像の向きは物体と同じ向きであること」の2つを生徒全員に体験させるようにする。その後、凸レンズの学習の導入場面で行った体験活動を想起させ、物体と凸レンズの間の距離と像の見え方の関係について関連付けて指導し、実感を伴った理解が図られるようにする。

#### 【参考 通し番号 (7)】

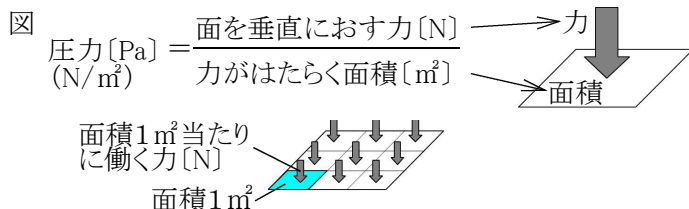


光源を、図の a の方向に動かして、凸レンズと焦点の位置の印の間に置くと、スクリーンに像がうつりませんでした。このとき、スクリーン側から凸レンズをのぞくと文字「F」の像が見えました。どのように像が見えましたか。次のア～エから1つ選んで、記号を書きなさい。

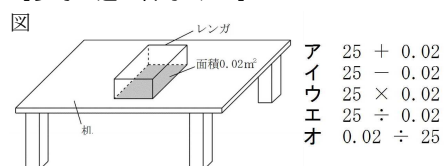


観察・実験の結果から分析し解釈したことを概念図等を使って考えたり、説明したりする学習活動を充実させる。

- 圧力の概念については、スポンジなどへの接触面積を変えて同じ力を加えたときのへこみ方の違いを調べた結果等と、下の図のような面積  $1 \text{ m}^2$  当りに働いている力の大きさを表す「力の大きさと面積」の概念図及び「力の大きさ÷面積」の求め方の意味をそれぞれ関連付けて指導することが必要である。



#### 【参考 通し番号 (10)】



図のようにして、質量2.5 kgの直方体のレンガを面積  $0.02 \text{ m}^2$  の面を下にして机の上に置いたとき、机がレンガの面から受ける圧力を計算して求めることにしました。このときの圧力の求め方として正しい式を、ア～オから1つ選んで、記号を書きなさい。ただし、100 g の物体にはたらく重力の大きさを1 Nとします。

- ア  $25 + 0.02$
- イ  $25 - 0.02$
- ウ  $25 \times 0.02$
- エ  $25 \div 0.02$
- オ  $0.02 \div 25$

## 4 結果と考察（５）英語

平成２７年度中学校学習状況調査 第１学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域           | 内<br>容   | 評 価 規 準            |                                      | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点    |        |                       |
|------------------|------------------|----------|--------------------|--------------------------------------|------------------|--------|--------|-----------------------|
|                  |                  |          |                    |                                      |                  | 表<br>現 | 理<br>解 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解 |
| 第<br>１<br>学<br>年 | 聞<br>く<br>こ<br>と | ア<br>(イ) | [正確な<br>聞き取り]      | ・ 短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。          | (1               |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(オ) | [適切な<br>聞き取り]      | ・ まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。    | (2 (3            |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(イ) | [正確な<br>聞き取り]      | ・ 会話を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。            | (4 (5            |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(ウ) | [適切な<br>聞き取り]      | ・ 質問を聞いて適切に応じることができる。                | (6 (7            |        | ○      |                       |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と | ウ<br>(ウ) | [正確な<br>読み取り]      | ・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。           | (8 (9<br>(10     |        | ○      |                       |
|                  |                  | ウ<br>(エ) | [適切な<br>読み取り]      | ・ 書かれた内容について大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。 | (11              |        | ○      |                       |
|                  |                  | ウ<br>(ウ) | [正確な<br>読み取り]      | ・ 話の流れを理解し、文章を的確に読み取ることができる。         | (12 (13          |        | ○      |                       |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と | エ<br>(イ) | [正確な筆記]            | ・ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して、正しく書くことができる。  | (14 (15<br>(16   | ○      |        |                       |
|                  |                  | エ<br>(ウ) | [適切な筆記]            | ・ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことができる。 | (17              | ○      |        |                       |
|                  |                  | エ<br>(イ) | [言語について<br>の知識・理解] | ・ 正しい語順を用いて文を構成する知識を身に付けている。         | (18 (19<br>(20   |        |        | ○                     |

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

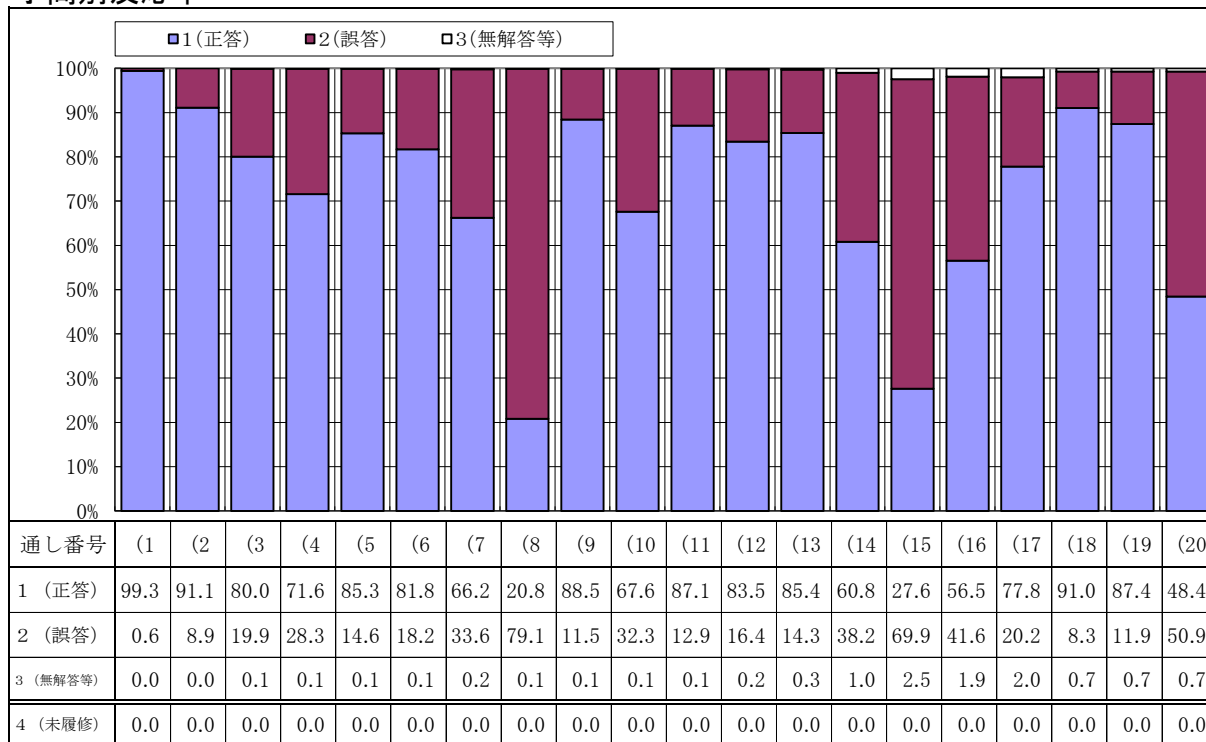
平均通過率 72.9%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容                       | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|-------------------------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | (聞) 持っている文房具の数の聞き取り           | 99.3%      | 90.0%             |         |
| ( 2 )    | (聞) 野球をする曜日の聞き取り              | 91.1%      | 85.0%             |         |
| ( 3 )    | (聞) 持っているCDの数の聞き取り            | 80.0%      | 75.0%             |         |
| ( 4 )    | (聞) 犬を飼っているかについての聞き取り         | 71.6%      | 65.0%             |         |
| ( 5 )    | (聞) 朝食で食べる物についての聞き取り          | 85.3%      | 80.0%             |         |
| ( 6 )    | (聞) 依頼への適切な応答                 | 81.8%      | 75.0%             |         |
| ( 7 )    | (聞) 買い物の場面における数をたずねる質問への適切な応答 | 66.2%      | 65.0%             |         |
| ( 8 )    | (読) 明日の時間割に関する会話の読み取り         | 20.8%      | 60.0%             |         |
| ( 9 )    | (読) 海外のホテルの案内の読み取り            | 88.5%      | 80.0%             |         |
| ( 1 0 )  | (読) はがきの内容の読み取り               | 67.6%      | 70.0%             |         |
| ( 1 1 )  | (読) メモの読み取り                   | 87.1%      | 80.0%             |         |
| ( 1 2 )  | (読) 適切な会話の構成                  | 83.5%      | 75.0%             |         |
| ( 1 3 )  | (読) 適切な会話の構成                  | 85.4%      | 80.0%             |         |
| ( 1 4 )  | (書) 三単現の s を用いた英文の作成          | 60.8%      | 60.0%             |         |
| ( 1 5 )  | (書) be動詞の疑問文                  | 27.6%      | 60.0%             |         |
| ( 1 6 )  | (書) 三人称の否定文                   | 56.5%      | 60.0%             |         |
| ( 1 7 )  | (書) メールの内容に関する質問              | 77.8%      | 70.0%             |         |
| ( 1 8 )  | (書) Let'sを含む文の構造              | 91.0%      | 80.0%             |         |
| ( 1 9 )  | (書) 形容詞と名詞を含む文の構造             | 87.4%      | 75.0%             |         |
| ( 2 0 )  | (書) be動詞の疑問文の構造               | 48.4%      | 60.0%             |         |

※ ―― は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 1 年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均<br>通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 100%    | 82  | 10  | 2   | 1   | 4   | 3   |     |     | 10  | 1    | 5    | 4    | 8    |      |      | 1    | 6    | 24   | 12   | 1    |           |
| 90～100% | 36  | 66  | 24  | 5   | 34  | 17  | 3   |     | 48  |      | 36   | 16   | 29   |      |      |      | 21   | 46   | 44   |      |           |
| 80～90%  |     | 32  | 55  | 31  | 53  | 53  | 10  |     | 53  | 12   | 61   | 65   | 59   | 18   |      | 16   | 37   | 41   | 45   | 2    | 21        |
| 70～80%  |     | 6   | 22  | 36  | 17  | 34  | 29  |     | 7   | 36   | 13   | 28   | 19   | 21   | 2    | 18   | 31   | 6    | 13   | 7    | 64        |
| 60～70%  |     | 3   | 13  | 25  | 8   | 8   | 42  | 1   |     | 47   | 2    | 4    | 2    | 24   | 4    | 22   | 14   |      | 4    | 16   | 32        |
| 50～60%  |     | 1   | 2   | 13  | 2   | 3   | 26  | 1   |     | 20   | 1    | 1    | 1    | 26   | 10   | 21   | 6    | 1    |      | 28   |           |
| 40～50%  |     |     |     | 4   |     |     | 7   | 8   |     | 1    |      |      |      | 18   | 6    | 15   | 2    |      |      | 25   | 1         |
| 30～40%  |     |     |     | 2   |     |     | 1   | 11  |     |      |      |      |      | 8    | 19   | 16   |      |      |      | 27   |           |
| 20～30%  |     |     |     | 1   |     |     |     | 38  |     |      |      |      |      | 2    | 35   | 6    |      |      |      | 8    |           |
| 10～20%  |     |     |     |     |     |     |     | 43  |     |      |      |      |      |      | 25   | 2    |      |      |      | 2    |           |
| 0～10%   |     |     |     |     |     |     |     | 16  |     | 1    |      |      |      | 1    | 17   | 1    | 1    |      |      | 2    |           |

## 中学校 1 年 英語 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |       |       | 領 域 別 |      |      | 計   |
|--------------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|
|              | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 | 聞くこと  | 読むこと | 書くこと |     |
| +10% より高い    | 0     | 0     | 2     | 0     | 0    | 2    | 2   |
| ±10% の範囲内    | 3     | 1 2   | 0     | 7     | 5    | 3    | 1 5 |
| -10% より低い    | 1     | 1     | 1     | 0     | 1    | 2    | 3   |
| 計            | 4     | 1 3   | 3     | 7     | 6    | 7    | 2 0 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

- ① 全設問の85%にあたる17問が、設定通過率より「+10%より高い」または「±10%の範囲内」である。
- ② 「表現の能力」については、「正確な筆記」に課題が見られる。

#### (2) 成果

- ① 経年比較している10問中9問において通過率が上昇している。特に「正確な聞き取り」の通過率が上昇している。
- ② 「聞くこと」についてはおおむね良好である。話された内容について正確に聞き取ったり、適切に応じたりすることに指導の成果が見られる。

#### (3) 課題

- ① 「書くこと」においては、特に、語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書く力が不十分である。
- ② 「書くこと」においては、特に会話や英文等の内容から読み取ったことを、文法事項 (be 動詞の疑問文や三人称単数現在形を用いた否定文) を活用しながら正しく書く問題について課題が見られる。文法事項の定着が不十分であることに加え、得た情報を発信に結び付ける力も不足している。

### 3 今後の指導

文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえた言語活動を推進する。

- ・ 文法事項について、言語の使用場面や働きに配慮し、実際にコミュニケーションを行う言語活動の中で活用させながら定着を図る。
- ・ be 動詞の疑問文を一般動詞の疑問文と比較したり、疑問文の構造をまとまりをもって整理したりして継続的に指導するとともに、書く活動の時間を十分に確保し確実な定着を図る。
- ・ 三人称単数現在形の文は、一人称、二人称との違いを理解させるために場面設定を工夫し、必然性のある言語活動を行う必要がある。友達や家族、ALT、尊敬する人の紹介など、生徒に身近な人物を取り上げるなどの場面設定に配慮するなど、指導を工夫する。

習得した言語材料をコミュニケーションに活用できる学習活動を推進する。

- ・ 言語材料を、実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して習得できるよう、言語使用の場面を多く設定する。
- ・ 習得した文法事項を実際のコミュニケーションの中で正しく用いることができるようにするために、「聞くこと」や「読むこと」を通して得た情報を「話すこと」や「書くこと」に結び付けた、4 技能の統合を図る言語活動を充実させる必要がある。
- ・ 文法の正確さを求めるだけでなく、場面や状況に合ったふさわしい表現を自ら考えたり、選択したりできるよう配慮して言語活動を行う。

#### ※実際の指導例：(15、16)

be 動詞と一般動詞の三人称単数現在形を区別しながら正しく用いて話したり書いたりできるように、思考・判断・表現させる言語活動を取り入れた指導例

- ① 写真などを見せながら、友達や家族、尊敬する人などについての紹介を行う。
- ② その内容について、be 動詞や一般動詞、疑問詞の疑問文などを用いて、質問したり答えたりしながら対話する。
- ③ 対話を通して分かったことを書いてまとめる。

#### 人物紹介(例)

(写真を見せながら)  
This is my sister Aki.  
She likes music.  
She is in the brass band.

#### 質問(例)

Is she a high school student?  
Is she a good singer?  
Does she play the piano?  
How old is she?  
What does she play in the brass band?

#### 対話を通して分かったこと(例)

This is Kana's sister Aki.  
She's a high school student.  
She likes music.  
She plays the piano well.  
She plays the clarinet in the brass band.

平成 27 年度中学校学習状況調査 第 2 学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域           | 内<br>容   | 評 価 規 準            |                                      | 通<br>し<br>番<br>号 | 観 点    |        |                       |
|------------------|------------------|----------|--------------------|--------------------------------------|------------------|--------|--------|-----------------------|
|                  |                  |          |                    |                                      |                  | 表<br>現 | 理<br>解 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解 |
| 第<br>2<br>学<br>年 | 聞<br>く<br>こ<br>と | ア<br>(イ) | [正確な<br>聞き取り]      | ・ 短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。          | (1               |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(イ) | [正確な<br>聞き取り]      | ・ 対話を聞いて情報を正確に聞き取ることができる。            | (2 (3            |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(オ) | [適切な<br>聞き取り]      | ・ まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。    | (4 (5            |        | ○      |                       |
|                  |                  | ア<br>(ウ) | [適切な<br>聞き取り]      | ・ 指示や質問を聞いて適切に応じることができる。             | (6 (7            |        | ○      |                       |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と | ウ<br>(ウ) | [正確な<br>読み取り]      | ・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。           | (8 (9            |        | ○      |                       |
|                  |                  | ウ<br>(エ) | [適切な<br>読み取り]      | ・ 書かれた内容について大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。 | (10 (11          |        | ○      |                       |
|                  |                  | ウ<br>(ウ) | [正確な<br>読み取り]      | ・ 話の流れを理解し文章を的確に読み取ることができる。          | (12 (13          |        | ○      |                       |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と | エ<br>(イ) | [正確な筆記]            | ・ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して、正しく書くことができる。  | (14 (15          | ○      |        |                       |
|                  |                  | エ<br>(オ) | [適切な筆記]            | ・ 自分の考えや事実などが読み手に正しく伝わるように書くことができる。  | (16 (17          | ○      |        |                       |
|                  |                  | エ<br>(イ) | [言語について<br>の知識・理解] | ・ 正しい語順を用いて文を構成する知識を身に付けている。         | (18 (19<br>(20   |        |        | ○                     |

中学校 2 年 英語 小問別通過率と設定通過率

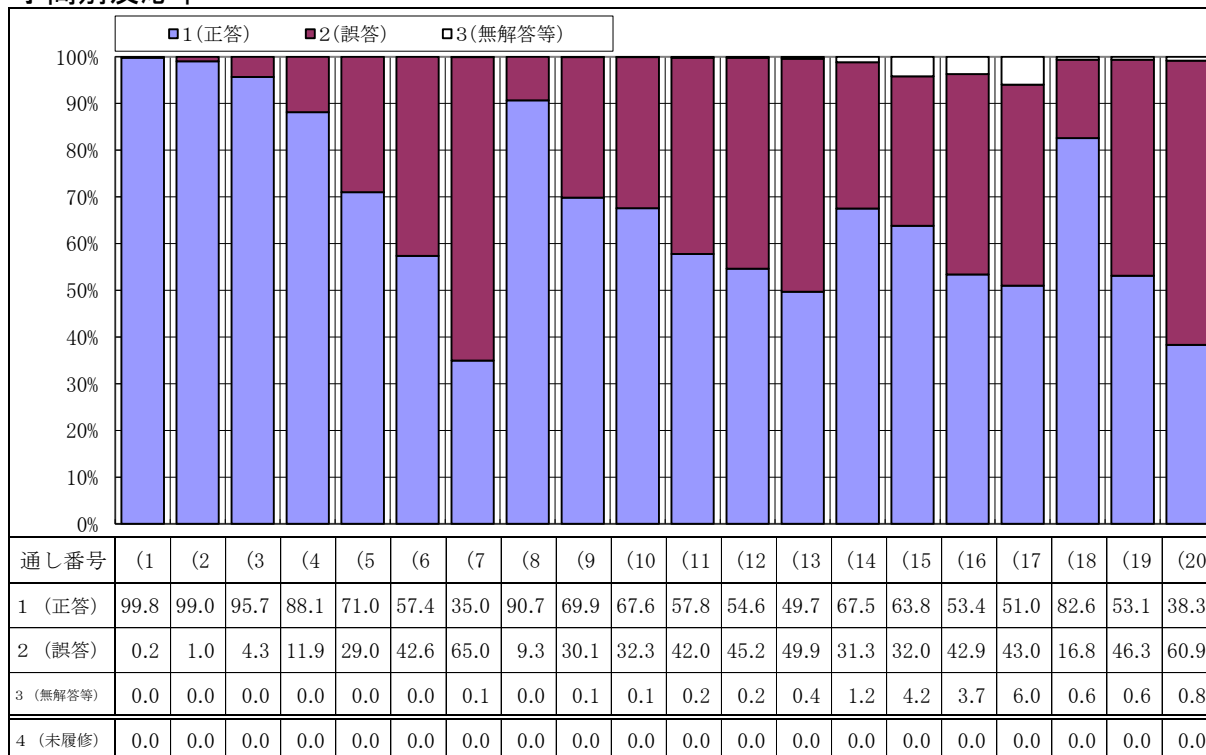
平均通過率 67.3%

| 通し<br>番号 | 出 題 内 容                 | 通過率<br>(%) | 設 定<br>通過率<br>(%) | 0% 100% |
|----------|-------------------------|------------|-------------------|---------|
| ( 1 )    | (聞) 持っている文房具の数の聞き取り     | 99.8%      | 95.0%             |         |
| ( 2 )    | (聞) 誕生日の聞き取り            | 99.0%      | 95.0%             |         |
| ( 3 )    | (聞) 曜日の聞き取り             | 95.7%      | 90.0%             |         |
| ( 4 )    | (聞) 明日の天気予報の聞き取り        | 88.1%      | 85.0%             |         |
| ( 5 )    | (聞) 話している内容についての聞き取り    | 71.0%      | 70.0%             |         |
| ( 6 )    | (聞) 指示への適切な応答           | 57.4%      | 60.0%             |         |
| ( 7 )    | (聞) 質問への適切な応答           | 35.0%      | 60.0%             |         |
| ( 8 )    | (読) 会話文の読み取り            | 90.7%      | 85.0%             |         |
| ( 9 )    | (読) 夏休みの思い出の読み取り        | 69.9%      | 65.0%             |         |
| ( 1 0 )  | (読) 広告の読み取り             | 67.6%      | 65.0%             |         |
| ( 1 1 )  | (読) メール文とその返信の読み取り      | 57.8%      | 60.0%             |         |
| ( 1 2 )  | (読) 適切な文章の構成            | 54.6%      | 60.0%             |         |
| ( 1 3 )  | (読) 適切な文章の構成            | 49.7%      | 60.0%             |         |
| ( 1 4 )  | (書) 三単現の s を用いた英文の作成    | 67.5%      | 70.0%             |         |
| ( 1 5 )  | (書) How long を用いた疑問文の作成 | 63.8%      | 60.0%             |         |
| ( 1 6 )  | (書) ふるさと秋田の紹介文の作成       | 53.4%      | 60.0%             |         |
| ( 1 7 )  | (書) 15語以上のまとまりのある英作文    | 51.0%      | 60.0%             |         |
| ( 1 8 )  | (書) 過去進行形を用いた文の構造       | 82.6%      | 80.0%             |         |
| ( 1 9 )  | (書) 不定詞の形容詞的用法を用いた文の構造  | 53.1%      | 60.0%             |         |
| ( 2 0 )  | (書) that 節を用いた文の構造      | 38.3%      | 60.0%             |         |

※ ―― は設定通過率の±10%を示している。

# 中学校 2年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

| 通し番号    | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | 平均通過率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%    | 101 | 69  | 22  | 6   | 4   | 1   |     | 12  | 1   | 1    |      |      | 1    | 2    | 2    |      | 1    | 8    | 1    |      |       |
| 90～100% | 17  | 49  | 89  | 47  | 3   |     | 1   | 56  | 3   | 4    | 1    | 1    |      | 7    | 3    | 2    | 1    | 39   | 6    |      |       |
| 80～90%  |     |     | 6   | 51  | 24  | 6   |     | 45  | 20  | 14   | 5    | 3    |      | 25   | 17   | 9    | 8    | 33   | 12   |      | 6     |
| 70～80%  |     |     |     | 13  | 32  | 9   | 1   | 4   | 40  | 27   | 13   | 12   | 9    | 21   | 24   | 11   | 18   | 28   | 13   | 5    | 41    |
| 60～70%  |     |     |     |     | 38  | 41  | 2   | 1   | 40  | 51   | 34   | 29   | 17   | 31   | 27   | 30   | 16   | 7    | 18   | 5    | 57    |
| 50～60%  |     |     | 1   | 1   | 15  | 32  | 12  |     | 11  | 20   | 45   | 37   | 33   | 19   | 23   | 18   | 26   | 2    | 19   | 14   | 13    |
| 40～50%  |     |     |     |     | 1   | 20  | 16  |     | 2   |      | 17   | 21   | 40   | 8    | 11   | 22   | 19   |      | 15   | 23   |       |
| 30～40%  |     |     |     |     |     | 6   | 44  |     |     |      | 1    | 13   | 12   | 3    | 7    | 20   | 14   |      | 20   | 37   |       |
| 20～30%  |     |     |     |     |     | 2   | 32  |     |     |      |      | 1    | 5    | 1    | 3    | 5    | 13   |      | 10   | 30   | 1     |
| 10～20%  |     |     |     |     |     |     | 9   |     |     |      | 1    | 1    | 1    |      |      |      | 1    |      | 4    | 2    |       |
| 0～10%   |     |     |     |     | 1   | 1   | 1   |     | 1   | 1    | 1    |      |      | 1    | 1    | 1    | 1    |      |      | 2    |       |



## 中学校 2 年 英語 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |       |       | 領 域 別 |      |      | 計   |
|--------------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|
|              | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 | 聞くこと  | 読むこと | 書くこと |     |
| +10% より高い    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0    | 0   |
| ±10% の範囲内    | 4     | 1 1   | 2     | 6     | 5    | 6    | 1 7 |
| -10% より低い    | 0     | 2     | 1     | 1     | 1    | 1    | 3   |
| 計            | 4     | 1 3   | 3     | 7     | 6    | 7    | 2 0 |

### 2 考察

#### (1) 全体について

- ①設問の85%にあたる17問が設定通過率の「±10%の範囲内」である。
- ②「理解の能力」については、相手の意向を正しく聞き取ることによって課題が見られる。
- ③「知識・理解」については、正しい語順で文を構成することによって課題が見られる。

#### (2) 成果

- ①経年比較している10問中7問において通過率が上昇している。また、設定通過率を10%以上下回る問題が、昨年度6問から3問に減少している。
- ②短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることや、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることについて、指導の成果が見られる。

#### (3) 課題

- ①「聞くこと」の中で、相手からの質問の意図を正しく理解し、適切に応じることに課題が見られる。
- ②「書くこと」の中で、正しい語順で文を構成することによって課題が見られる。特に、従属節を含む英文や不定詞の形容詞的用法を用いた英文など、複雑な文構造の英文を正しく並べかえて書くことに課題が見られる。

### 3 今後の指導

話し手の質問や依頼、意向などを理解し、適切に応じる言語活動を推進する。

- ・話し手からの働きかけを正しく理解できるような場面設定を工夫し、必要感のある言語活動を行う。
- ・場面に特有の表現は繰り返し練習したり、似たような働きをする表現をまとまりをもって整理したりして、定着を図る。
- ・型どおりのやり取りだけでなく、場面や状況に応じて、その場で適切な応答を考えて表現する活動を充実させる。

文法の知識を活用し、正しい語順で文を構成しながらコミュニケーションを図る学習活動を推進する。

- ・文法事項について、言語の使用場面や言語の働きに配慮し、実際にコミュニケーションを行う言語活動の中で活用させながら定着を図る。
- ・that節を含む英文については、thatが省略される場合を含めて語順の理解を図るとともに、I think (that)～.等の定型表現として、自分の考えや感想などを述べる活動をとらして定着を図る。
- ・不定詞を含む英文については、その用法の違いが理解できるような場面設定を工夫するとともに、複数の用法を組み合わせる自分の考えや気持ちを書いたり話したりする活動に発展させて定着を図る。

#### ※実際の指導例：(7)

ピザの配達を依頼する電話の会話を通して、Can I ～? の用法を理解し、正しく応答することができるようにするための指導例

A: Hello. ABC Pizza. How can I help you?  
 B: Hello. Can I order a pizza, please?  
 A: (① 例: Of course. What would you like?)  
 B: Can I have a large pizza with salami, please?  
 A: Sure. Can I have your name?  
 B: (② 例: John Smith.)  
 A: Can I have your phone number?  
 B: (③ 例: It's 012-345-6789.)



#### 【①②③にふさわしい応答を考える】

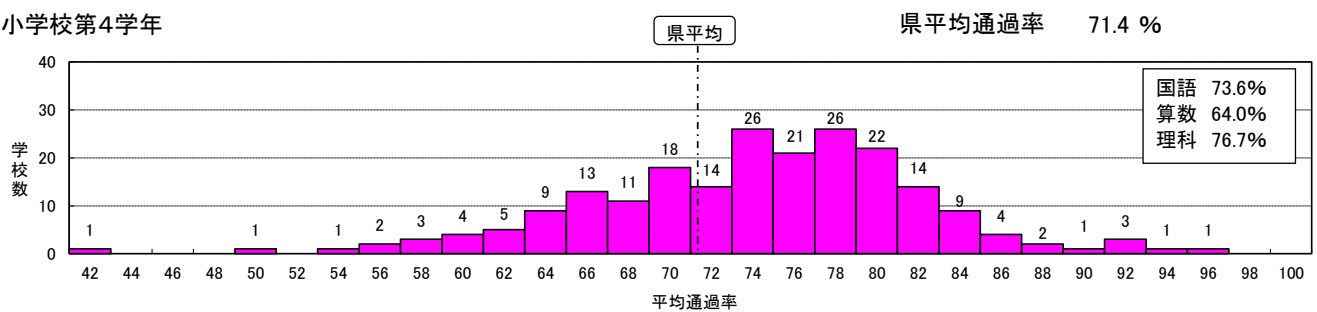
(指導について)

- ・答えは一つではなく、様々な応答ができることに気付かせ、多様な表現を引き出す。
- ・選択肢を提示して選ばせたり、応答から質問を考えさせたりして、生徒の実態に応じた活動を工夫する。
- ・会話の続きを考えさせたり、別の場面を設定したりして定着を図る。

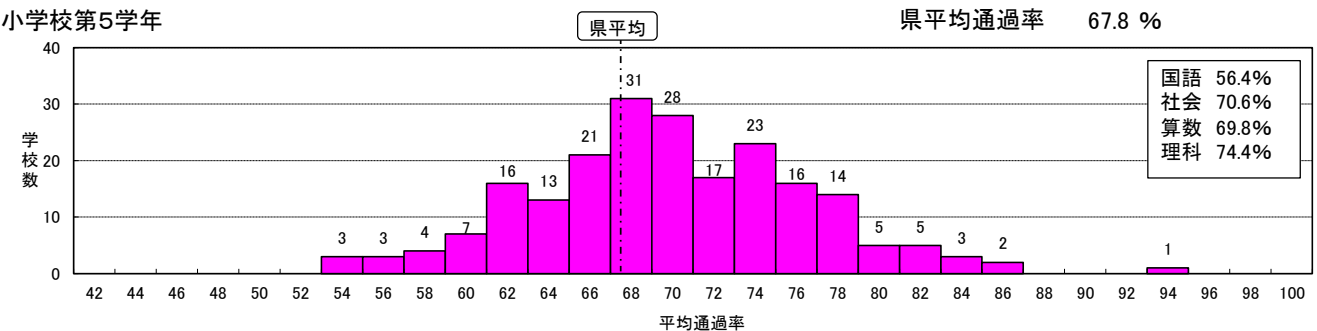
◇身近で必要感のある場面設定を工夫し、生徒が考えて表現する言語活動を展開する。

## 5 平均通過率の度数分布グラフ

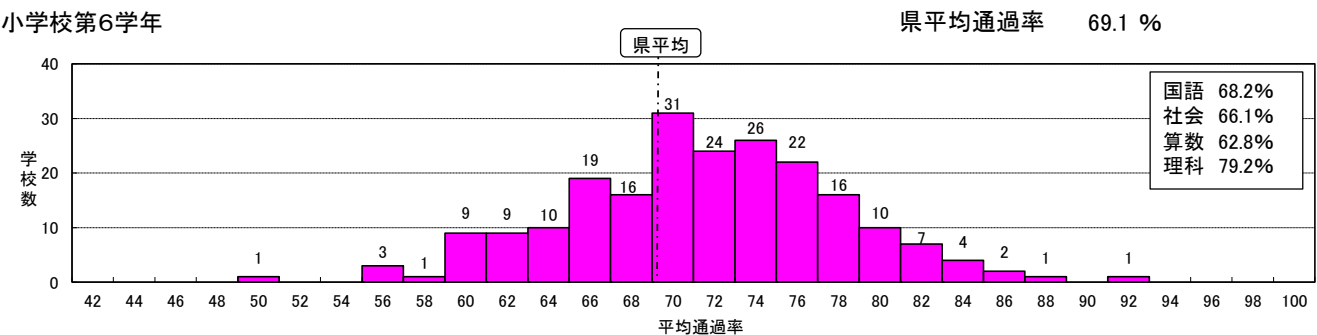
小学校第4学年



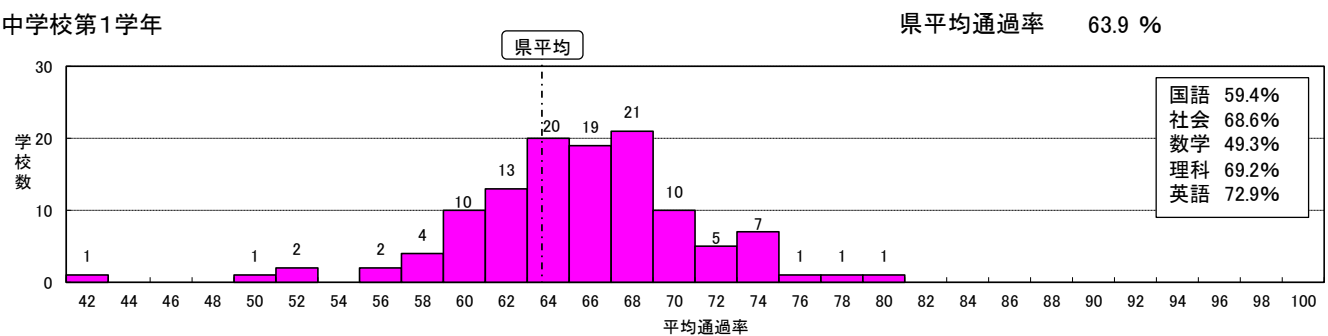
小学校第5学年



小学校第6学年



中学校第1学年



中学校第2学年

